

わたしの^{せいしよ}聖書が^{いちばん}一番！ ^{かん}6巻

^{おうさま}王様になった少年^{しょうねん}ヨアシ～^{にんたい}忍耐の人、^{ひと}ヨブ
～^{れつおうきげ}列王紀下 11章 - ^{しょう}ヨブ記^き～





もくじ

だい しょう	おうさま	しょうねん	1	
第1章	王様	になった少年	ヨアシ	
だい しょう	いの	おう	9	
第2章	祈りの王	、ヒゼキヤ		
だい しょう	しんでん	み	たからもの	17
第3章	神殿	で見つかった	宝物	
だい しょう	かみさま	とくべつ	ししや	25
第4章	神様の特別な	使者		
だい しょう		せんきょうし	33	
第5章	とらわれの	宣教師		
だい しょう	おう	あくむ	41	
第6章	王の悪夢			
だい しょう	も	ろ	49	
第7章	燃えさかる	炉		
だい しょう	め	み	かんししや	57
第8章	目に見えない	監視者		
だい しょう		あな	65	
第9章	ライオンの	穴にて		
だい しょう	みなしご	おうひ	しょうじよ	73
第10章	みなしごから	王妃	になった少女	
だい しょう	どうほう	すく	おうひ	81
第11章	同胞を	救った	王妃	
だい しょう	しんこう	けんせつしや	89	
第12章	信仰による	建設者		
だい しょう	にんたい	ひと	97	
第13章	忍耐の	人、ヨブ		

だい しょう 第1章

おうさま しょうねん 王様になった少年ヨアシ



子供のための日々の
聖書研究ガイド

あんしょうせいく 暗唱聖句

「わが神よ、わたしはみこころを行うことを喜びます。
あなたのおきてはわたしの心のうちにあります。」

詩編 40:8



にちようび 日曜日

あなたの教会には、聖歌隊がありますか？また、聖歌隊が、神様をたたえて歌うのをきいたことがありますか？聖歌隊の多くは、美しく見せるために、特別なガウンを着ますね。

ところであなたは、聖歌隊が喜ばしい声をあげて、神様をほめたたえながら、恐ろしい敵に向かって行進していく様子を想像できますか？実は、ずっと昔、そんなことがありました。でもまずは、その聖歌隊があった国の王様について学んでみましょう。

北のイスラエル王国と南のユダ王国のどちらにも、ある時には良い王様が、またある時

には悪い王様がいました。良い王様は、イスラエルよりもユダの国に多くいました。そのうちのひとりが、ヨシャパテ王です。彼もまた、ダビデ王の子孫でした。聖書は彼について、何と言っていますか？また、なぜ神様は彼を祝福することができたのでしょうか？歴代志下 17:3-6。

善良な人々でさえ、過ちを犯してしま

うことはありますか？もちろん、ありますね。そして、ヨシャパテが犯したひとつの過ちは、息子のエホラムを、悪いアハブ王とイゼベルの娘、アタリヤと結婚させたことです。そのために、アハブ王が偶像を礼拝しているにもかかわらず、ヨシャパテと彼は、仲良くなっ

てしまいました。いちど、ヨシャパテがイスラエルをおとずれたとき、アハブはヨシャパテに、いっしょにシリア人と戦ってくれるようにたのみました。アハブは、シリア人たちに奪われたイスラエルの町をとり返したかったのです。ヨシャパテは、戦ってあげると約束しました。しかし、ヨシャパテはまず、自分たちが神様のご計画にしたがっているかどうかを確かめたいと思いました。そこで彼はアハブに、預言者

を何人か呼びよせるよう
お願いしました。アハブ
は預言者たちを呼び寄せ
ましたが、彼らは神様の
預言者ではありませんで
した。歴代志下 18:4,5。



「主の言葉」を求めて
いたヨシャパテは、神様
の預言者を呼ぶべきであ
るといつづけました。6

節。とうとう、アハブがおれました。主の
預言者は、なんと告げましたか?明日の
学びで見てください。

考えてみよう:あなたは、アハブが自分
の聞きたくないことを神様の預言者が話す
のではないかと、恐れていたと思います
か?時々、わたしたちがするべきだと両親
が思っていることと、わたしたちがしたい
ことが、ちがっていることはありますか?

げつようび 月曜日

アハブが呼んだ主の預言者は、シリ
ア人との戦いに勝つことはできな
いと言いました。それを聞いたアハブは大
いに怒って、預言者を牢屋に入れてしま
いました。ヨシャパテはアハブといっしょに
戦場へ行かずに、家へ帰るべきだったと
思いますか?もちろん、そうするべきでし
たね!ところが、彼は戦場へ行くことにし
たのです。

戦いの最中、アハブはひどい傷を負っ
てしまいました。その日が終わるまでには、
どちらの預言者が正しいことがわかりま

したか?アハブは、どうな
りましたか?ヨシャパテは、
どうしましたか?歴代志下
18:34, 19:1。

わたしたちの力強い、愛
の神様にしがうことだけ
が安全であることを、ヨシャ
パテは思い知りました。エ
ルサレムにもどると、3つ
の国の大軍が攻めてくると

の知らせを受けました。王と国民は、どう
しましたか?歴代志下 20:3,4。

預言者をとおして、神様はヨシャパテ
に、こんどは戦う必要さえないと言われま
した。どうしてでしょうか? 17,18 節。

ヨシャパテは神様の預言者が言ったこ
と、つまり、この戦いは主の戦いであり、
彼らは自ら戦う必要すらないということ
を信じたので、ある人たちと相談して、神様
を賛美する聖歌隊を軍隊の一番前におい
たのでした。そのようすを想像できます
か?聖歌隊が軍隊の最前列に立ち、敵の
いるほうへと向かいます。これは、彼らが
神様の預言者を信じていることをあらわし
ていました。

そこには天使の軍隊もいて、彼らは何
をするべきかわかっていました。彼らは
どれだけ楽しんで、この手助けをしたこと
でしょう!さっそく3つの敵国は、同士うち
〔仲間うちでの争い〕を始めたのでした。
22-24 節。

考えてみよう:この物語を決して忘れな
いでください。神様は、ひじょうに大切な
ことをわたしたちに教えようと、このお話

を聖書に入れてくださいました。まもなく、いつの日か、イエス様もどってこられる前に、神様の民が3つの敵（ヨハネの黙示録 16:13,14）によって滅ぼされてしまうかのように見える時がくるでしょう。その時、神様は、ヨシャパテを救ってくださったように、わたしたちも救ってくださるのです。敵どもは、互いに殺し合い（ゼカリヤ 14:13）わたしたちは安全でいることでしょう。神様に信頼し、したがうことを学べてよかったと思いませんか？こんどは、歴代志下 20:20 の後半を読んでみましょう。これは、今の時代にあっても真実ですか？もちろん、そうです！そして神様は、わたしたちのために、ある預言者を使わしてくださいました。それがだれだか、覚えていますか？

かようび 火曜日

ヨシャパテが亡くなった後に王となったのは、邪悪なアハブとイゼベルの娘アタリヤと結婚したヨシャパテの息子、ヨラムでした。そういうわけで、こんどの王の妻は悪い人でした。ヨラムがちちヨシャパテのように神様を愛し、神様にしたがえるように、彼女は夫に協力したと思いますか？王は、どうすることを選びましたか？歴代志下 21:6。

そのころすでに、ユダの王国では、偶像礼拝をつづけている人がたくさんいました。なぜでしょう？歴代志下 20:33。

ヨラムも、またヨラムの死後に王となった息子のアハジヤも、人々に偶像礼拝を

やめさせようとはしませんでした。神様は、そのような彼らを祝福することはおできになりませんでした。そして彼らが死んだ後、事態はますます悪くなりました。悪魔のようなアタリヤは、自分が支配者になると決めたのです。そして自分の地位を守るために、王になろうとするかもしれない人物を、皆殺しにしたのでした。ひとりを除いては、自分の孫も全員殺してしまいました。

まだ赤ん坊だったアタリヤの孫だけは、命拾いしました。その子は、叔母であるエホシバの寝室で安全にかくまわれていました。エホシバは、ヨラム王の娘です。エホシバは、祭司のエホヤダと結婚し、女王の宮殿近くにある神殿の住居の一角に住んでいました。

このかくまわれていた赤ん坊の名前は、ヨアシといいます。エホシバは、赤ん坊の父親の妹で、赤ん坊の叔母にあたります。エホヤダとエホシバのふたりは、どれくらいの間、幼いヨアシを神殿でかくまっていたか？歴代志下 22:10-12。

考えてみよう：祭司のエホヤダは、神様を愛していました。幼いヨアシも、同じように神様を愛し、十戒にしたがうことが身につけていたと思いますか？あなたも今、それを学んでいるのです。

すいようび 水曜日

祭司であるエホヤダは、幼いヨアシが、ユダの王となるべき人物であることを知っていました。ヨアシが7歳に

なったとき、エホヤダは、い
よいよ悪い女王を王位からし
りぞける時がきたと考えまし
た。そこで、軍隊の偉い人た
ちを何人か呼び集め、彼ら
に若いヨアシのことを打ち明
けたのでした。王様の息子が
まだ生きていることを知った
彼らは大いに喜び、すべてを秘密にして
おくことを誓いました。それから彼らは、
指導者たちとレビびとたちを呼びました。
歴代志下 23:1,2。



てきたにちがいありません。
エホヤダが少年ヨアシをつ
れてきて、柱のそばに立た
せるのを、みんなはかたず
をのんで待っていました。そ
れから、何が起こりましたか？
列王紀下 11:12。

かんが
考えてみよう：この『律法

〔あかし〕の書』は、どうすれば良い王に
なれるかを教えてくれるでしょう。ヨアシは
どれくらいしばしば、この書を読むべきで
したか？申命記 17:18-20。わたしたちは、
どれくらいしばしば聖書を読むべきです
か？

もくようび 木曜日

エホヤダは、いつの時代にもダビデの
家系から王様になる人が出てくる、という
神さまの約束があることをみんなに思い
出させました。3 節。

すべてを秘密にしておくことがとても
重要であることを、みんなが理解していま
した。もしもアタリヤが、これから起ころう
とすることを知ったならば、黙っているわ
けがありません。きっと怒り狂って、恐ろ
しいことをするでしょう。

エホヤダは、すべてのことを慎重に、
また念入りに計画しました。祭司の一人ひ
とや軍隊の偉い人たちも、自分がどこで
何をすべきかを、きちんと理解していま
した。軍隊の偉い人たちは、武器を念入
りに用意しました。若いヨアシも、自分の
なすべきことを、きちんと教わりました。

いよいよ準備がととのい、その時がやっ
てきました。神殿の庭には、おおぜいの
人々が集まっています。あの悪い女王が、
まだそのことに気づいていないということ
は、彼らはこっそりと静かに、ここへやっ

しん でん さけ ごえ はくしゅ き
神 殿からの叫び声と拍手を聞き
た女王アタリヤは、何が起こっ
ているかを見に、急いでやってきました。
歴代志下 23:12。

しん でん み かのじょ
神殿でのようすを見て、彼女はどうしま
したか？ 13 節。

エホヤダは、彼女を待ちかまえていま
した。大祭司からの命令をうけた兵士た
ちは、すぐさま彼女をつれ出しました。つ
いに、この悪い女王の時代は終わったの
です。14,15 節。

こんどは人々に向かって、エホヤダは
真剣に語りました。彼らはこれまで、神様
に忠実ではありませんでしたし、彼ら自身
もそれを認めていました。しかし今、彼ら
は何を約束しましたか？ 16 節。

自分たちの約束が本気であったことを、
人々はどうやって証明しましたか？ **17節**。

神様の宮での行事が準備され、なされるべきやり方でふたたび始められると、みんなが喜びました。もちろん宮殿からも、偶像がすべて除かれ、異教の偶像はことごとく破壊されたことでしょう。新しい、小さな王様のための王座は、もう用意ができています。

ヨアシが住みなれた神殿の部屋を出て、宮殿に住み始めたその日、もうひとつのお祝いがありました。小さなヨアシが背伸びをして、大きな美しい王座にすわっている姿を想像できますか？ **20,21節**。

成長するにつれて、変える必要のあることや、しなくてはならないことがたくさんあることに、気づきはじめました。ヨアシの前には、神様に忠実でない王様たちが何人かいました。彼らは、律法の書に書かれていることに従っていませんでした。ヨアシは、すべてをあるべき状態にもどそうと、熱心に働きました。

ヨアシにはひとつだけ、特別にやりたいことがありました。しかし、そうするにはたくさんのお金がかかりそうでした。それが何なのかわかりますか？それについては明日、勉強しましょう。

考えてみよう:ヨアシは、まだ幼い少年でしたが、これまでのところ、彼はよい選びをしていますか？



ヨアシが、特別にのぞんでいたこととは、何だったのでしょう？
歴代志下 24:4。

彼は、必要となるお金をどうやって集めようと計画しましたか？ **5節**。

思ったよりも時間がかかっていたので、ヨアシはがっかりしました。そこで、より早くお金を集める方法を思いつきました。それは何でしたか？ **8-10節**。

計画は、うまくいきました！日に日に、材料を買うためのお金や、働き人に支払うためのお金が、入ってきました。そしてついに、神殿は、ヨアシが望んだとおりに仕上がったのです。 **13節**。

ヨアシはいつでも、エホヤダおじさんのかしこい助言〔アドバイス〕にしがっていました。しかしそのおじさんも、とうとう130歳で亡くなってしまいました。その後ヨアシは、ほかの指導者たちの助言に耳をかたむけるようになり、信じられないようなことが起きてしまいます。 **2,17,18節**。

ヨアシは、残念な選びをしてしまいました！神様にとって、それを見るのはとてもつらかったことでしょう。しかしそれでも、彼が心を入れかえるのを強く望んでおられました。 **19,20節**。

エホヤダの息子のゼカリヤは、特別な警告を語りました。しかし、ヨア



たあなた自身も、友だちが正しい選びをするように助けてあげていますか？

もっと学ぼう！

★ 歴代志下 17, 18, 20-24 章；
列王紀下 11 章；

★ 国と指導者上巻 15 章 p. 159-163；
p. 182-184。

シは心を入れかえようとしませんでした。
結局、ヨアシがゼカリヤを殺すように命令
したのでした。なんと恐ろしいことでは
う！

それから、シリアの軍隊がユダに攻めて
きて、ヨアシはどうなりましたか？ 24,25
節。

なんと悲しいことでしょう！まだ少年だっ
たころの王は、神様のためにたくさんの働
きをしたのに、まちがった友を選んでしま
い、神様よりも彼らを信頼したのでした。

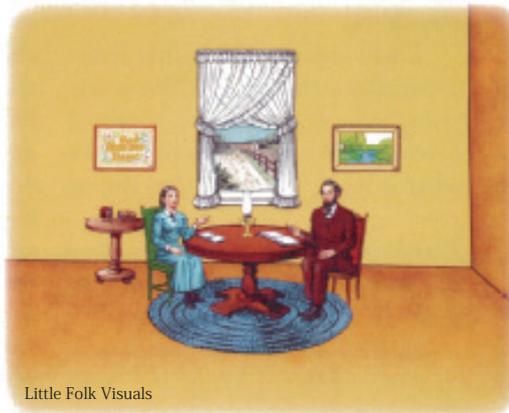
考えてみよう： 選択 [選び]！わたした
ちは、毎日たくさんの選びをしますね。人
が友だちを選ぶのは、重要なことでは
うか？両親が子どもたちに、なぜよい友だち
を選んでほしいと願うのか、あなたにはわ
かりますか？友だちは、わたしたちがよい
選びをするのを助けることもできますし、
逆に悪い選びをするのを手伝うこともでき
ます。あなたの友だちは、あなたが正し
い選びをするように助けてくれますか？ま



ジェームスとエレンへの ビッグサプライズ

エイミー・シェラード編

再臨信徒たちは、いろいろな教会から集まった人たちでした。聖書の研究をつづけていくうちに、自分たちが教会で教えられてきたことのいくつかは、聖書にないことを知ったのでした。エレンも、母親がそれまでずっと信じてきたあることについて考えを変えて、彼女を驚かせた日のことを思い出しました。



Little Folk Visuals

「お母さんは、たどえよい人たちでも、死んだ後すぐに天国へ行けるわけではなく、本当に思っているの？」エレンは、母親にたずねました。

お母さんは、エレンを見てほほえみました。「人が死んだら、すぐに天国か地獄に行くだなんて、聖書は教えていませんよ」と、お母さんは言いました。「死んだ人たちは、イエス様が起こしてくださるまでは、自分のお墓にいるってことなの。死んだ人たちは眠ったままでいると、聖書は言っているのよ。」お母さんは説明しました。

自分で聖書を勉強してはじめて、エレンは、お母さんの言っていたことが正しかったとわかりました。サタンはじつに巧みに〔ずるがしこく〕、嘘をまるで真実である

かのように作り上げていたのです。そしてほとんどのクリスチャンは、自分で聖書を勉強していなかったため、その嘘を信じてしまったのでした。彼らは、伝道者たちが話すことは、何でも信じました。

さて、エレンとジェームスは、本当の安息日がどの日なのかを知らうと勉強していました。ベイツ船長は、第

7日目が今でも礼拝と休息の日で、神様の特別な日であることを示す小冊子を書き上げていました。その日は、イエス様がアダムとエバにお与えになったのと同じ、安息日でした。わたしたちの模範であるイエス様は、地上におられたとき、安息日を守っておられました。イエス様の弟子たちや、多くのクリスチャンたちも、そのようにしてきました。

ジェームスとエレンが祈って研究した結果、イエス様が書かれたとおり、十戒の第4条を信じ、それにしたがうべきであると決断しました。それから、決めたことを



Little Folk Visuals

じっこう
実行したのです。するとイエス様は、エ
レンにある幻をお与えになり、その幻の
なかで、エレンは美しい天の聖所を見せら
れ、また、イエス様のおられる至聖所に
はい入ることをゆるされました。彼女は、金の
けいやくはこみなかかみさま
契約の箱を見ました。その中には、神様
がご自分の指によって書かれた十戒が
はい入っていました。はじめの4条は片方の
いしのおもてに、あとの6条はもう片方の石
のおもてに書かれていました。ひとつの
ひかりが、はじめの4条の石から輝き出てい
ましたが、その光は第4条をますます明
るくしていました。

「第4条は、創造主がどなたであられる
かを示しています」と、天使がエレンに
い言いました。

エレンは、十戒のすべてをサタンが憎
んでおり、中でも特に、第4条を憎んで
いることを知りました。サタンは、第4条
が変更されると人々に信じこませるため
に、ありとあらゆる手段をつくしてきました。
しかし、第4条が変更されると人々に
信じさせようと、どれだけサタンが努力
したとしても、それが決して変更されてい
ないことを聖書は示しています。またサタ
ンは、イエス様が来られるのを待ち、備
えをする人々が、第4条をふくめた十戒
のすべてにしたがうようになることを、よく
わかっていました。黙示録 14:12。

ジェームスとエレン・ホワイトは、この
まぼろし かんしゃ
幻に感謝し、この安息日の真理を他の人
に分け与えるために、できるかぎりのこと
をしなくてはならないと知りました。聖書
が語っていることを人々が学ぶにつれて、

おおひとよろこあんそくにちまも
多くの人は、喜んで安息日を守るようにな
りました。しかし、ほとんどの人たちは、
それまでに教えられてきたことや、してき
たことを変えたくはありませんでした。

だいしょう 第2章

いの祈りの王、ヒゼキヤ



子供のための日々の
聖書研究ガイド

あんしょうせいく 暗唱聖句

ひと おそ おちい しゆ しんらい もの やす
「人を恐れるとわなに陥る、主に信頼する者は安らかである。」
しんげん
箴言 29:25

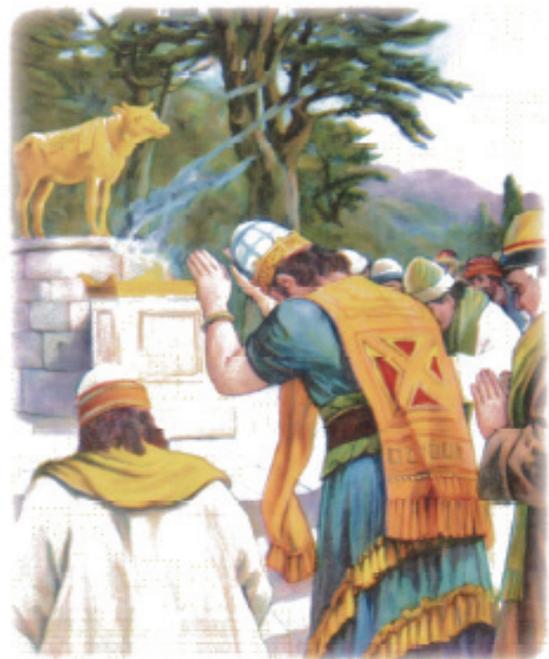
にちようび 日曜日

あ ^{ものがたり}あなたは、ハッピーエンドの物語が ^す好きですか？もちろんですよ！だけれだって、^{せいしょ}そうでしょう！では、^{ものがたり}聖書にある物語は、すべてハッピーエンドでしょうか？
いいえ、そうではありません。どうしてでしょう？それは、^{せいしょ}聖書にある物語が、^{ほか}他の人たちが書いたような作り話ではないからです。

^{せいしょ}聖書の物語は、^{ものにがたり}人間の選^{えら}びと、その選^{えら}びの結果起^{おこ}ったことについて、^{しんじつ}真実を語^{かた}っています。わたしたちは、^{せいしょ}聖書に出てくるたくさんの人たちと、^{かれ}彼らの選^{えら}びについて学^{まな}んできましたね。神様は、^{つね}つねに公平^{こうへい}であられることを、^{けつ}決して忘^{わす}れないようにしましょう。神様は、わたしたちが^{じっかい}すばらしい十戒^{じゅうかい}にしたがうために、^{かみさま}神様の助けに信^{しん}頼^{らい}するよう望^{のぞ}んでおられます。それだけが、わたしたちが^{ほんとう}本当の意味^いで^{しあわ}幸せ^{みち}になれる、^{かみさま}ただひとつの道^{みち}なのです。しかし、^{かみさま}神様がこれまで、わたしたちが^{きようせい}したがうように強^{きよう}制^{せい}なされたことがありまし

たか？いいえ！そんなことは絶対^{ぜったい}にありません！選^{えら}ぶのは、わたしたち一人^{ひとり}ひとりなのです。

^{どうぜん}当然^{かみさま}サタンは、わたしたちを神^{かみ}様^{さま}にしたがわせないように、できるかぎりいろいろな方法^{ほうほう}で誘^{ゆう}惑^{わく}してきます。彼^{かれ}は、^{かみさま}神^{かみ}様^{さま}が憎^{にく}いのです。それは、^{ちち}父^{かみさま}なる神^{かみ}様^{さま}と、^こ子^{かみさま}なる神^{かみ}様^{さま}であられるイエス様^{さま}と、^{せいれい}聖^{かみ}霊^{さま}の憎^{にく}んでいるということです。神^{かみ}様^{さま}とイエス様^{さま}と聖^{せい}霊^{れい}は、わたしたちをと^{あい}とても愛^{あい}しているのです、わたしたちがサタンのうそ



を信じて彼に従うことを選ぶときには、とても悲しむことをサタンは知っています。

サタンが喜ぶのは、わたしたちが彼に従うことを選んだために、その恐ろしい結果に苦しんでいるのを見るときです。戦争や殺人、痛み、人を傷つけること、その他、人々の身の上にかかる恐ろしいことは、すべてサタンが原因だと、サタン自身もわかっています。もしできるならば、彼は、わたしたちをひとり残らず滅ぼそうとします。しかし、わたしたちが選んでサタンにそれをさせるのでなければ、彼は手を下すことはできません。

神様を愛し、信頼し、神様にしたがうことを選ぶ人々はみな、いつの日かサタンの支配から解放され、永遠に安全でいられるようになることを、サタンはよく知っています。彼はまた、神様がこれまで嘘をついたことがなく、またこれからも決して嘘をつかないことも、十分知っています。ですからまちがいなく、サタンとその手下の悪天使たちは、わたしたちに神さまの



約束を忘れさせようとするでしょう!

考えてみよう: **出エジプト記 34:6** を読んで下さい。このすばらしい神様が、わたしたちの神様であられることを嬉しく思いますか? 神様が、サタンよりもずっとずっと強いお方でよかったですと思いませんか? あなたはこれからもずっと、神様を選んで生きていこうと思えますか? さあ、今すぐあなたの感謝と、あなたがどれほど神様を愛しているかを神様に話してみましよう。

げつようび 月曜日

ソロモン王が亡くなった後、イスラエルの国はまとまるどころか、ふたつの国に別れてしまいました。北の王国はイスラエルと呼ばれ、南の王国はユダと呼ばれるようになりました。

北の国の最初の王は、ヤラベアムでした。彼は、人々が神様を礼拝するためにエルサレムへ行けば、彼らはユダの国にもどってしまうのではないかと恐れしました。そこでヤラベアムは、自分の国で礼拝をさせようとして、ふたつの金の子牛の像を作りました。その時から、北王国のほとんどの王たちと国民が、偶像を礼拝するようになってしまいました。彼らは、周辺の異教の国々と同じことをしたのです。

それでも神様は、ご自分の民を助けることをおやめになりませんでした。神様は、次から次へと預言者をお送りになりました。ある人たちは、他のすべての人が神様に背いても、自分は神様にしたがって、信頼することをを選びましたが、ほと

んどの人は従いませんでした。
列王紀下 14:24 には、北王国
の王たちの物語を読む時に、し
ばしば目にする言葉が書かれて
います。

南の王国ユダでは、少年王
ヨアシが正しい選びをし始めた
ところでした。ところが、彼の
叔父であるエホヤダが死ぬと、ヨアシは
悪い人たちの意見をきくことを選ぶように
なり、彼の生涯はひじょうに悲しい結末を
むかえます。ヨアシの後、幾人かの王た
ちも始めは良かったのですが、ヨアシの
ように心変わりしてしまいました。しかし
ついに、たとえ過ちを犯しても、神様に
忠実なひとりの王があらわれました。彼
の名は、ヒゼキヤといいます。ヒゼキヤ
が最初にした、いくつかのことは何でした
か？歴代志下 29:1-5。

考えてみよう：正しい選びをするのは、
始めのうちだけで十分ですか？わたしたち
は他に、どんなことをするべきでしょうか？

かようび 火曜日

神殿は、ふたたび清められました。
すべてが、あるべき状態にもどり
ました。こんどは、ヒゼキヤが計画した大
きな行事について、みんなが知る時がやっ
てきました。歴代志下 30:5。

北から南まで、みんなが招かれました。
6節。

北王国の人々があまりにも悪くなってい
たので、神様はアッシリアの軍隊をこさせ



て、何千人もの人々を捕虜
にしてアッシリアへとつれて
行かせました。残った人たち
の中には、過越しの祭りへの
招待を受け入れた者もいまし
た。祭りに行った人たちのほ
とんどは、過越しを祝ったこ
とがありませんでした。神様
が毎年それを行うように教えていたにもか
かわらずです。それは、7日間におよぶ
盛大なお祝いでした。21,22節。

祭司たちは人々に教え、神様をほめた
たえました。音楽家たちが演奏し、人々
は罪を告白しました。この祭りがあまりに
もすばらしかったので、終わってほしくな
いとみんなが思いました。そこで、彼らは
どうすることにしましたか？23節。

祭りの後、彼らは何をしましたか？
歴代志下 31:1。

ヒゼキヤは、自分が始めたことを、きち
んと最後までやりとげました。彼は、人々
が行ってきた数々の悪いことを正そうと、
一生懸命働きました。21節。

考えてみよう：神様はヒゼキヤを祝福な
さいましたか？なぜ祝福することができま
したか？

すいようび 水曜日

シリアは、イスラエルの近くにある
小さな国でした。アッシリアは、
遠くにある強い国です。アッシリアの王様
は、すでに北のイスラエル王国を征服し
ていました。そしてこんどは、南のユダ

おうこく たたか おな じぶん りょうど
王国と戦い、同じく自分の領土にしてしまおうと決めたのです。

アッシリア人たちがエルサレムに攻めてくると知って、ヒゼキヤは都の外にある泉の水を止めました。そうすれば、敵が水を飲むことができないからです。また彼は、都の城壁を再建させ、剣と盾をたくさん作らせました。それから、自分の軍隊と役人たちを呼び集めました。ヒゼキヤは、彼らに何を話しましたか？**歴代志下 32:7,8。**

アッシリアの王様は使者をつかわして、「ヒゼキヤが、自分の神はユダの民を救う力が十分にあると信じているのは、なんと愚かなことか」というメッセージを伝えさせました。アッシリアの王様は、「他の国の神々で、自分を負かした神は、これまでひとりもいなかったのだ」と誇らしげにいました。

この使者は、エルサレムの城壁の上にいる人たちにも理解できるように、メッセージをヘブル語で叫んでいました。**17,18 節。**

ヒゼキヤ王が人々に、言い返してはいけないと命令していたので、彼らはだまっていた。

ヒゼキヤは、敵が強いことを知っていましたし、彼らに都をとり囲まれるのがどれほど恐ろしいこともわかっていました。アッシリア人によってサマリヤが包囲されたときに、食糧が足りなくなり、人々が飢えに苦しんだことを思い出したかもしれません。彼は、神様の助けが必要だということを知っていました。

しばらくして、アッシリアの王様は、ヒゼキヤに一通の手紙を送りました。ヒゼキヤは手紙を神殿へもっていき、それを神様の前で広げました。それから、神様とその大いなる力をあざけり笑うこの邪悪な敵から、自分たちを救い出してくださるようにと祈りました。**列王紀下 19:14,19。**

神様は、ヒゼキヤの祈りをお聞きになりましたか？ **35 節。**

このいばった王様は、わたしたちの神様についてまちがった考えかたをしていたことを、思い知らされることになりました。まもなくして、彼は殺されてしまいました。

考えてみよう：神様はサタンと悪天使たちよりも、力がありますか？大勢のアッシリア人を滅ぼすのに、神様の天使が何人必要でしたか？わたしたち一人ひとりに、天使がひとりずつついていることを、あなたは心強く思いますか？

もくようび 木曜日

あ あなたは今までに、はれもの〔おでき〕ができたことはありますか？そのはれものは痛かったですか？ヒゼキヤのはれものはあまりにもひどくて、命にかかわるほどでした。医者はずをつくしましたが、体の具合はますます悪くなるばかりです。もう助かる見込みがないかのように思われたころ、預言者イザヤがたずねてきました。しかし、イザヤがもってきたのは悪い知らせでした。**列王紀下 20:1。**

だれだって死ぬのはいやです。イエス様が再臨なさるときまで生き残る人を別に



して、この世界に住む人は、遅かれ早かれ、いつかは死ななくてはならないことを頭でわかっていたとしても、死ぬのはいやです。ヒゼキヤはまだ年老いていませんでしたし、まだ死にたくはありませんでした。彼は何をしましたか？ 2,3 節。

王様に神様からのお告げを伝えたイザヤは、宮殿を去ろうとして歩き出しましたが、まだ宮殿を出ないうちに、神様がお語りになりました。イザヤはくるりと向きを変えて、ヒゼキヤの部屋へもどりました。こんどは、どんな知らせをもってきたのでしょうか？ 5,6 節。

おそらく、サタンがヒゼキヤの命をうばおうとしたのでしょうか。しかし、神様はヒゼキヤの祈りにこたえて、彼が病気で死なないようにしてくださいました。預言者は、このはれものに何をしようと言いましたか？ 7 節。

神様は、ただちにヒゼキヤをいやすこともできたはずですが、そうはなさいません

でした。ヒゼキヤは、神様がお言葉どおりにして下さることの、特別なしるしを求めました。8-11 節。

神様だけが、日時計の影を進めたり、もどしたりすることができますが、どのようにするかをヒゼキヤに決めさせました。当たり前のことですが、時計の針が前にしか進まないように、日時計の影は前へと進んでいくのがふつうです。そこでヒゼキヤは、時計が逆もどりするほうが、もっとすごいだろうと考えたのです。はたして、奇跡は起こったのでしょうか？そして、ヒゼキヤの病気はなおったのでしょうか？

かんが **考えてみよう**：わたしたちは、神様が奇跡を起こすことができることをいつも覚えておくべきですか？奇跡を起こしてもらえるように、お祈りしてもよいでしょうか？神様は、求めるわたしたちに何を与えるのが一番よいか、いつでもご存知ですか？

きんようび 金曜日

大昔の人たちは、日時計で時間がわかりました。外国にも、日時計の影が逆に進むのを見て驚いた人たちが大勢いました。これは、ユダの王をいやすために天の神様から送られたしるしであったことを知ったバビロンの王様は、とても感動して、自分の国の偉い人たちをユダにつかわしました。列王紀下 20:12。

訪問客らは、ヒゼキヤの神様についてもっと知りたいと願っていました。ところがヒゼキヤは、神様のことを話してあげる

ことはしないで、かわりに何をしましたか？
13 節。

ヒゼキヤが神様のことを訪問客に話してあげなかったのも、神様はがっかりなされたことでしょう。また、神様からそのことを聞いたイザヤもがっかりしました。

そこでイザヤは、もういちど、ヒゼキヤに会いに行きました。預言者は、ヒゼキヤに何をたずねましたか？ヒゼキヤは何と答えましたか？ 14,15 節。

そこでイザヤは、神様からの言葉をヒゼキヤに伝えなくてはなりません。イザヤは、ヒゼキヤが死んで何年も後に、あの訪問客たちの国であるバビロンがせめてきて、ヒゼキヤが彼らに見せびらかした財産をことごとく奪い去って行くだろう、と告げたのでした。 17 節。

考えてみよう：15 節には、イザヤがヒゼキヤにどんな質問をしたとありますか？
神様や十戒のことを知らない人々があなたの家をたずねて来たときには、そこで、どんなことを見たり聞いたりするでしょうか？わたしたちは、何の話をするでしょうか？わたしたちは、自分が神様の伝道者であることを覚えていますか？

もっと学ぼう！

- ★ 列王紀下 18-20 章； 歴代志下 29-32 章；
- ★ 国と指導者 28-30 章；



うま あたま 馬が頭をたれたとき

エイミー・シェラード編

ジョセフ・ベイツは、ジェームスと
エレン・ホワイトが第7日目の
安息日を守り始めたことが嬉しくなりました。
ベイツは、しばしば彼らと共に旅をし、教会をたずねてまわりました。

ある日のこと、
彼らは一頭の馬に
ひかせた馬車に
乗っていました。
この馬は、まだ若
くて、いうことを
きかせるのが大変
でした。ホワイト
長老は、手綱を強
くにぎってなくて



Little Folk Visuals

はなりません。というのは、少しでも馬の尻にふれようものなら、馬がけとぼして逃げ出そうとするからです。この馬に馬車をひかせようとして、すでにふたりの人が命をおとしていました。ホワイト長老が細心の注意をはらっていたのも、むりはありません!

道を進んで行くと、とつぜんホワイト夫人が「栄光!」と叫びました。ホワイト長老とベイツ長老は、イエス様が彼女に幻を与えておられるのだとわかりました。

するとただちに、馬は足を止めて頭をたれました。ホワイト夫人は馬車をおりて手をのばし、馬に手をのせました。

「馬にけり殺されてしまうぞ!」と、ベイツ長老は叫びました。

ところが、馬はいっこうにける様子がありません。夫人が道のそばを行ったり来たりする間、頭をたれたまま、静かにしています。

ホワイト長老は、「この馬が本当にいうことを聞くようになったのかどうか、ためしてみよう」といいました。彼は、むちで馬の尻を軽くさ

わってみました。馬が動かなかったので、こんどは、少し強くたたいてみました。それでも馬は動きません。

ふたたび馬車に乗ろうとしながら、もういちど馬に手をのせましたが、馬は、うなだれたまま動こうとしませんでした。

ホワイト夫人が座ったときに、幻は終わりました。するとすぐに、馬は早足で歩き出しました。ホワイト長老がまだ、何の指示も出さないうちにです。そして以前と同じ、いうことを聞かない馬にもどりました。天使がダニエルのためにライオンの口をふさいだように、イエス様が預言者に幻をお与えになっている間は、天使が

この馬うまをおとなしくさせていたのです。

長年ながねんのあいだ、ホワイト長老ちやうろうとホワイト夫人ふじんは、いろいろな場所ばしよへと旅たびをしてみました。昔むかし、旅たびにはさまざまな苦勞くろうがつきものでしたが、それでも人々ひとびとに教おしえを説といてまわりました。

ホワイト夫人ふじんは子どもが大好きで、子どもこもたちも彼女かのじよのことが大好きでした。彼女かのじよが教会きやうかいや家いえに来ると、子どもたちはいつもおよろこびでした。子供こどもたちは、ホワイト夫人ふじんが幻まぼろしの中でイエス様なとお話はなしをしたときのことを聞いて、わくわくしました。

子どもたちはとくに、天国てんごくの話はなしと、イエス様さまが来られて、この世界せかいを新しくつくりかえるときの話を聞くのが、大好きでした。彼らかれは、すべての動物どうぶつが人ひとになれて、いっしょたのに楽しく遊ぶことができるようになることを知りました。そこで、いつまでも枯かれることのないお花はなを見たり、かおりの楽したのんだり、おいしい木きの実みを食べたいと思おもいました。

また、聖書せいしょの物語ものがたりで学まなんだ人物じんぶつとお話はなしすることができることも知しりました。そして何なにより、イエス様さまとお会あいして、お話はなしできるのです。

すばらしい天国てんごくのことを考えながら、イエス様さまが来られたら、いっしょにそこへ行いけるように準備じゆんびしたいと思おもいました。わたしたちも、ご再臨さいりんの時にイエス様さまといっしょてんごくに天国てんごくへ行いけるように準備じゆんびしたいと思おもいますよね？いつ来られても準備じゆんびができていのように、毎日まいにちイエス様さまに助たすけをお願ねがいしましょう。

だいしょう 第3章

しんでん み たからもの 神殿で見つかった宝物



子供のための日々の
聖書研究ガイド

あんしょうせいく 暗唱聖句

「もしあなたがたがわたしを愛するならば、
わたしのいましめを守るべきである。」

ヨハネ 14:15

にちようび 日曜日

ヒゼキヤ王の死後、息子である12歳^{さい}のマナセが、次のユダの王^{おう}となりました。ヒゼキヤは、人々がふたたび神様を礼拝し、神様に忠実^{ちゅうじつ}であることを選^{えら}べるように、ありとあらゆる努力^{どりよく}をしました。彼は、偶像^{かうざう}と、偶像を礼拝するすべての場所^{ばしょ}をうちこわしました。また彼は、神殿^{しんでん}で聖なる礼拝^{らいはい}をふたたび始めました。その結果^{けっか}、賛美^{さんび}と礼拝^{らいはい}を行う過越^{おこな}しの祭り^{まつ}りを、予定^{よてい}より7日^かも長く祝^{いわ}うことができたのでした。

サタンは、ヒゼキヤがよい事^{こと}をするのを喜^{よろこ}んだでしょうか? いいえ、そんなことはありませんね!

ではサタンは、それらのよい事^{こと}をだいなしにしようとしたくらんでいたと思^{おも}いますか? ええ、もちろんです! さて、王



となった今^{いま}、マナセは父^{ちち}が行^{おこな}ったことをつづけていくでしょうか? それとも、サタンのそそのかしに耳^{みみ}をかたむけるでしょうか?



だれがこの若いマナセに助言^{じょげん}をしたのか、わたしたちにはわかりませんが、恐^{おそ}ろしい選^{えら}びをしたことは確^{たし}かです。歴代志下^{れきだいしげ} 33:1-7,9 を読んでみましょう。

あなたは、これを読んで悲^{かな}しくなりましたか? 神様^{かみさま}も、このことを悲^{かな}しまれました。神様^{かみさま}は、マナセと人々^{ひとびと}を祝福^{しゅくふく}したいと望^{のぞ}んでおられましたが、できませんでした。ですから神様^{かみさま}は、アッシリア人^{びと}がやってきても、ヒゼキヤの時^{とき}のように、彼ら^{かれ}を止^とめることをなさいませんでした。アッシリア人^{びと}たちは、マナセを捕虜^{ほりよ}としてつれ去^さってしまいました。10,11 節^{せつ}。

牢獄^{ろうごく}の中で、マナセ王^{おう}は自分^{じぶん}の身に

お
起きていることと、自分のこれまでの選
びについて考えていました。そしてつい
に、自分がどれだけ悪い者であったかを
悟り、それを心から反省しました。彼が
神様にゆるしを願ったとき、神様はどうな
さいましたか？マナセがユダの人々に数々
の悪い行いをしてきたので、神様は彼を
ゆるすことをことわりしましたか？わたした
ちの神様は、そのようなお方でしょうか？

12,13 節。

考えてみよう：マナセは、最後になって
ようやく、サタンがどんなにいじわるで悪
い者であるかを悟りました。マナセをと
おして、サタンは何千何万もの人たちを
自分のえじきにしました。しかし、マナセ
は目を覚ましたね。わたしたちが、サ
タンから解放されたいと心から願うときに、
神様はいつでも喜んで助けて下さることを
嬉しく思いませんか？

げつようび 月曜日

マナセの死後、息子のアモンがユダ
の王となりました。アモンは、父
の身に起こったことから教訓を学びました
か？**歴代志下 33:21-23。**

2年しかたたないうちに、アモンの家来
たちは彼を殺し、アモンの息子のヨシヤ
が、8歳で次の王となりました。**歴代志下
34:1。**

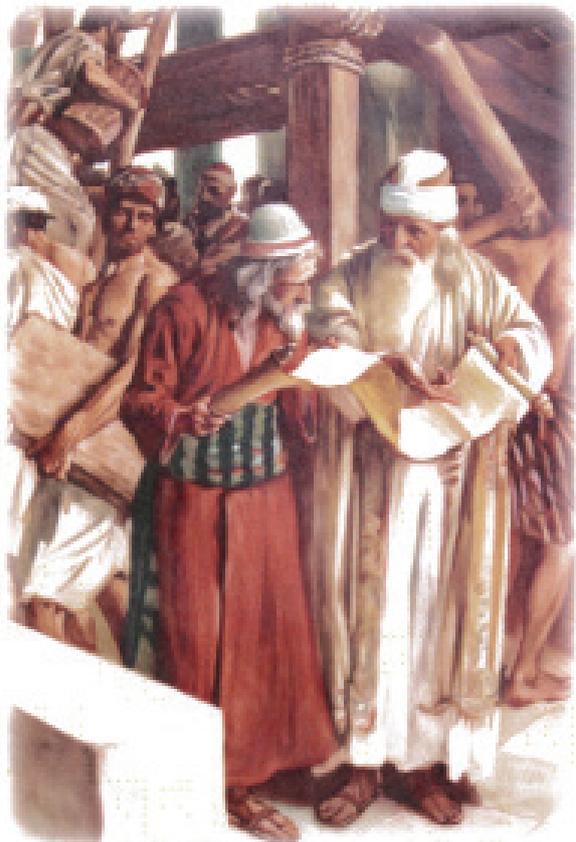
7歳で王になったヨアシとは、1歳しか
わかりませんでした。いろいろな選
びをしていくには、あまりにも幼すぎ
ましたか？いいえ、そんなことはあり
ませんでした！

2,3 節。

ヨシヤは、ヨアシのようには心変わりし
ませんでした。ヨシヤは始めから、神様
を愛し神様にしたがうことを選んで、その
道を離れませんでした。彼は、神様に対
して正直で、忠実であることをやめません
でした。

ヨシヤは多くのことを成しとげましたが、
そのなかに、神殿をふたたび清め、こわ
れたり、傷んだりした所がすべてきちんと
修理されたかどうか確かめたことがありま
した。まもなくそこは、修理の仕事をおこ
なう大工やその他の職人でいっぱいにな
りました。

当然のことですが、働き人には賃金を
はらう必要があります。そして、お金は
もうすでに集められていて、神殿の中
に保管されていました。ある日のこと、神殿



で、賃金を払うためのお金をとりだしたとき、大祭司ヒルキヤが、律法の書を発見しました。14節。

これはとても大事な書物でした。おそらく、祭司のだれかがこれを守るために隠したか、もしくは、たまたま神殿から除かれたがれきの下に埋もれていたのかもしれない。ヒルキヤは、これをどうしましたか？明日、そのことを勉強しましょう。

考えてみよう：聖書も、律法の書のようなものです。聖書は、わたしたちが、悪い敵であるサタンから、どのように安全に逃れるかを教えています。わたしたちは、聖書を大切に、聖書を熱心に読んでいられるでしょうか？あなたは、聖書を自由に学べることを嬉しく思っていますか？

かようび 火曜日

大祭司ヒルキヤは、神様が何百年も前にモーセに命じて書かせた、律法の書を発見しました。彼は興奮して、王の書記官であるシャパンをさがしたことでしよう。

シャパンは、この尊い書物をながめました。それを読んだときには、彼も興奮していたことでしょう。王様のヨシヤにも、ぜひこれを見せなくては。歴代志下 34:15-18。

ヨシヤは、神様の民が敵の手から守られ、強い国家でいるために、神様がモーセに教えられた事のすべてを知りた

いと望んでいました。シャパンがそれを読み上げると、ヨシヤの心は沈みました。やはり神様の民は、律法の教えからあまりにも離れていたのです。そのような民を、神様はもういちど祝福することがおできになるでしょうか？シャパンが読み終えたとき、ヨシヤは何をしましたか？ 19節。

ヨシヤは、北の王国イスラエルの人々が、どうして敵に捕らえられ、つれて行かれたかがわかりました。これまで数々の飢きんや戦争があったのも、当然です！それに、ヨシヤのユダ王国が強くなることができなかつたのも当然だといえるでしょう！すべては、不服従の結果でした。神様にしたがうことを選ばなかつたので、神様は人々を助けることができなかつたのです。そして彼らは、サタンにしたがうことを選んでいたので。

今となつては、もう手遅れでしょうか？ユダ王国には、もう望みがないのでしょうか？あまりにも長い間、神様の十戒を破り、サタンに従いつづけてきたので、神様はユダの人々を助けることができなくなっているのでしょうか？ヨシヤ王は役人たちに、何をするように命じましたか？ 21,22節。

ホルダは女預言者で、彼女が言うことはすべて神様からきたものだというのを、ヨシヤは知っていました。彼は、使者たちがもどってくるのを待っている間、不安でしかたがなかつたことでしょう。



かんが **考えてみよう**：わたし **みち** **えら**
私たちがどの道を選

うと、かならずその結果がともないます。
かみさま
神様にしたがったらどうなるか、また、サ
タンにしたがうことを選ぶとどうなるかを、
かみさま おし
神様は教えてくださっています。そのこと
について聖書が何を語っているか、もうい
ちど読んでみてください。ガラテヤ 6:7。

すいようび 水曜日

は たして、ユダ王国に望みはあるの
でしょうか？ヨシヤ王は、神様の
よげんしゃ
預言者のもとへ使者をつかわして、それを
し
知ろうとしています。

使者たちがもち帰った知らせは、よいも
のではありませんでした。ユダの人々が、
なが ねんげつ あいだ したが
じつに長い年月の間サタンに従ってきた
ために苦しむことになるだろう、と神様は
おっしゃいました。最後には敵がきて、彼
らを捕虜として連れて行くというのです。
それはまるで、きたおうこく お
北王国に起こったようなこと
です。なんということでしょう！

しかし、少しも良い知らせがなかった
わけではありません。ヨシヤが衣をさいて
かな かれ ほんしん
悲しんだとき、彼が本心からそれをしたこ
とを、かみさま ぞんじ かな
神様はご存知でした。悲しんだふ
りをしていただけではありませんでした。
ですから神様は、ヨシヤが死ぬまでは災
いがおこらないようにしてくださいました。
れきだいしげ
歴代志下 34:26-28。

ヨシヤは、かみさま かた
神様がお語りになったこと
ひとびと つ
を人々に告げるとき、たいへんおごそか
やくそく
な約束をしました。それは、かみさま あい
神様を愛し、
かみさま
神様にしたが、おな
同じようにすることを

ひとびと
人々にもすすめ、そのためにできるだけ
てだす
の手助けをする、というやくそく
やくそく
です。ヨシヤ
は、ただ おこな
は、正しいことを行おうという決心を変え
けつしん か
るつもりはありませんでした。31,32 節。

そして彼は、かれ やくそく まも
約束を守りました。人々は、
ひとびと
すぎこ まつ いわ
過越しの祭りを祝いました。ヨシヤは生き
ているかぎり、りつぼう しょ か
律法の書に書かれている
ことを行おうと、おこな さいぜん
最善をつくしたのです。

エジプトとの戦いでヨシヤが死んだとき
は、みんながかな
悲しみました。

かんが **考えてみよう**：ヨシヤは幼いころからかみさま
かみさま
を愛し、あ い しんらい かみさま
信頼し、神様にしたがうことを選
び、その決心を変えることはありませんで
けつしん か
した。じっかい かみさま あい
十戒が神様の愛をあらわしているこ
とも、にんげん したが こうふく
人間がそれに従うときに幸福になれ
ることも、ヨシヤは知っていました。いつ
もかれ ひとびと じっかい
彼は、人々が十戒にしたがうことを選
ぶように願っていました。あなたは今、何歳
ですか？これまで、ただ えら
正しい選びをしてきた
子どもたちについてのお話を、はなし
たくさん読
んできましたね。これらのお話に出てくる
子どもたちのことは、てんごく きろく
天国に記録されてい
るのです。そしてあなたも、かれ なかま
彼らの仲間
になれるのです。

もくようび 木曜日

ただ しいおう だつたヨシヤの死後、バ
ビロンの王が攻めてきて、ユダの
ひとびと ほりよ
人々を捕虜として自分の国へつれて行きま
した。よげんしゃ
預言者イザヤが告げたとおりのこと
お
が occurred のです。きたおうこく ひとびと
北王国の人々は、す
でにアッシリア人によって捕虜としてつれ
て行かれていました。そしてきたおうこく
北王国にい

た10の部族は、異教の国々で散らされてしまいました。

神様には、人間のためのすばらしいご計画がありました。わたしたちが神様と神様が定められた十戒にし

たがうときにどうなるか、また、神様がどれほど力強いお方であられるかを神様の民をとおして世界中に広める、という計画です。ところがこの計画は、サタンによってつぶされてしまったかのように見えました。

たしかに、アダムとエバが罪を犯してからというもの、人間は生まれつき、サタンにしたがう性質になってしまいました。しかし、王様であっても他のだれであっても、むりやり罪を犯させられる人はひとりもいません。イエス様がわたしたちのために死んで下さったおかげで、すべての人が、サタンにではなく、愛の神様にしたがう力を持つことができるのです。

神様は、ご自分の民に対して、なんとがまん強いおかなのでしょ!神様は彼らを救おうと、あらゆる方法をとおして、できることはすべてなさいました。神様の勇敢な預言者たちが、どれほど熱心に、神様の民がしている恐ろしい選びに気づかせようとしたかを考えてみてもわかるでしょう。

あなたは、何人の預言者の名前を覚え



ていますか?そのうち、6人の名前を言えますか?

ノア、モーセ、サムエル、エリヤ、エリシャ、イザヤは、これまでにわたしたちが勉強してきた預言者たちの数からみれば、ほんの一部でしかありません。

サタンは預言者を憎んでいましたし、今でもそうです。人々が預言者を信じて、神様にしたがうことを選ぶのをサタンは嫌います。サタンの嘘を信じることを選ぶ人たちも、神様の預言者たちを憎みます。そのような人たちは、自分たちの行いがまちがっていることを指摘されたくないのです。

かんがえてみよう: 神様の預言者たちの多くは、神様が夢や幻において彼らに示されたり、語られたりしたことを書き記します。これらの書物を神様は、聖書の中で安全に守ってられました。神様から預言者をとおして与えられたこれらの贈り物を、私たちはどれほど感謝すべきでしょうか?

きんようび 金曜日

今日は、これからする質問に、みなさんがどれだけ答えられるかを見てください。

ノアが120年もの間、警告しつづけた後、どれだけの人が箱船にはいりましたか?年をとった人たちのうちで、モーセをとおして与えられた神様の約束に信頼することを選び、カナン^{くに}の国へはいることができたのは何人でしたか?神様の代わりに

人間を王としてたてること
に対してサムエルが警告
したとき、人々は彼の言う
ことを信じたか？ほと
んどの王様や民は、エリ
ヤとエリシャの言うことに
耳をかたむけましたか？ユ
ダ王国の王さまのうち、イ
ザヤの言うことに耳をかた
むけた人は、どれだけい
ましたか？



が正しい者であるなどと感
じられなくなりました。イザ
ヤは、イエス様を他にして
は、すべての人が罪人であ
ることを悟ったのです。汚
れた罪人である自分が、ど
うして神様の預言者となるこ
とができるというのでしょうか？イザヤ 6:5 を読んでくだ
さい。

しかし幻の中で、神様はある驚くべきこ
とをして下さったようです。6,7 節。

マナセが悪い王様だったころ、神様は
多くの勇敢な預言者をつかわされました
が、彼らは王によって殺されてしまいま
した。実は、イザヤもそのひとりでした。し
かしイザヤは、死ぬ前にすばらしい書物
を残しました。それは今日、イザヤ書とし
て聖書の中のにのこされています。

このことがあってから、イザヤは自分の
してきた正しい行いには頼らず、完全に
神様だけに頼るようになりました。そして、
神様が特別な使者として、だれをつかわ
そうかとたずねたとき、イザヤは何と答え
ましたか？8 節。

イザヤについて考えてみましょう。神様
が彼を預言者として召されたとき、彼はま
だ青年でした。そのころまで、神様のお
きてに注意深くしたがってきていたので、
それで十分だと思っていました。今日、
多くのクリスチャンが教会へ通い、献金を
ささげ、正しい生き方をして満足していま
すが、イザヤもそのような若者だったと思
います。

かんがえてみよう：神様がイザヤにどんなお
話をなさったのか、知りたいとは思いませ
んか？神様のお話はどれも興味深いもの
で、私たちにとても教訓となるものばか
りです。来週、それを勉強していきましょう。

ところがある日、イザヤがエルサレムの
神殿の庭にいたときのことで、神様が
彼に、ひとつの幻をお与えになりました。
幻の中で、神様はイザヤに、天を見上
げさせました。そこでイザヤは、口では言
い表せないほどおそるべき神様のお姿を
見たのです。そのとたん、彼はもう、自分

もっと学ぼう！

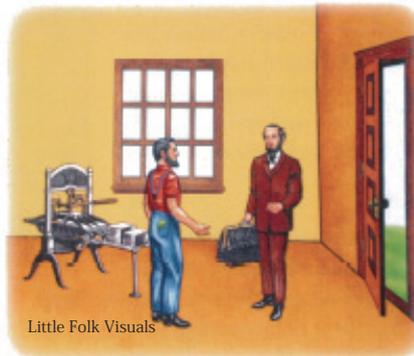
- ★列王紀下 21-23 章； 歴代志下 33-36 章； イザヤ 6 章；
- ★国と指導者 25-26, 32-33 章。



かがや ちい ひかり
ますます輝く小さな光

エイミー・シェラード編

1 1848年、つまり1844年の大失望の4年後に、イエス様はひじょうに重要な幻をエレンにお与えになりました。この幻の中で彼女が見たのは、ひとつの小さな光でした。はじめのうち、その光はそれほど明るくなかったのですが、だんだんと輝きをまし、ついには、わたしたちの住む世界全体を照らすほどになりました。



Little Folk Visuals

「この光は、イエス様の再臨について人々に理解させるためのものであって、神様のご計画の一部です」と、ひとりの天使がエレンに言いました。「彼らは、真の安息日について、人間が死んだ後どうなるかについて、他にもいくつかの重要なことについて知る必要があります。聖書が教えていることを多くの人々にわかってもらうために、ジェームスはメッセージを書いて、印刷しなくてはなりません。印刷にかかる費用は、この冊子を読む人々から、送られてくるはずです。」

エレンが幻のことを話すと、ジェームスはすぐにでも書きたいと思いました。けれども、自分たちの貧しい暮らしと、印刷代にいくらかかるのかを考えてみて、とうてい無理だと思いました。これまでけん命に働き、あらゆる仕事をしてきましたが、食べていくのがやっとでした。さらなる

収入を得るために、こんどは、あちこちの畑で干し草を刈る仕事をすることにしました。

ところが、天使はエレンに、まともこう言うのです。「今、彼は書くことだけがんばるべきです! 信仰を持つのです!」ジェームスはその言葉にしたがい、じきに初めての原稿が書きあげられ、あとは印刷するのみとなりました。

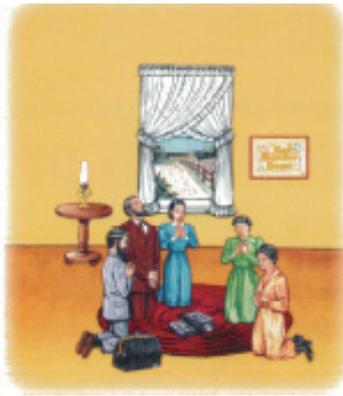
印刷屋さんは、エレンとジェームスの住む所から8マイル離れた町に住んでいました。「実はまだ、印刷代がありません」と、ジェームスは印刷屋さんに言いました。「でも、費用はきっと、支払われますから。」

印刷屋さんは、「あなたは正直な人ですから、信用していますよ」と言って、最初原稿を1000部、印刷してくれました。

ふだんジェームスは、歩いて町にかよっていました。しかし、印刷物ができあがった日には、それらを家まで運ぶために、馬と馬車を借りました。

家にもどったジェームスは、大事な印刷物を床におろしました。それから彼は、エレンと他の信者たちと一っしょに、印刷物のまわりにひざまずきました。そして、これらの印刷物を神様がお守り下さ

るように、また、受け取る人ひとりひとりに祝福があるように、と祈りました。それから、これらの印刷物を折りたたんで、これを読むだろうと思われる人たちの宛先を書きました。ジェームスは、それらを頑丈なかばんに入れて、町の郵便局へもって行きました。



Little Folk Visuals

つづけて下さいました。

そして今、あなたが手にしているこの小さな読み物は、ずっと前に美しく輝き始めた、あの光の一部なのです。

その後、ジェームスはすぐに次の原稿にとりかかりました。2か月の間に3つの記事が書かれて印刷され、郵便で送られたのでした。

はたして、イエス様は約束を守って下さいましたか？もちろんです。送られてきた記事に感謝した人々は、手紙といっしょに、お金も送ってくれたのです。こうして、エレンが幻で見た光は、どんどん輝きを増していったのでした。

最初に書かれた文書は『現代の真理』と呼ばれ、今から150年以上も前に印刷されました。その時から、この光はさらに輝きを増しつつづけてきています。現在では、何千何万冊もの本や雑誌が、世界中で様々な言葉に翻訳されています。何千何万もの人々がこれらを読み、聖書の教えていることを信じるようになりました。

当然、サタンがこの光をよく思うわけがありません。サタンはなんども、ジェームスやエレン・ホワイト、また他の多くの人々が、この光をさらに明るく輝かせようとするのをやめさせようとしてきました。しかしイエス様が、この働きをたえず祝福し

だい しょう 第4章

かみさま とくべつ ししや 神様の特別な使者



子供のための日々の
聖書研究ガイド

あんしょうせいく 暗唱聖句

「主は怒ることおそく、いつくしみに富み、
罪ととがをゆるす者。」民数記 14:18

にちようび 日曜日

あなたは、どこの国の国籍をもっていますか？アメリカ合衆国？カナダ？それともメキシコですか？それとも、それ以外の国ですか？世界にはたくさんの国がありますが、本当に重大な意味をもつ王国が、ふたつだけあります。これまで生まれてきたすべての人が、そのどちらかの国民になっているのです。これらふたつの王国が何だか、わかりますか？神様の王国とサタンの王国です。

今日、この世界に住むほとんどの人は、どちらの王国の国民なのでしょう？残念ながら、サタンの王国です。神様の王国を選ぶ人たちは、神様に忠実な人たちです。では彼らは、ほかの人たちが神様の王国を選ぶことを望んでいるのでしょうか？もちろんです。もしむかしの神様の民



が、カナンの地に入った後も神様の計画にしたがっていたならば、他国の人たちも神様の王国のことができたはず

なのです。けれども神様の民は、その計画にしたがいませんでした。

預言者イザヤの時代まで、神様の計画はうまくいかないように思われました。しかし、神様とサタンとではどちらが強いのでしょうか？もちろん神様です。どんなにサタンが神様の計画を止めようとがんばっ

ても、すべては神様の計画どおりになっていく、とイザヤは書いたのです。

神様の民はひとつの場所でなく、多くの国々に存在するようになることを、神様はイザヤに示してくださいました。イザヤの時代、他の国々に住んでいて、神様のことを知らず、とうぜん神様を拝んでいない人たちは、「異教徒」と呼ばれていました。神様はイザヤに、多くの異教徒が何をするかを選ぶようになるだろうとお告

げになりましたか？イザヤ 60:3。

あらゆる国々から、中国のようにはるか
遠い国々からも多くの人々がやってきて、
神様を礼拝するようになるのを見たとき、
イザヤはわくわくしたことでしょう。イザヤ
49:12。

考えてみよう：世界中の人々が神様の
王国に加わることを選ぶように、神様は今
もなお、呼びかけておられますか？あなた
の住んでいるところに、まだ神様の王国に
加わっていない人はいませんか？子どもで
も神様の働き人になれるような、何かい
い方法を思いつきますか？

げつようび 月曜日

神様はイザヤに、たくさんのすばら
しいことを示してくださいました。
神様が語られたのは、イエス様の誕生と
生涯、そしてわたしたちのためにイエス様
が経験なさるであろう、おそろしい死につ
いてでした。さらに神様は、イエス様の
ご再臨のときには、サタンの王国を選ん
だ人々が恐れおののくようになることをお
示しになりました。また神様の王国を選
んだ人々が、再臨のときにどうなるのかも、
教えてくださいました。イザヤ 25:9。

神様はイザヤに、天国についても語っ
てくださいました。わたしたちには、天国
がどんなところか、想像すらできませんね。
この地上では、殺し合って互いに食べ合
うような動物たちが、天国では、肉を食
べようなどとは考えもしなくなります。オオ
カミと子羊、ヒョウとヤギ、牛やライオン



やクマなど、地上では敵同士の動物たち
が、天国ではおだやかにになります。どの
動物たちとも、仲よく遊べるようになるの
です。へびだって、怖くなくなります。イ

ザヤ 11:6-9。

病気の人、歩けない人、耳の聞こえな
い人や目の見えない人、また他に悪いと
ころのある人たちも、だれひとりとして、
具合の悪いまま天国に行くことはありません。
イザヤ 33:24; 35:5,6。

この世界では、ふたたび引越などし
なくていいような、完ぺきな場所に完ぺ
きな家を建てることを、多くの人々が望んで
います。だれでも神様の国を選ぶならば、
いつの日か、すべてがかなえられること
でしょう。イザヤ 65:21,22。

天国では、安息日に何をするのでしょ
うか？イザヤ 66:23。

考えてみよう：天国は、本当に存在しま
す。すばらしいですね。サタンの国を選ん
で、天国へ行けなくなってもいいと思う人
がいるでしょうか？

かようび 火曜日

今日わたしたちがお勉強するのは、エレミヤについてです。エレミヤは、神様がついに、ユダの国をバビロンによって征服させようとする前につかわした、最後の預言者でした。

エレミヤは、内気な人でした。しかし神様は、彼が力強く勇敢な働き人になれることをご存知でした。神様とエレミヤの会話を読んでみましょう。**エレミヤ 1:4-6**。

エレミヤの言い訳を聞いてから、神様は何をなさいましたか？ **7-10 節**。

さあ、これでエレミヤは勇氣百倍です。彼は、ユダの王と民に、そのうちバビロンにつれていかれて、そこで70年もの間とらわれの身となるであろうと告げました。さらに、捕らえられるときは、バビロンの兵隊にさからわずに協力しなさいとも言いました。ところが、それを聞いた人たちは、彼を裏切り者呼ばわりして牢獄に入れてし



まいました。投獄されたエレミヤは、神様からのメッセージを伝えることができなくなったので、



秘書のバルクにたのんで、神様のお言葉を巻物に書かせました。それからバルクに、神殿へ行って、書いたことを人々に読み聞かせるように言いました。**エレミヤ 36:6**。

このことが、エホヤキム王の王子たちの耳に入ると、彼らはバルクを呼びよせ、その巻物を自分たちの前で読ませました。神様のお言葉を聞いた彼らは、どう思いましたか？ **16 節**。

その時、エホヤキムはどこにいましたか？また、エレミヤが書いたことを聞いて、王様とその召使いたちはどう思いましたか？ **22-24 節**。

エレミヤはもういちど、同じメッセージを残らず書かせました。それでも人々は、神様の言葉にしたがいませんでした。とうとうエレミヤは、底が泥だらけのから井戸に入れられて、死ぬまで放っておかれることになりました。**エレミヤ 38:6**。ところが、ひとりの優しいアフリカ人が、エレミヤを井戸から助け出してくれました。どのようにして、井戸から出したのですか？ **7-13 節**。

ユダ王国の最後の王となったゼデキヤは、とても不安でした。バビロンの兵士たちがエルサレムを取り囲んでおり、もし都が占領されたら、自分は殺されるのではないかと恐れていたのです。とうとう王は、ひそかにエレミヤを呼んで、話をすることにしました。エレミヤは、バビロン人たちがエルサレムを占領するのを神様が止めることはない、と言いました。そして、も

し王が降伏するならば、殺されることはないだろうと言いました。しかし、王はその助言にしがいませんでした。

神様はエレミヤと、彼の秘書と、親切なアフリカ人を守って下さいました。しかし、ユダの王と民は、バビロンへつれ去られてしまいました。すべて、神様の言われたとおりのことが起こったのです。

考えてみよう：神様がお語りになるとき、わたしたちは耳をかたむけるべきでしょうか？聖書のお話は、それが大切なことだとわたしたちに教えていますか？今日、神様の勇敢な働き人はいるでしょうか？

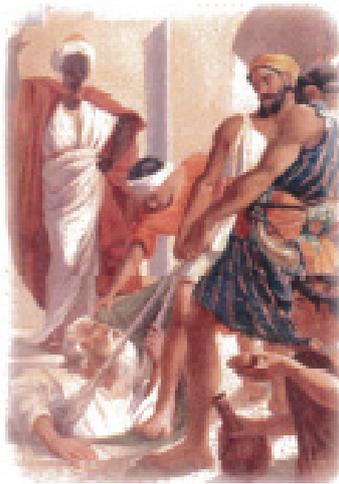
すいようび 水曜日

ヨナも、神様の預言者のひとりでした。ヨナといえば、どんなお話を思い出しますか？魚にのまれた話ですか？神様はヨナに、ある特別な仕事をたのみました。それは何でしたか？ヨナ 1:2。

ニネベは、洪水の後に人々が建てようとしたバベルの塔の場所からは、さほど遠



くないところにありました。そこはとても古い都でした。ニネベの住民はあまりにも悪かったので、彼らを滅ぼす



と神様は言われました。

ヨナ自身はニネベになんか行きたくありませんでしたが、そこにも心から変わりたいと願っている人たちがいるのを、神様はご存知でした。ニネベの人々が神様のことを知ったら、彼らは悪い行いをやめて、神様を礼拝するようになることも、ご存知でした。

ところがヨナは、神様にたのまれた仕事について考えれば考えるほど、ますますニネベには行きたくなくなりました。あれほど悪い連中が変わるわけではない、と思っていましたし、ニネベのことを考えただけで、いやな気持ちになりました。

そしてとうとう、ニネベには行かないことに決めました。それどころか、何千キロも離れた、ニネベとは逆方向の場所へ行くことにしたのです。ヨナはまずヨッパへ行って、タルシシ行きの船に乗りました。神様から逃げられると考えるなんて、ヨナはなんと愚かだったのでしょうか！3節。

考えてみよう：神様から隠れることができますか？もちろん、できるわけがありません！それに、親友から逃げようとすること自体、本当に愚かなことです！詩編 139:7-10 を読みましょう。

もくようび 木曜日

ヨナは、ぜったいにできないことを、無理やりやろうとしていました。彼は、ニネベから逃れる道を見つけたと

おも 思っていました。そして今、
ニネベからさらに遠く離れよ
うと思って、長い船旅に出た
のでした。

だれかがヨナをゆさぶっ
て起こしたとき、彼は船底で
ぐっすり眠っていました。ヨナ
1:4-6。

何が起きているのか、すぐにわかりま
した。自分はサタンにしたがっていたので、
祈っても神様は聞いてくださらないだろう
と思いました。船乗りたちがくじを引くと、
だれが当たりましたか？それから、何が起
こりましたか？ 7-12 節。

船に乗っているみんなが、嵐の起こっ
ている理由を知りました。けれども、嵐を
しずめる方法をヨナから聞いても、だれも
それをやりたがりません。しかしついに、
ヨナを海に投げこむよりほかに、助かる
方法がないことを悟ったのでした。14-16
節。

自分はきっとおぼれ死ぬだろうと、ヨナ
は思っていたはずです。しかし、ヨナを
愛しておられた神様は、彼のために別の
計画を用意しておられました。神様は、
一匹の大きな魚を送ってヨナを飲みこま
せ、彼が船で出発した海岸へとつれもど
したのでした。17 節。

ヨナは、大切な教訓を学んでいました。
大きな魚のお腹の中は暗くて、ヌルヌル
して、そこにいる間、いろんなことを考
えたことでしょう。まだ生きているとはい
え、これからどうなるのでしょうか？ヨナは、
お祈りをしましたか？神様は、その祈りを



お聞きになったでしょうか？3
日後、ヨナは陸にもどされまし
た。体をきれいに洗った彼は、
こんどこそしたがう準備ができ
ていました。ヨナ 2:10; 3:1-3。

かんが 考えてみよう: 異教徒
〔偶像を拜む人〕であった
船乗りたちは、神様のことを
知り、神様を礼拝するようにな
りました (1:16)。この経験から、ヨナは何
を学びましたか？神様から隠れることはで
きますか？神様はどのようにして、ヨナへ
の愛を示されましたか？

きんようび 金曜日

— ネベまでは、まだ何百キロもあり
— ます。いよいよニネベに到着した
ヨナは、どのようなメッセージを人々に伝
えましたか？ヨナ 3:4。

ニネベの人々には、ヨナが神様の
預言者であることがわかりました。彼らは
きっと、神様がこれまでになさった大きな
わざについて、いくつか聞いていたにち
がいありません。ですから、ヨナが話して
いるとおりのことを神様がおできになるこ
とを知っていましたし、王様でさえ、その
ことを信じました。

聖霊が心に語りかけたので、彼らはこ
れまでの自分たちが、どれだけ悪かった
かを反省しました。そして心から悔い改
め、神様のゆるしと救いを祈りもとめまし
た。神様は、彼らの祈りをお聞きになりま
したか？ 8-10 節。

ニネベのおおぜいの人々
が心から罪を悔い改めて、
まったく変えられるのを見た
ヨナは、もう神様は彼らを
滅ぼさないだろうと思いま
した。彼はどんな気持ちで
したか？ヨナ 4:1。



かんが
考えてみよう:わたしたち
は、ヨナの物語からどんな
教訓を学ぶことができます
か？

最初にヨナが逃げ出そうと
した理由のひとつは、ニネベの人たちが
悔い改めたら、神様は彼らを滅ぼさない
のではないかという不安があったからで
す。今となつては、預言どおりのことが起
こらなかったで、人々はヨナを偽預言者
と呼ぶにきまっている。そんな恥ずかしい
思いをするくらいなら、死んだ方がましだ、
とヨナは思ったのです。2,3 節。

こうなつた今でも、ヨナは、神様がニネ
ベを滅ぼしてくれることを望んでいたと思
いますか？ヨナはどこへ行きましたか？焼
けるような太陽の熱から守るために、神様
は何をお与えになりましたか？5,6 節。

ところが、あくる朝には、どうなってい
ましたか？7-11 節。

この木が枯れてしまったので、ヨナはど
ても悲しくなりました。この木のおかげで、
心地よく過ごせていたからです。しかし彼
は、何千何万ものニネベの人たちが死ぬ
ことを何とも思いませんでした。神様が
ニネベの人たちのためになさつたことは、
自分に恥をかかせることになると思つたか
らです。ヨナは自分勝手でしたか？それと
も思いやりがありましたか？心から人を愛
し、人々の救いを望むことを、彼は学ぶ
ことができたでしょうか？

まな
もっと学ぼう！

★ヨナ 1-4 章

★国と指導者 22, 31, 34-37 章



信頼することを学ぶ

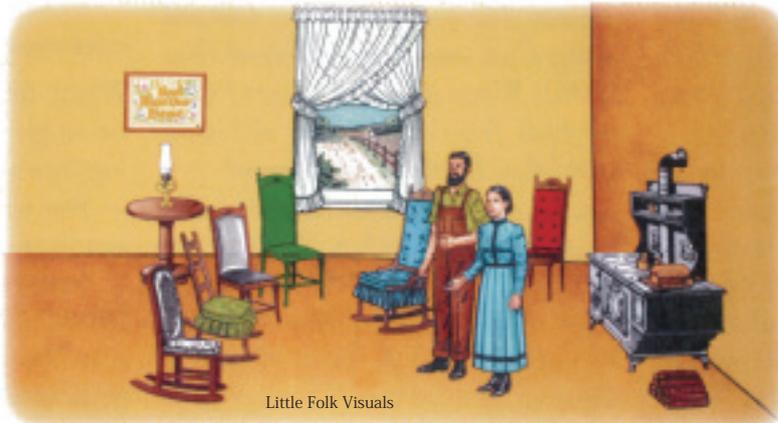
エイミー・シェラード編

ジェームスとエレンのふたりは、結婚してから長い間、どれだけ貧しい暮らしをしてきたのか、わたしたちには想像もつきません。当時の伝道者は、彼らが説教をする教会の人たちの献金によって生活が支えられていました。しかし、安息日を守り始めた信者たちには、まだちゃんとした教会がありませんでしたし、信者の多くは貧しかったので、ジェームスは、必要なものを買うために働かなくてはなりませんでした。

ある時は、線路をつくるために岩を引っぱってきたり、またある時は、木を切って売ったりすることもありました。また時には、食べ物や衣服を買うお金や、原稿の印刷代と信者さんたちに送る郵便代をかせぐために、鎌で干し草を刈る仕事などをしました。

ほとんどの人は、ジェームスの書いた『現代の真理』にかかる代金の足しにしてほしいと、お金を送ってくれました。そして時には、ふたりが他の所へ説教に行くための費用が送られてくることもありまし

たが、たいていの場合、お金は足りませんでした。失望させられそうになる誘惑を、ふたりはなんども受けたことでしょう!



Little Folk Visuals

ある嵐の日のこと、食べ物物がほとんど底をついたので、ジェームスは雨の降りしきる中、村を通りぬけて、食べ物

かお金をもらうために、雇い主のところへ歩いて行きました。背中に袋をかついで家にもどった彼は、ずぶぬれで疲れきっていました。それを見たエレンは、かわいそうに思い、泣き出してしまいました。

「神様は、わたしたちを見捨てられたのでしょうか?」エレンはすすり泣いています。しかし、自分たちのためにイエス様がどれだけの苦しみを受けられたかを考えたとき、彼女は悲しむことをやめ、元気に明るくすごすことにしました。

ジェームスとエレンは、長いあいだ、親切な信者さんの家に住まわせてもらっていましたが、ある時は、たったの175ドルで一年も家を借りることができました。親切な人たちから家具を借りたり、もらっ

たりしたことに、ふたりは感謝かんしゃしました。はじめのころは、2個このたるうえの上に板いたをおしただけのテーブルで食事しょくじをしていました。

ジェームスはある日ひ、たったの1ドルで6脚ぎやくの古ふるいイスをて手いに入れ、大喜おおよろこびで帰かえってきました。「見てみごらんよ、エレン！」彼かれは言いいました。「おそろいというわけみではないけれど、どれも頑丈がんじょうだし、借かり物ものではないんだよ。」

ジェームスとエレンは、少しすこでもむだがないように気きをつけました。エレンは料理りょうりや裁縫さいほうの仕方しかたを学まなんでいました。彼女かのじよは、ジェームスの服ふくに継つぎ（着物きものや布ぬののやぶれたところをつくろうこと）をあてるのが上手じょうずでした。とてもていねいにできるので、どこがめつなぎ目めなのかがわからないくらいです。時々ときどき、継つぎを当あてたところに、また新あたらしい継つぎを当あてなくてはならないことあもありました。生活せいかつは楽らくではありませんでしたが、彼らかれは、イエス様さまが自分たちを見捨みすてたりなしさらないことを知しっていました。

自分じぶんが特別とくべつな働はたらきのためにイエス様さまから選えらばれたことをエレンは知しっていましたが、とても謙けんそん〔へりくだること〕だったので、自分じぶんが預言者よげんしゃだとは思おもっていませんでした。エレンは、「わたしはイエス様さまの使者ししやにすぎません」といつも言いっていました。再臨さいりん信徒しんとの数かずが増ふえるにつれて、また彼らかれが聖書せいしょからの新あたらしい真理しんりを学まなぶにつれて、イエス様さまがエレンに与あたえてくださった幻まぼろしや夢ゆめが、ますます価値かちあるものになっていきました。

イエス様さまはほかに、影響えいきょうりよく力があつて、喜よろこんで奉仕ほうしする指導者しどうしゃたちを見つみけておられました。彼らかれの多おほくは、エレンやジェームスわかものような若者わかものでした。彼らかれがどんな人ひとたちだしったか、知しりたいですか？では次回じかいは、これらわかもの若者わかものたちについて学まなびましょう。

だいしょう 第5章

せんきょうし とらわれの宣教師



子供のための日々の
聖書研究ガイド

あんしょうせいく 暗唱聖句

「わたしを尊ぶ者をわたしは尊び」

サムエル記上 2:30

にちようび 日曜日

神様が何度もなんども警告なされてきた、まさにそのことが、実際に起きていました。ユダの最も偉い人たちの何人かが、バビロンに捕虜〔戦争などで敵に捕らえられた人〕としてつれ去られてしまったのです。

捕虜になった人たちは皆、神様にしがっていません。アダムとエバが罪を犯した後の、どの時代にも、神様に忠実な人たちがいました。そのような人たちは、どんなことが起きようとも、また、他の人たちがどうしようとも、神様と十戒に信頼して、したがうことを選んできました。そして

今、捕虜になった人たちの中には、神様に忠実なダニエルと3人の友だちがいました。その時、ダニエルはまだ十代の若者で、おそらく3人の友だちも同じくらいだったと思われます。

エルサレムからつれ出されて、バビロンへの遠い道のりを歩いていくときの彼の心は、とても重く、悲しみにみちていたはずでした。住みなれた土地と家を離れて、ほとんどの人は、二度と故郷へもどることはないのです。彼らは捕虜でしたから。

もしかしたら彼らは、これまで起きていたのかもしれない。バビロンの軍隊は、自分の国にある異教の神殿におくために、ユダの国の神殿から、聖なる物をいくつも奪って行きました。ダニエル 1:2。

何年もたってから、バビロン人が何度かやっ



てくるようになり、もっと多くの人や物をうばっていくことを彼らが知ったならば、悲しみはさらに大きくなったことでしょう。

ただ、神様が2枚の石の板に書かれた十戒を入れた契約の箱だけは、守られました。神様に真実をつくしていたふたりの勇敢な男が、契約の箱をどこかのほら穴に隠し、そのことを秘密にしていたからです。

敵は都の城壁を破壊し、あの美しい神殿を焼こうとしていました。列王紀下

25:8-16、Ⅱコリント 36:15-20。

考えてみよう:もしあなたが、ダニエルや3人の友だちだったら、どんな気持ちになったと思いますか?契約の箱がバビロンに持ち去られなくてよかったと思いますか?実は、契約の箱はまだ見つかっておらず、今でも安全な場所に隠されたままであることを知っていましたか?

げつようび 月曜日

捕虜たちは、ついにバビロンの地に入りました。これからどうなるのでしょうか?それは、神様だけがご存じでした。神様は、ダニエルと3人の友だちを見守っておられたのでしょうか?もちろんです。彼らは幼いころから、神様に信頼することを学んでいました。4人ともよい家庭で育ち、両親から正しい信仰をしっかりと教えられていました。優秀な生徒であった彼らは、神様を愛し、十戒にしたがうことも学んでいました。

ところがもう、お父さんもお母さんもいっ

しよではありません。これからの人生を左右するような選びを、自分でしていかなくはいけないのです。これから彼らは、どんな選びをしていくのでしょうか?神様に忠実でありつづけるのでしょうか?

バビロンの王様は、重要な家来のひとりであったアシペナズに、ある特別なことを命じました。その命令とは何でしたか?**ダニエル 1:3,4。**

これって何だか、コンテストのようだと思いませんか?選ばれた若者たちは、あらゆる面で特別でした。顔立ちも頭もよくなくてはいけませんでした。ダニエルと3人の友だちはみな、この条件をそなえていました。彼らは、いつも健康に気をつけ、しっかり勉強していてよかったと思ったことでしょう。

おそらくアシペナズは、いろんな試験をして、たくさんの質問もしたことでしょう。王様は細かいことにこだわる人で、もっとも優秀な若者だけを求めていましたから。

考えてみよう:ダニエルたちは、祈っていたと思いますか?彼らはよく勉強し、健康にも気をつけていてよかったと思っただけでしょうか?わたしたちは、彼らのような生き方をし、彼らのような信仰をもっているのでしょうか?

かようび 火曜日

特別に優秀な若者たちが選ばれましたが、ダニエルと3人の友だちもその中に入っていました。ところがすぐに、むずかしい問題にぶつかることになり



ます。

王様の命令のひとつに、選ばれた若者たちに特別な食事を与える、というものがありませんでした。彼らの両親が、それは彼らにとって良くないものだと教えていたからです。自分たちが健康でいられる理由のひとつは、健康の法則にしたがっているからだということを、彼らは知っていました。さて、4人はどうするべきなのでしょう？

王様が彼らにとってもよくしてくれたことを考えるならば、感謝の気持ちをあらわすために、命じられたとおりの食事をすべ

ます。

きであると考えるほうが楽であったはずで

す。

あるいは、3年の間だけなら王の食事をしても大丈夫だろう、と考えることもできたでしょう。もしかすると、両親から良くないと教えられてきた食事をためしてみるチャンスかもしれない、と思うこともできたはずで

す。

4人は、どちらを選ぶのでしょうか？ 訓練期間が始まる前に、ダニエルはすでに何をしていましたか？ 8節。

それをするには、勇気をふりしぼらなくては

はいけなかったはずで

す。

王様の命令に逆らう人は、だれもいなかったわけですから。事情を知ったアシパナズは、どうやって彼らを助けることができたでしょうか？もしこのことが王様に知れたら、どうなるのでしょうか？

考えてみよう：ダニエルはすでに、かく決意していました。彼はもう、両親の助けがなくても大丈夫でした。イエス様を愛するすべての子どもは、両親が見ていないときでも、正しいことをするように学ぶべきですか？

すいようび 水曜日

アシパナズは、ダニエルのために何とかしてあげたいと思うほど、かれをすっかり気に入ってしまいました。ダニエルと3人の友だちは、とても利口で礼儀正しく、有用な〔役に立つ〕青年たちでした。ですからアシパナズは、なん

とか4人の願いを聞き入れてあげたいとおもったのでした。しかし、もしそうすれば、自分の身が危うくなるかもしれません。ダ

ニエル 1:9,10。

神様の定めた食事が一番だということが、アシペナズにはまだ理解できませんでした。そんな食事をつづけると、4人はきっと、他の訓練生たちよりも不健康そうに見えるだろうと思いました。そして、王様がそのことを知ったら、アシペナズは罰を受けることになるかもしれないのです。

次にダニエルは、食事の世話をしてくれる給仕長と話をしました。彼は給仕長に、その食事どうまくいくかどうかを見るために、10日の間だけ試させてほしいとお願いしました。王様が命じた食事の代わりにダニエルが求めたのは、どのような食べ物でしたか？ 11-13 節。

給仕長は、じっくり考えました。おそらく、アシペナズとも話し合ったのでしょう。きっとうまくいかないだろうと思ったはずですが、結局ダニエルの求めるとおりにさせてみることにしました。そして10日の間、ダニエルたちに頼まれた食事を用意してあげました。

ほっとしたダニエルたちは、感謝の気持ちでいっぱいになったことでしょう。そして、きっと、神様に忠実であろうとして選んだ道を祝福してくださるようにと、祈ってお願ひしたことでしょう。この10日間、彼らは水をたくさん飲んで、給仕長にお願いしたものだけを食べました。毎日、運動もしていたはずですが、給仕長が食事をつづ

けさせてくれるかどうかは、まもなくわかります。でも、もしつづけさせてくれなかったとしても、王様の食卓のものを口にするつもりはありません。

考えてみよう：神様の与えられた食事、すなわち、果物、穀物、野菜、ナッツ類は、今でも世界で最高の食物です。あなたは、こういった食物を食べていますか？

もくようび 木曜日

ついに10日間が終わり、給仕長はダニエルと3人の友だちを検査してみました。彼は、どうすることに決めましたか？ダニエル 1:15,16。

給仕長は、驚き、また喜んだことでしょう。彼は、4人の若者たちのことが好きでした。そして、その彼らが正しかったことがわかったのです。もう何も心配はいりません。このまま、彼らが選んだ食事をつづけさせればよいのです。

ダニエルたちは、部屋へもどって、神様に感謝の祈りをささげたと思いますか？神様は、王様の食事をことうった4人を祝福なさいました。彼らは、給仕長や、もしかすると料理人たちにも、神様のことを証したのです。おそらく他の訓練生たちも、ダニエルたちの変化に気づいたことでしょう。

3年の訓練期間の後に、彼らはいろんなテストを受けることになっていました。彼らの頭脳ははっきりしていて、とても鋭くなっていました。神様に忠実でいようと決めていたので、神様が彼らを祝福してく



ださいました。中でもダニエルは、神様から特別に祝福を受けました。イエス様もどってこられるときまで、各時代の神の民を助けるための、特別な賜物を与えられたからです。それは何でしたか？ 17 節。

3年ものきびしい訓練を終えた後に、重要な最終試験のときがやってきました。ダニエルたちは、アシペナズが選んだ、賢くて才能のある若者たちが、自分たちの競争相手であることを知っていました。そしてついに、王様が彼らを試験する時がやってきました。 18 節。

考えてみよう：王様によって試されたとき、ダニエルと3人の友だちは心配していたと思いますか？自分の体をどのようにあつかうかによって、本当にちがいが出てくると思いますか？あなたは、正しく食べること、しっかり睡眠をとること、また、新鮮な空気の中で運動をすることを学ん

でいますか？そして、これらの健康法を実行していますか？

きんようび 金曜日

ネ ブカデネザル王は、ダニエルと3人の友だちを見つめました。どういうわけか彼らは、他の訓練生たちとはちがいます。きちんと背筋をのばして、どうどと立っています。肌はきれいで、健康そのものです。目はきらきら輝いています。そして彼らの行儀は、まさに完璧でした。

王様が4人を審査している間、アシペナズもその様子を見守っていたことでしょう。4人が優秀であることは知っていたはずですが、彼らが合格するように願っていたのかもしれないね。

王様は、彼らをヘブル語の名前ではなく、すでに与えられていたバビロン語による名前と呼びました。どれも、バビロンの神々に敬意を表してつけられた名前でした。 **ダニエル 1:7。**

王様は彼らをテストするために、ありとあらゆる質問を投げかけましたが、4人とも、どんな質問にも答えることができました。質問はどんどんむずかしくなってきましたが、てきぱきと答えていったのです。王様は、おどろきのあまり目をみはりました。これほどまでに賢い人間がいるとは、とても信じられませんでした。ダニエルたちの成績は、他の訓練生たちと比べてどうでしたか？ 20 節。

ダニエルと友人たちは、たまたま他の
訓練生たちよりも賢かったのでしょうか？
彼らだけが群をぬいていたのはなぜでし
う？体や頭脳にとって有害なものは、なん
であろうと拒もうと心に決め、それを実行
したためでした。彼らは健康の規則〔ルー
ル〕を守りました。その規則とはつまり、
十戒のひとつである「殺してはならない」
との戒めにふくまれるのです。自分自身の
生きかたによって体や頭脳をこわしている
人たちは、まさにこの戒めを破っているの
です。

彼らがあれば成績をのばした理由が、
実はもうひとつあります。わたしたちが
最善をつくすとき、神様は私たちに祝福す
ることができます。聖霊が心のうちに入っ
て、わたしたちを助けてくれるのです。す
べての知恵は、神様からくるのですから。

考えてみよう：ダニエルと3人の友だち
は、正しい選びで人生が変わりましたか？
ささいに思われることでも神様を第一に選
んでいたのに、神様は大きいことで彼らを
助け、祝福することができました。あなたも、
そのような歩みをしたいと思いませんか？

まな
もっと学ぼう！

★ダニエル書 1章

★ 国と指導者 39章



ふたり あきらめた2人のジョン

エイミー・シェラード編

「もうだめ!こんな生活、これ以上つづけられるわけないわ!」メアリーがジョンに言いました。

このメアリーという人は、若いアドベンチスト牧師であるジョン・ラフボローの奥さんです。

ジョンは、とても落ち込んでいました。だって、メアリーが言ったことは、真実でしたから。

説教をしているとき以外は、ジョンは農場でけん命に働いていましたが、必要な物を買うお金がいつだって足りないのです。4ドルでは、1週間の生活費には足りません。

「わかったよ、メアリー。アイオワにもどって、僕の両親がいるワウコンの農場で暮らすことにしよう。そこで大工仕事のかたわら、伝道をつづけるよ。」彼は妻にいいました。そういうわけで、彼らは引っ越したのです。ジョンが腕のいい大工で働き者だったので、彼らはまもなく、生活するのに十分なお金を得ることができました。

もうひとり、別のジョンという人が同じ町に住んでいました。彼の名前は、アンドリュースといいます。ふたりのジョンは、

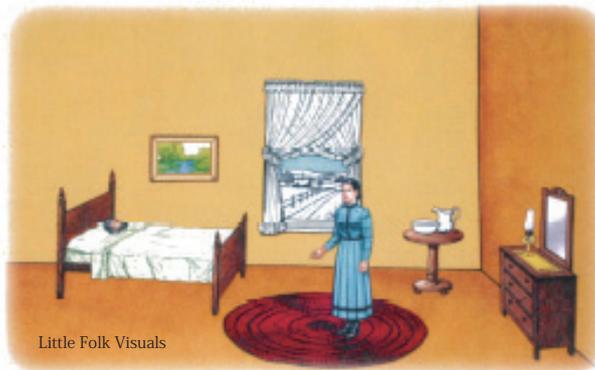
ミドルネームの頭文字も“N”で、同じでした。ジョン・アンドリュースもイエス様の働き人で、安息日を守る信者たちへ送る、アドベンチストの記事を書いていま

した。ところが、正しい食事についてよく知らなかったのと、働きすぎたために、健康状態はどんどん悪くなっていき、ついには病気になってしまいました。それ

で今は、彼も父親のところへ帰って、ふたび元気をとりもどそうとしているのです。

サタンは人々に、聖書の真理を学ばせないように必死でじゃまをしていたので、ふたりのジョンが伝道の働きを途中でやめて、しかも小さな町のワウコンの信者たちが、真理に関心がなくなってきていたのを喜んでいました。彼らは、以前のようにイエス様を愛してはいませんでした。

アイオワ州とイリノイ州はミシシッピー川によってへだてられていて、そのころジェームスとエレン・ホワイトは、イリノイ州のラウンド・グローブという町で集会を開いていました。そこにいる信者たちが、より強い信仰をもつことができるように励ますためです。すると、イエス様はエレン



Little Folk Visuals

に、ワウコンの信者たちやふたりのジョン
についての幻を見せてくださいました。

ワウコンへ行って、そこにいる信者たち
のために何とかしなくては、とエレンは思
いました。季節は冬で、ワウコンまでは
300キロ近くもあります。でも、ミシシッ
ピー川がこおっているのです、そこをそりで
わたることができます。

ラウンド・グローブのふたりの信者が、
馬2頭で引く大きなそりをもっていて、彼
らがエレンとジェームスをワウコンの町ま
でつれて行ってくれると言いました。

ところが彼らが出かける前の日、24
時間ずっと雨が降りつづいたのです。こ
の大雨で川の氷はとけてしまったかもしれ
ないので、横断するのはひじょうに危険だ
と思われました。それでも彼らは行くべき
でしょうか？

「今回の旅は、あきらめるしかない」と、
ジェームスは言いました。エレンはまだ
迷っています。「ホワイト姉妹、どうなさい
ますか？」と、御者のひとりがたずねまし
た。

エレンは、「行きましょう!」と答えました。
御者たちは了解しましたが、奇跡が起
こらなければ目的地にはたどり着けないだ
ろうと思っていました。

その晩、エレンはなんだか起きて窓の
外を見ましたが、雨はまだ降りつづいて
いました。

(つづく)

だい しょう 第6章

おう あくむ 王の悪夢



子供のための日々の
聖書研究ガイド

あんしょうせいく 暗唱聖句

「まことに主なる神はそのしもべである預言者にその隠れた事を示さないでは、何事をもなされない。」

アモス 3:7

にちようび 日曜日

ダニエルと3人の友人がバビロンの知者選ばれてから、それほどたないうちに、恐ろしいことが起こりました。ある日、護衛の長であるアリオクがやってきて、王様の命令によりすべての知者を処刑〔死刑に〕するため知者たちを捕らえにきた、と言うのです。一体、何が起こったのでしょうか？

アリオクによれば、ネブカデネザル王が恐ろしい夢を見たが、その夢が何だったかとも思い出せない上、その夢がなぜ、これほど自分をおびえさせているのかもわからない、というのです。ただ言えるのは、恐ろしい夢だったことと、ひじょうに重要な夢にちがいないということだけでし



た。知者であるはずの人たちが、だれひとりとして王様を助けることができなかつたため、王様は怒って、すべての知者を殺せ、との命令を下したのでした。

目を覚ました王様は、見た夢を思い出すことができませんでした。そこで、知者たちに助けてもらおうと考えたのでした。

ダニエル 2:1-3。

知者たちは当然、王様がどんな夢を見

たのかたずねました。4
せつ
節。

ところが王様は、すでに知者たちに、どうしても思い出せないので、彼らにどんな夢かを話してほしいとたのんでいました。魔術やそのたぐいのものを使って、どんな夢かも当てることができるだろうというわけです。もしも彼らが夢を言い当てることができなけ

かんが
考えてみよう:もしあなたが、**ごえいちよう**
護衛長ア
リオクがこの**もんだい**問題をダニエルと3人の友
だち**はな**に話しているのを聞いていたとしたら、
どう感じたでしょう?怖くなって逃げだした
くなりますか?あなただったら、どうしてい
た**おも**と思いますか?

かようび 火曜日

ダニエルと3人の友だちは、**ほか**
他の**ちしや**知者たちといっしょに**ころ**殺される
ことになってしまいました。彼らはあわて
ふためきましたか?他の**ほかに**知者たちやその
かぞく家族はみな、おびえていたにちがいありま
せん。

しかしダニエルたちは、**しんらい**
信頼できる**かみさま**神様とつながっていました。そこでダニエ
ルは、身の**み**危険もかえりみずに**きけん**ネブカデ
ネザル王の**おう**ところへ行き、**い**夢とその**ゆめ**解きあ
かしを**し**知るための**じかん**時間をもらえるように、
お願**ねが**いしました。**ダニエル 2:16**。

おうさま王様は、目の**め**前に**まえ**立っている**た**感じのよ
わかものい若者が、**いぜん**以前、**みずか**自ら**しけん**試験問題を出し
たときに、**ゆうしゆう**ずばぬけて**にん**優秀だった4人の
うちのひとりであることを**おも**思い出したので
しょう。もしかすると、この若者の**わかもの**信じる
かみ神は、他の**ほかに**知者たちの**かみがみ**神々よりも**ちから**力があ
るのだろうか、**おも**と思ったのかもかもしれません。
そこで**おうさま**王様は、**ま**しばらく**ようす**待って様子を見る
ことにしました。

ダニエルは**いそ**急いで3人の**にん**ところへ**い**行き、
おうさま王様から**じかん**時間を**し**もらったことを知らせまし
た。**たす**助かる**ほうほう**方法はひとつしかないことを、
かれ彼らは**し**知っていました。**ぜんのう**全能〔なんでもで

きること]の**かみさま**神様に**しんらい**信頼することを**えら**選んだ
かれ彼らは、**びくびく**びくすることなく、**かえって**
かんしや感謝の**ねん**念に**み**満たされていたことでしょう。
それが**けいかく**ご計画であるならば、**かみさま**神様は**かれ**彼ら
を**たす**助けることが**おでき**おできになります。**17,18**
せつ節。

どれくらいの**じかん**時間**かれ**彼らが**いの**祈りつづけた
か、**せいしょ**聖書に**か**書かれては**い**ませんが、**かれ**彼ら
が**たす**助けを**もと**求めて、**ねっしん**熱心に**いの**祈っていたこと
は**かみさま**まちが**い**ないでしょう。神様だけが、**ゆめ**夢
とその**い**意味について、**はな**話すことが**おでき**おできに
なることを**かれ**彼らは**し**知っていたからです。

かんが
考えてみよう:**ダニエル**と**ゆうじん**友人たちは、
かみさま神様に**ちゆうせい**忠誠をつくすという**けつ**決意を、**どの**
ひようめいどのように**かみさま**表明して**い**ましたか?神様は、**すで**
に**かれ**彼らの**えら**選**しゆくふく**びを**しゆくふく**祝福しておられましたか?
それはどんな**しゆくふく**祝福でしたか?わたしたちの
こうどう行動や**ことば**言葉には、**かみさま**神様の**じっかい**十戒にしたがう
えら選**えら**びを**し**していることが**あら**われているでしょ
うか?

すいようび 水曜日

かみ神様の**たす**助けがなければ、**ダニエル**
にんと3人の**とも**友だちは**なが**長く**い**生きること
が**かみさま**できませんでした。彼らは、**かれ**神様が**い**いち
ばんばん**い**いように**し**てくださる**しん**だろうと**しん**信じて
いました。

かみさま神様は**す**すでに、**みらい**未来に**お**起こる**じゆうよう**重要な
じけん事件を**りかい**理解する**とくべつ**特別な**のうりよく**能力を、**ダニエル**
に**あた**与えて**お**られました。**ダニエル 1:17**。

その**ばん**晩、**ダニエル**たちが**たす**助けを**もと**求めて
いの祈った**あと**後に、**なに**何が**お**起こりましたか?**ダニエ**
ル 2:19。

かみさま かんしゃ
神様への感謝をあらわした
ダニエルの祈りは、美しいも
のでした。彼は、知恵がど
こからくるのかを知っており、
だれも自分が賢いなどと誇る
のではなく、ただただ感謝す
べきであることをよく知って
いました。20-23 節。



いよいよその時がやって
きました。異教の知者たちの神々にでき
なかつたことが、ダニエルの神様にもで
きなれば、知者たちは全員殺されてし
まいます。彼らの神々は、王様の見た夢
も、その意味も教えることができませんで
した。ダニエルの神様は、どんな夢かを
示し、夢の解きあかしもすることができる
のでしょうか？

かみさま 夢 いみ
神様はダニエルに、夢とその意味につ
いて教えてくださいました。そこで、ダニ
エルはアリオクに、王様に話をする用意
ができたことを知らせました。24 節。

ダニエルを王様のところへつれて行くど
き、アリオクの胸は高なっていたことでは
う。25 節。

こんどは、王様がわくわくしていました。
ダニエルは、本当に王様を助けてあげら
れるのでしょうか？ 26 節。

はじめにダニエルは、他の知者たちの
神々が知ることができなかつた夢につい
て、知ることのできる神様がただひとりお
られる、ということをお話しました。27,28
節。

それからダニエルは、あの夢を見た夜、
王様は自分が死んだ後、この国にどんな

ことが起こるのだろうと考
えていたことを思い出させまし
た。ネブカデネザル王は、
偉大な国であるバビロンを
誇りに思っていました。彼は、
この国が永遠につづくように
と願っていたのです。29 節。

話を聞きながら、王様は
うなずいていたかもしれませ
ん。ちょうど、そのことを考えていたの
ですから。さて、夢についてのお話はどうか
なつたのでしょうか？それは、明日のお勉強でわ
かります。

かんが かんが
考えてみよう：わたしたちの考えることを、
サタンはいつでもおみとおしというわけ
はありませんが、神様はどうでしょう？

もくようび 木曜日

ゆめ いみ かた まえ
夢の意味を語る前に、ダニエルは、
王様にわかってもらいたいことが
ありました。それは、王様の考えているこ
とをすでに知っておられた神様が、これか
ら後に起こることをあらわした夢を王に見
させた、ということです。「これから後」と
いうのは、その時代から、イエス様がも
どって来られるまでのことです。神様は、
ご自分がただひとりの真の神であられる
ことを王様に知らせたのでした。ダニエル
2:29,30。

それからダニエルは、夢について話
しました。ダニエルが話している間、王様
はおそらく身をのり出し、かたずを飲んで
聞き入ったことでしょう。それは、どんな

ゆめ 夢でしたか？ 31-35 節。

ついに、王様は夢を思い出しました。ダニエルが言ったことはすべて、彼が夢で見たとおりのことで、今では事細かに思い出すことができます。そしてもちろん、王様は夢の意味を知りたがりました。

しかし、夢の解きあかしをする前に、ダニエルはもういちど、王に権力を与えるのは天の神様だということを知りかえしました。世界中でもっとも偉大な国の頭としてネブカデネザルを立てたのは、神様でした。 37,38 節。

考えてみよう：ネブカデネザルの夢とその意味は、わたしたちにとってもひじょうに重要です。そしてわたしたちは、この夢について、ネブカデネザル王よりも多くのことを知る必要があるのです。

きんようび 金曜日

夢について話した後、ダニエルはそれの意味を説明しました。像のそれぞれの部分は、これから起こるいくつかの王国をあらわしていました。像の頭があ



らわすバビロンから始まり、イエス様の再臨にいたるまで世界を支配する国々のことです。

ネブカデネザル王が金でできた頭の部分であることを話したとき、きっと王様はにやりと笑ったことでしょう。ところがダニエルの話が進むにつれて、この強力な偉大なバビロンが永遠にはつづかないことを知りました。そして、バビロンにつづく国々も、永遠にはつづかないということでした。 37-43 節。

像の胸と腕の部分は、メド・ペルシャをあらわしています。お腹からももにかけての銅でできた部分は、ギリシャです。そして、鉄でできた足の部分はローマ帝国をあらわしていました。

ローマ帝国の後に、いくつかの異なる国々が登場します。それらの国々は、鉄と粘土の足によってあらわされています。ある国々は鉄のように強く、ある国々は粘土のように弱いという意味



です。むかしの偉大な国々のように、これら^{じんぶつ}をひとつにまとめることのできる人物は、もう現れないでしょう。

それからダニエルは、この像^{ぞう}を粉々に砕いた岩^{くだ}が、神様の王国^{かみさま おうこく}であり、それはイエス様が来られる^{さま こ}時に始まる^{とき はじ}ことを説明^{せつめい}しました。この神様の王国^{かみさま おうこく}は、これまでの他の王国^{ほか おうこく}とはちがい、完全^{かんぜん}で、永遠^{えいえん}につづく王国^{おうこく}なのです。44,45 節。

王様^{おうさま}は、天^{てん}の神様^{かみさま}こそが、ただひとりの真^{しん}の神^{かみ}であることがわかってきていました。ダニエルが夢^{ゆめ}とその意味^{いみ}について語り終えた^{かた}後^{のち}、王様^{おうさま}は何^{なに}と言^いいましたか？ 46,47 節。

夢^{ゆめ}とその意味^{いみ}をダニエルが解^ときあかしたので、王様^{おうさま}は、夢^{ゆめ}を言^いい当^あてることができなかつた知者^{ちしや}たちを殺^{ころ}すのをやめました。また彼は、ダニエルと3人の友^{かれ}だちを、国^{くに}の高官^{こうかん}にしました。48,49 節。

かんが
考えてみよう：わたしたちが生^いきている現代^{げんだい}は、鉄^{てつ}と粘土^{ねんど}の時代^{じだい}、つまり、イエス様がもうすぐ来^こられる時代^{じだい}です。あなたは、王様^{おうさま}の夢^{ゆめ}の意味^{いみ}を知^しって、イエス様^{さま}のご再臨^{さいりん}のためにいつでも用意^{ようい}をしていよう、という気持ち^{きもち}になりましたか？ご再臨^{さいりん}は、あの岩^{いわ}が像^{ぞう}の足^{あし}を直撃^{ちよくげき}するようなもので、悪^{あく}を行う世界中^{おこな せかいじゅう}のすべての王国^{おうこく}に終わ^おわりをもたらすのです。

まな
もっと学ぼう！

★ダニエル書^{しよ} 2章^{しやう}

★国^{くに}と指導者^{しどうしゃ} 40章^{しやう}



かんが なお ふたり
考え直した二人のジョン
エイミー・シェラード編

あめ ひとばんじゆう つぎ
雨は一晩中ふりつづきましたが、次
あさ ひかり はじ
の朝、光がさし始めると、ふたたび
さむ なる きました。そして吹雪になり、
それは一週間もつづきました。やっとのこ
ゆき
とで雪がやみました。ところが、またも雨
が降り出したので
す。「それでも行か
なくてはなりません」
と、エレンは御者たち
に言いました。

ミシシッピー川に
向かう道中、彼ら
は会う人会う人に、
「川をわたっても大丈夫でしょうか？」と
たずねました。「無理だね。」「わたれな
いでしょう。」「氷がわれて落ちた人たちも
いるんだから。」「自分だったら絶対わたら
ないよ。」返ってくるのは、こういった答え
ばかりでした。

川に着いてみると、氷の上の水がたまって
いて、それは足首ぐらいの深さになって
いました。「このままアイオワに向かいま
すか？それとも、イリノイへ引き返しましょ
うか？」と、御者がたずねます。

「先へ進みましょう。」ジェームスとエレ
ンは答えました。それで、前進することに
しました。

しんちょうに、馬たちは川岸へおいてい
き、それから足首くらいまで水のたまった

こおり うえ た
氷の上におり立ちました。馬ぞりに乗っ
ている全員が祈っています。一步一步す
すんでいきますが、いつ氷がわれてもお
かしくありません。われてしまったら、み
んな氷水の中でおぼれ死んでしまうでしょ
う。



む 向こう岸に立っ
ている人たちが、こち
らの様子を見守っ
ていました。そして
ついに、馬たちが
そりを岸へとひき上
げたときには、みん
ながまわりに集まってきました。彼らは、
氷がわれて落ちてしまった人たちのことを
話してくれました。

その日は金曜日で、くたくたになった
旅人たちは、ホテルで安息日を過ごしま
した。日曜日までに、天気はふたたびこ
ごえるほど寒くなりました。そりに乗って
いるあいだ、彼らはお互いのようすを見
て、耳やほっぺたや鼻が白くなって、こお
り始めないか気をくばっていました。

そして、ようやくワウコンに着きました。
はじめのうち、信者たちは、ジェームスと
エレンが来たことを喜んでいないみたい
でした。しかしまもなく、特別な集会でふ
たりの話を聞いて、彼らの気持ちは変わっ
ていったのでした。

ある集会で、メアリー・ラフボローが立ち上がって言いました。「わたしはまちがっていました。わたしは罪をおかしました。」それから彼女は、イエス様のために働いていたジョンに、牧師をやめるように頼んだあやまちがゆるされることを願ったのでした。

するとこんどは、メアリーの夫であるジョンが立ち上がりました。「わたしは、自分の道具をしまっ、もう二度とお金もうけのためにそれを使わないようにします。これからは、神様のためだけに働きます。」彼は、そう約束しました。イエス様は、人々を励ますために、いくつかの幻をエレンにお与えになりました。ジェームスとエレンがそこを去るまでには、ワウコンの信者たちは、以前のように幸福な神様の家族にもどっていました。

ジョン・ラフボローは、約束を守りました。彼はジェームスとエレンと一緒に、残りの生涯をイエス様の働きにささげました。

神様は、ジョン・アンドリュースの健康も回復させてくださり、彼もまた、仕事にもどることができました。こうしてふたりのジョンは、忠実で熱心な働き人として、生涯を過ごしました。

アニー・スミスと弟のユライアも、イエス様の働き人でした。アニーは優秀な作家で、詩人でもありました。彼女は若くして亡くなりましたが、生前、いくつかの美しい賛美歌を書きました。彼女の歌は、今日でもうたわれています。

ユライアも、優秀な働き人でした。彼

は、人々が聖書を愛し理解できるようにと、何冊かの本を書きました。ふたりのジョンのように、生涯イエス様のために働きました。

イエス様は、ジェームスとエレン・ホワイトの他にもたくさんの働き人をもっておられました。わたしたちはその中の、ほんのひとりにぎりの人たちのことを学んだにすぎません。

今でも、イエス様には、幾千幾万という働き人がいます。イエス様を愛し、彼の働きのお手伝いをしたいと望む人ならだれでも、イエス様は用いてくださいます。あなたも、そのひとりになりたいとは思いませんか？

(おわり)

だいしょう 第7章

も 燃えさかる る 炉



子供のための日々の
聖書研究ガイド

あんしょうせいく 暗唱聖句

「あなたの神、主なるわたしはあなたの右の手をとって
あなたに言う、『恐れてはならない、わたしはあなたを助
ける。』」 イザヤ 41:13

にちようび 日曜日

ネブカデネザル王が夢で見たあの像で、バビロンをあらわしていたのはどの部分でしたか？ 頭の部分でしたね。それが何でできていたか覚えてますか？ 答えは、金です。

ネブカデネザルは、人や国に権力や栄誉を与えるのがだれか、わかっていたでしょうか？ 夢の経験から、神様が世界を支配しておられることを学びました。では、バビロンの後に他の国々が起こることは学んでいたでしょうか？ きっと学んでいたはずですよ。

しかし、それでもネブカデネザルは、自ら築いたバビロン王国が、いつまでもつづくと思っていたのです。この世界最高の権力を、他のどんな国にもゆずりたくはありませんでした。

そこで彼は、夢で見た像に似せた像をつくりました。ただ、夢と違ってしたのは、全身がバビロンを象徴する金でできてい

たことです。このようにバビロンの権力を世界中に示せば、バビロンにとってかわろうとする国はなくなるだろうと考えたのかも



しれません。ドラの平野に王様が建てさせたこの像はとても背が高く、人々は遠くからでも見る事ができました。ダニエル 3:1。

像の近くの、みんなが見えるところに、あるものが置かれました。それは大きな炉で、おそらく、建物に使うレンガを焼くために、彼らが使用していたものでした。なぜそんなものが、あそこに置かれたのでしょうか？

ネブカデネザル王は、この金の像を祝うための盛大な儀式を計画しました。国中の高官や役人たちは、だれもが出席しなくてははいけませんでした。おそらく、何百何千もの人々が呼ばれ、それぞれ

いちばん ふく き あつ
一番いい服を着て、そこに集まったことで
しょう。そこには、いろいろな楽器で編成
された、大楽団もいました。2,3節。

かいしじかん ひと た
開始時間になると、ひとりの人が立ち
上がり、集まった人々に向かって、音楽
が始まったら、すぐにひれ伏して像を拜
むようと、大きな声で告げました。4-6
節。

ほのお も ろ
なんと、炎の燃えさかる炉があったの
は、そのためだったのです。

かんが
考えてみよう:ひれ伏して像を拜むよう
に告げる声をその場で聞いていたとした
ら、あなたならどのように感じたでしょう
か？

げつようび 月曜日

きん ぞう いわ ぎしき はじ
金の像を祝う儀式が始まりました。
この日、ダニエルはそこにいませ
んでしたが、彼の3人の友だちは出席し
ていました。そこにいた全員が、音楽が
鳴り始めたら像を拜むことになっていま
した。だれも、熱い炉の中で死にたくはあ



りません。

ところが、ある人たちを炉で死なせるこ
とを望んでいた者たちがいました。そう考
えていたのは、王様の夢を言い当てること
も解きあかすこともできなかった、カルデ
ヤの知者たちです。

かれ たす
彼らはダニエルに助けられたのに、
おうさま にん とも たか くらい
王様がダニエルと3人の友だちに高い位
を与えたことをねたんでいたのです。

なんびやくなんぜん ひと おんがく
さて、何百何千もの人たちが、音楽が
な はじ ま おんがく き
鳴り始めるのを待っています。音楽が聞こ
えた瞬間に何をすべきか、十分に心得
ています。また、もしそれをしなかったら
どうなるかも、よくわかっています。しかし、
だいくんしゅう なか にん おんがく な
大群衆の中の3人だけは、音楽が鳴って
もそれをしないと決めていました。そして
いよいよ、音楽が鳴り始めました。ダニエ
ル 3:7。

ぜんいん きん ぞう
そこにいた全員が、ひれ伏して金の像
を拜みましたか？いいえ。全員ではありま
せんでした。あのカルデヤの知者たちは、
にん とも おうさま めいれい
ダニエルの3人の友だちが王様の命令に
したがうかどうか、こっそり見ていました。
ひざまずかないで立っている3人を見つ
けた彼らは、王様に言い
つけたくてしかたがあり
ませんでした。8-12節。

かんが
考えてみよう:ダニエル
ゆうじん
の友人たちは、ごまかす
ことはできなかったでしょ
うか？その場にしゃが
んで拜むふりをしたり、ひ
ざまずいて、心の中では
じぶん かみさま いの
自分たちの神様に祈った

王様はなぜ、たくましい男たちに、3人
をきつく縛るように命じたのでしょうか？彼
らが逃げようとするのは考えられません
でしたが、彼らのごわい神様がじゃまを
しないでろうかと心配したのです。そし
て、何がなんでもそれを防ぎたかったの
でしょう。この王様は、わたしたちの神様
のことを、何もわかっていなかったのです
ね！神様にできないことはひとつもないこ
とを、知らなかったのですから。

炉の火は、熱くてたまりません！シャデラ
ク、メシャク、アベデネゴを炉の中に投げ
入れた、たくましい男たちはどうなりまし
たか？ **22 節**。

彼らは自分の命令にしたがって死んだ
にもかかわらず、王様はまったく気にもと
めていないようです。彼はただ、この3
人の若者が金の像を拝むようにとの命令
にそむいた報いを受けていることを喜び、
彼らが焼かれるのを見物できると思って、
ゆったりすわっていました。

ところが、王様は急に立ちあがり、目を
こらして炉の中を見つめました。目の前の
光景に、驚きをおぼせませんでした。炉
に入れられたのは確かに3人だったはず
ですが、そこに4人いるのです。そして
4人は、まるで炉の外にきれいな涼しい
空間を歩くように、うなり声をあげて燃え
る火の中を歩きまわっています。 **24,25 節**。

神のみ子がどんな姿をしているか、ネ
ブカデネザルはどうしてわかったのでしょ
う？しかも、神のみ子という存在を、どう
して知っていたのでしょうか？それは、こ

の3人の若者たちのおかげでしょう。た
ずねられれば、彼らはいつでもだれにで
も、神様のことを語っていました。おそら
く王様も、彼らについて聞いたときに、救
い主として将来おいでになる神のみ子のこ
とを聞いていたのでしょうか。そしてなぜか、
炉の中に現れた第4の人物が、以前聞い
たことのある神様のみ子だとわかったので
す。

考えてみよう：もしわたしたちがイエス様
のようにふるまい、イエス様のことを語る
ならば、人々は彼のこともっと知りたい
と思うでしょうか？そのようにお願いするな
ら、イエス様は、わたしたちが彼のように
なれるよう、毎日助けさせていただきます。

もくようび 木曜日

ネ ブカデネザル王は、ぎりぎりの所
まで炉に近づき、ごうごうと燃え
さかる炎のほうに向かって叫びました。 **ダ
ニエル 3:26**。

炉の中から出てきたシャデラク、メシャ
ク、アベデネゴを見ても、だれも目の前
の光景が信じられませんでした。

国の偉い人たちが、3人のまわりにむ
らがりました。3人の服や髪の毛を見て
も、においをかいでも、わずかな焼
けあとも見られず、煙のにおいもしません
でした。驚く人々のようすを想像すること
ができますか？

はげしく燃える熱い炉の中に入っていた
ことを示すようなものは、何もありません。
ただ、たくましい男たちが3人を縛った、



あの縄だけが焼けてなくなっていました。そこで、王様が群衆に向かって話しました。27-29 節。

ほんのわずかな時間で、ネブカデネザルがこれほどまでに変わってしまうとは！はじめは偉そうで、いばっていた王様が、今はすっかりへりくだっています。そして彼は、真の神様以外の神を拝むよりは、むしろ喜んで死ぬことを選んだ、3人の忠実で勇かな若者たちの神様をたたえたのです。

考えてみよう：3人の友人が、あれほどすみやかに、神様に忠実であることを選ぶことができたのは、ふだんからつねに神様の十戒や、ごく小さなことにさえ従うことに慣れていたのでとは思いませんか？

きんようび 金曜日

今日は、シャデラク、メシャク、アベデネゴについて復習してみま

しょう。これから出す質問は、きっとあなたの助けになるとおもいます。

王様はなぜ、像の頭の部分だけでなく、全身を金でつくったのですか？

王様は、この像をどこに建てましたか？その像は、高かったですか、それとも低かったですか？

その像を建てたところには、他に何をおきましたか？またそれは、何をするためにおきましたか？

集まった人たちは、何をするようになっていましたか？また、何の合図でそれを始めることになっていましたか？

ダニエルの友だちが王さまの命令に背くことを、願った人たちがいたのはなぜですか？そして、この3人の若者がひざまずかないで立っていたのを見た彼らは、何をしましたか？

王様は、3人の若者に、もういちど命令にしたがうチャンスを与えたいと思いましたか？それはなぜでしたか？

王様は、特別に力の強い男たちに命じて、3人の若者を炉に投げ入れさせました。それはなぜでしたか？

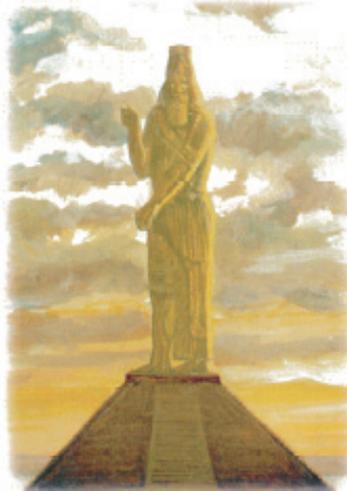
王様は以前から、真の神様について知っていましたか？

炉の中にいた、もうひとりの人物はだれでしたか？わたしたちの目には見えなくても、イエス様はいつもわたしたちのすぐそばにおられますか？

カルデヤ人の知者たちは、シャデラク、メシャク、アベデネゴが焼き殺されなかったので、がっかりしたでしょうね？王様の

言葉を聞いて、彼らはどのように感じたでしょうか？ダニエル 3:30。

考えてみよう：みんな、この『燃えさかる炉』の物語が好きですよね？わたしたちにも勇気を与えてくれるお話を。どうすれば神様に信頼することを選んで、神様の十戒や、小さな事においてさえ、毎日したがることができるかについて、わたしたちは学んでいます。そうすれば、大きな選びをするべきときに、まようことなく、正しく勇かんでいられるのです。ダニエルと3人の友だちがしたのは、このことです。そして、わたしたちも彼らと同じようにできるのです。そうしたいと思いませんか？



もっと学ぼう！

★ダニエル書 3章

★国と指導者 41章



だれがボルトをはずしたの？

エイミー・シェラード編

ジェームスは、心配そうな表情を浮かべながら、「うまくは言えないけど、今夜、旅に出るのは、よくないと思うんだ」とエレンに言いました。「行かなくてもよくなればいいのだが、ウィスコンシンで人と会う約束をしてしまったから、やっぱり行かないとね。」



Little Folk Visuals

あちらこちらの集會に出席して

いたジェームスとエレン・ホワイトは、その間、駅の近くに住んでいる信者の家にと泊めてもらっていました。その日も、集會に出かける時間になりました。

汽車に乗る時間が近づいてきました。みんなでひざまずいて、ホワイト夫妻の旅を神様が安全に守って下さるように、お祈りしました。お祈りが終わって立ち上がると、ジェームスが、「神様はきっと、わたしたちを守ってくださるでしょう」と言いました。

ジョン・ラフボローが、ホワイト夫妻の荷物を汽車に運び入れるのを手伝い、ふたりが『寝台車』と呼ばれる快適な「いごこちがよくてところよい」車両に乗れるようにしてくれました。

ところが、エレンはまったく快適だとは感じませんでした。「ジェームス、この車両〔客車〕にはいられないわ。ここから出て行かなくては。」彼女は、立ち上がりながら言いました。

そこでジョンは、ふたりを寝台車のもうひとつ後ろの車両にうつらせました。乗客以外の人は汽車から出るようにとの

あいず合図のベルがなると、ジョンは「行ってらっしゃい!」と言って、ふたりと別れました。

いつもなら、汽車が動くとすぐにエレンは帽子をぬぎ、手荷物をしまうのですが、このときは、手荷物をひざの上におき、ぼうしもかぶったままでした。彼女は、「この汽車の中では落ち着けないわ」とジェームスに言いました。

とつぜん、はげしい揺れがありました。それから、何かがぶつかったような音がして、人々の叫び声と、助けを求める声がかきこえてきました。

ジェームスとエレンが外を見ると、それは信じられないような光景でした。汽車のエンジンは線路の外に投げ出され、ひっくり返っています。本をつめ込んだジェー

ムスのトランクをのせてあった貨物車両
は、線路のわきに横倒しになっています。
他の車両も、ぶつかった衝撃でつぶされ
ています。ジェームスとエレンが最初に
乗った寝台車は、ペしゃんこになっていま
した。ところが、そのとなりの車両、つま
り事故が起きたときにホワイト夫妻が乗っ
ていた車両は、まったく無事だったのです。

ジェームスは、すぐさまエレンを抱きか
かえて、ぬかるんだ地面や小川をこえて
安全な場所へつれて行きました。それか
ら馬と馬車を借りて、先ほど出発した家の
玄関をたたいていました。事故の話を見
いた人たちは、神様がふたりをお守り下
さったことを感謝しました。

次の朝、ジェームスとジョンともうひとり
が事故現場へ行ってみると、一頭の雄牛
が線路の上に横たわっていて、それが
事故の原因であったことがわかりました。

驚いたことに、ジェームスとエレンが
寝台車からうつった車両だけは、汽車の
残りの部分から離れたところにありました。
彼らの乗っていた車両と他の車両とをつ
ないでいた連結部とボルトは、こわれてい
ませんでした。そして、そのボルトと安全
チェーンは、彼らの車両の前にあった、
つぶれた寝台車の乗降口のところがついて
いました。まるで何者かが、ふたりの乗っ
ていた車両を他の車両から引き離してから、
これらの部品をそこにおいたかのようでした。
3人は、きっと天使がボルトをはずし
てくれたにちがいないと確信しました。そ
してふたたび、イエス様に感謝したので
した。

夕暮れまでに、線路はきれいに片付け
られ、汽車はいつものように走れるよう
になりました。あらためて、ジェームスとエ
レンは旅に出かけました。命が守られ、
本も無事でした。ふたりは、イエス様が
いつでも彼らを見守っておられることを
知ったのでした。

だいしょう 第8章

めみかんししゃ 目に見えない監視者



子供のための日々の
聖書研究ガイド

あんしょうせいく 暗唱聖句

「わたしたちはみな、神のさばきの座の前に立つのである。・・・だから、わたしたちひとりびとりは、神に対して自分の言いひらきをすべきである。」

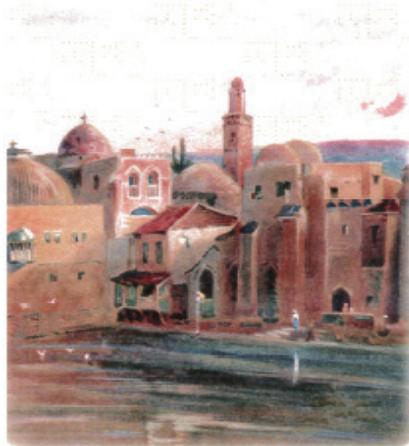
ローマ 14:10-12

にちようび 日曜日

燃えさかる炉の出来事の後もなお、
ネブカデネザル王は、自分が神様
よりも力があると思っていたでしょうか？
いいえ、もうそのようには考えませんでした。

ダニエルはネブカデネザルに、彼が王
となるように導いたのは神様だと教えてい
ました。彼の知恵も力もすべて、神様か
ら来たものでした。また王様は、燃えさ
かる炉の出来事の後、長いあいだそのこ
とを覚えていました。ところがいつしか、
彼はまた忘れていったので
す。

ネブカデネザルが敵との
戦いに勝利し、自らバビロ
ンの都をこれまでよりも強
く、美しくしたとき、彼はま
たしても高ぶるようになりま
した。ひょっとすると王は、
どんな人間でも、神様なし



には何もすることができない事実を忘れて
しまったのかもしれませんが。わたしたちが
おごり高ぶって、自分自身に頼りはじめ
ると、サタンはわたしたちの心に入
ってきます。実際、サタンを心に招き入
れているのは、わたしたちなのです。

神様はネブカデネザルを愛しておられ
たので、ある晩、神様への信頼につ
いて思い起こさせるために、ふたたび夢
をお見せになりました。目を覚ました彼
は、それがとても重要な警告の夢であ
ると確信しました。何か悪いことでも
起こるのでしょうか？こんどの夢は覚
えていましたから、知者たちはとうぜ
ん、夢の解きあかしができるはずで
す。ダニエル 4:4-7。

またしても、知者たちが使
えるはずの魔術が、ことごと
く役に立ちませんでした。ネ
ブカデネザル王はどうしま
したか？ 8,9 節。

考えてみよう：わたしたち
の偉大なる神様が、ただひと
りの真の神様であることを、

ネブカデネザルはもういちど知る必要がありました。今日の人々は、神様に信頼する代わりに、お金や地位や権力などに頼っていませんか？子どもたちですら、すべての祝福が神様からくることを忘れることはありませんか？

げつようび
月曜日

ダニエルは、ネブカデネザル王のひじょうに変わった夢の話に聞き入っていましたが、すぐにその意味を理解しました。彼は、それを王様に言わなくてすめばよいのにと思いました。ダニエル 4:19。

夢の中でネブカデネザルが見たものは、天にまで届くほど巨大な一本の木でした。この木とそのかげの下には、多くの鳥や動物たちがいました。するととつぜん、天から声が聞こえてきて、この木を切り倒せと言いました。そして、あとには切り株と木の根が残されただけでした。

この切り株に鉄と青銅でできた鎖がかけられ、7年もの間、野原におかれ、つゆにさらされました。それからまた、声が聞こえてきました。その声は、切り株が動物のようになって、野の獣たちと一しょに草を食べるようになると言ったのでした。

夢にでてきたこの美しい木は、王様のことであり、ダニエルは言いました。20-22 節。

しかし、その夢には悲しい場面がありました。ネブカデネザルが、自分の受けた祝福がだれによってもたらされたかを忘



れてしまったために、神様は、それらの祝福を7年の間とり去ろうとしておられました。

王は人の心を失い、動物のようになるのです。なんと恐ろしいことでしょうか！

ダニエルは王様に、まちがいを改めるように頼みました。もし彼が高ぶることをやめていたならば、神様はおそらく、この罰を下さなかったことでしょう。27 節。

ネブカデネザル王は、愛の神様から送られたダニエルの警告に耳をかたむけましたか？そのことは、明日お勉強いたしましょう。

考えてみよう：神様は、二ネベの町と同じように、ネブカデネザル王のことも気にかけていたと思いますか？あなたは両親から、もしいうことを聞かずにしたがわなければ、どうなっても知らない警告されたことはありますか？両親があなたに警告するのは、なぜでしょう？それは、あなたのことを大事に思っているからではありませんか？

かようび 火曜日

かみさま
神様はネブカデネザルに、ある
けいこく おく おう
警告を送られました。王は、
けいこく みみ
警告に耳をかたむけましたか？はい、
そうしました。ただし、ほんの短い
あいだ いぜん
間だけです。そしてまたも、以前の
じぶん かんが ぎやく
自分の考えに逆もどりしてしまいまし
た。

またもネブカデネザル王は、この国がこ
れほどまでに強いのは、自分にその力が
あるからだと思いきや、自分で
か おも
おもうことになりました。こ
んなにすべてがうまくいっているのに、そ
れを変えてしまうようなことが起こるなん
て、とうていかんが
かんが じぶん おうこく
自分の王国
の後に、別の王国が起こるとは、考えた
くもありませんでした。彼はますますおご
り高ぶって、しまいには、神様からの夢と
警告とを拒否しました。そして、思いやり
のない、不公平な王になってしまったの
でした。

あの夢から1年がたったある日、ネブ
カデネザルは、これまでに自分がしてきた
ことを誇りに思いながら、美しい宮殿を
ある
歩いていました。ダニエル4:29,30。王は、
うぬぼれていましたか？30節の中に『私
が』『私の』という言葉が、何回でてくる
かを数えて下さい。

するとつぜん天から声が聞こえ、夢で
あた おう けいこく げんじつ
与えられた王への警告は、現実のもの
となりました。それを見たみんなが、大き
なショックを受けました。31-33節。

おそらくダニエルは、人々に夢のことを



つた
伝え、ただ時がくるまで待つようにと話し
たことでしょうか。7年たてば、王様はもと
どおりの状態になると、天の神様が約束
なされたからです。そして神様のおっしゃ
たとおり、7年の終わりには、王様の心
が完全にもとにもどったのでした。34-36
せつ
節。

7年後、ネブカデネザルは変わって
いましたか？後に、自分の身に起こったこと
を書き記したとき、彼はまだうぬぼれて
いましたか、それとも、神様から教えられ
たとて大事な教訓を学んでいましたか？
37節。

おそらくサタンは、ネブカデネザルを
自分の味方につけたと思ったことでしょう。
しかし、高慢〔思い上がって人を見下す
こと〕だった王が謙遜〔へりくだること〕
になり、心を神様にささげることを選びま
した。それからというもの、国民を助ける
ために最善をつくしたのでした。それだけ
ではなく、天の神様こそが、ただひとりの
真の神であると、人々に教えました。

かんが
考えてみよう：神様は、ネブカデネザル
を愛しておられましたか？それとも彼に対
して、冷たく、不親切でしたか？罰は時と

して、わたしたちに大切な教訓を学ばせる
ために必要でしょうか？

すいようび 水曜日

ネ ブカデネザルの死後、バビロン王国はどんどん弱くなりました。孫のベルシャザルは、祖父の身に起こった数々の出来事を知っていたにもかかわらず、大事な教訓を学びませんでした。ベルシャザルは、愛し、信頼し、したがうべきおかたである、ただひとりの真の神様を選ぶどころか、その神様を軽く見て、偶像を拝んだのでした。

メド・ペルシャの軍隊は、ベルシャザルの国を征服しようと、もうバビロンの都にせまっています。ところが、敵の軍隊が都のすぐ近くに陣地をかまえているというのに、ベルシャザルは気にもとめませんでした。敵が都の中に入ってこられるわけがない、と信じていたからです。

ベルシャザルはなぜ、心配しなかったのでしょうか。それは、バビロンのまわりに二重のがんじょうな城壁があったからです。それらは、敵の軍隊から都を守るた



めのものでした。城壁の下には川があつて、都の中を流れていましたが、川が流れこむところと流れ出るところは、巨大な鉄の門でしっかりと守られていました。ですから、だれも、この川をつたって入ってくることはできません。王は、何も恐れるものはありませんでした。その晩、ベルシャザルは何をしていましたか？ダニエル 5:1。

そのうち、宴会はみだれていきました。ベルシャザルはすっかり酒に酔って、われを忘れてしまいました。しまいには、エルサレムの神殿からうばってきた、金の器をもってくるように命じたのでした。王と客たちは、これらの器で酒を飲み、異教の神々をほめたたえたのでした。3,4節。

天の神様がすべてを見ておられることを、王は知りませんでした。まもなく、このめちやくちやな宴会は中断させられることとなります。この後何が起こったかについては、明日お勉強しましょう。

かんが **考えてみよう**：いつでも神様は、人間がすることをすべて見ておられますか？では、わたしたちのことも見ておられますか？

もくようび 木曜日

ベルシャザルの野蛮な宴会中、とつぜん、音楽や踊り、笑い声のすべてがやみました。一瞬のうちに、その場がしんと静まりかえったのです。明かりの反対側の壁を見て、人々は恐怖でふるえています。なぜでしょう？何が起きているのでしょうか？

ひとびとみ 人々が見たのは、ひとつの手が、指で

ゆっくりと宮殿の壁に文字を書いている
光景でした。いったい、これらの文字は
何を意味していたのでしょうか？**ダニエル**
5:5,6。

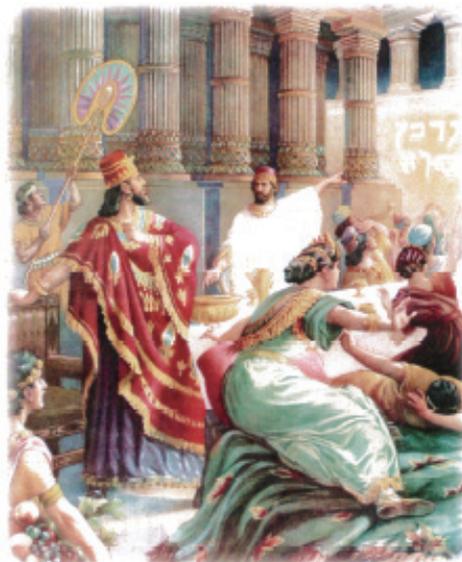
「すぐに、知者たちを・・・呼ぶのだ！」
王様はやっと、震える声でそう叫びました。
7 節。

知者たちが、急いでやってきました。
彼らもこわかったはずです。知者たちは、
なぞの文字を解きあかすことができました
か？ **8 節**。

それからもうひとり、別の人物が入って
きました。「ダニエルを呼びにやってくだ
さい」と、その女の人は言いました。た
だひとりダニエルだけが、この言葉を読
み、その意味を告げることができるのを、
彼女は知っていたのです。 **10-12 節**。

王様はすぐに、ダニエルをつれてこさ
せました。彼は静かに、自分が呼ばれた
理由を聞きました。王様は、あの指が壁
に書いた文字の意味を解きあかしてくれ
たら、たくさんのほうびを与えると約束し
ました。 **16 節**。

ダニエルは、ほうび
などに興味はありませ
ん。文字の意味を教
える前に、彼は王さま
に、天の神様について
話しました。ベルシャ
ザルの祖父であるネブ
カデネザルと、バビロ
ン王国を強大にしたの
は、天の神様であった
と語ったのです。祖父



が最後に、神様を愛し、神様に仕える
決心をしたことを、ベルシャザルは知って
いました。それなのに、祖父の身に起こっ
た出来事から教訓を学ぼうとはしませんで
した。彼は、異教の神々と異教の知者た
ちに頼ることにしたのです。 **22,23 節**。

考えてみよう: ベルシャザルには、真
の神様を選ばなくてもよい理由がありまし
たか？あなたの住む地域の人たちには、
神様と十戒を知らないでいてもよい理由が
ありますか？

きんようび 金曜日

いよいよダニエルが、なぞの文字
を読み、その意味を告げようとし
ています。その場はしんと静まりかえり、
恐怖におびえた人々は、ダニエルの話に
聞き入っています。

メネ：神様がバビロンの年月を数え、
それが今終わろうとしています。神様がこ
の言葉を二度もお書きになったのは、か
ならず起こることを王に知
らせるためです。

テケル：神様が、
現在の王の品性をはか
り、神様と十戒にした
がう選びをした場合の
王の品性と比べました。
彼の品性には、神様の
ような品性はまるであら
われておらず、それは
サタンの品性のようでした。

ウパルシン：バビロン人の王国は分裂させられ、メデヤ人とペルシャ人の手にわたされます。メデヤとペルシャは、バビロンの次に支配する国として、神様が定めておられました。それは、ネブカデネザルの夢に出てきたあの像の、銀の部分に象徴された国でした。ダニエル 5:26-28。

文字のお告げは、その晩のうちに、現実^{げんじつ}に起ころうとしていました。宮殿^{きゆうでん}でみんなが酒を飲んで浮かれている間に、城壁^{じょうへき}の外^{そと}にいたメデヤ人とペルシャ人^{びと}たちは、都^{みやこ}に侵入^{しんにゆう}する道^{みち}を見つけたのです。まもなく、敵^{てき}の兵隊^{へいたい}がいたるところに現れ^{あらわ}ます。バビロン兵^{へい}たちは、おそらく酒に酔^よって、気づ^きいたときはもう手遅^{ておく}れだったのでしよう。30,31 節。

ところで敵^{てき}は、どうやって都^{みやこ}に侵入^{しんにゆう}したのでしよう？彼ら^{かれ}はまず、大きな溝^{おおみぞ}をいくつもほり、そこに川^{かわ}の水^{みず}を流れこませました。そうすることで、川^{かわ}の水位^{すい}〔水面^{すいめん}の高^{たか}さ〕が下^さがり、敵兵^{てきへい}たちは川底^{かわぞこ}を歩^{ある}いて、あいていた巨大^{きよだい}な水門^{すいもん}を通^{とお}ることができたのでした。王^{おう}たちが宴会^{えんかい}を楽し^{たの}んでいる間に、敵^{てき}はこの都^{みやこ}へなだれこんできたのです。

かんが 考^{かんが}えてみよう。神^{かみさま}様^いは今^{いま}でも、品^{ひんせい}性^{せい}を「はかって」おられます。わたしたちが十^{じゅう}戒^{かい}にしたがうことを選^{えら}ぶなら、イエス様^{さま}の完^{かん}全^{ぜん}な品^{ひんせい}性^{せい}がわたしたちをおおって、私^{わたし}たちを変^かえてくれます。わたしたちは、ますますイエス様^{さま}に似^にるように成^{せい}長^{ちやう}しつづけるのです。ベルシャザル^たのように、「足^たりない」者^{もの}にならなくてもよいのです。それって、すごいことだと思^{おも}いませんか？

まな もっと学ぼう！

★ダニエル書 4、5 章

★国と指導者 42 章



オールド・チャーリー

エイミー・セラード編

旅行りょこうは楽しいですね。でも、ジェームスとエレン・ホワイトが若かったころの旅行は、今日こんにちのような楽しいものではありませんでした。彼らは貧しくて、自分たちの馬と馬車をもつことができなかつたので、汽車や船、そりや乗合馬車などに乗って旅をしました。ですから、やっとのところで集会を開く場所へ到着したときには、くたくたに疲れきっていることがよくありました。

「かわいそうなホワイト夫人!あんなに疲れているのだから、立って話をするのは大変だと思わうわ。」ひとりの優しい婦人が、隣にすわっている女性にささやきました。「おふたりは、自分たちの馬や馬車を買えないくらい貧しいのよ。だから、わたしたちで献金を集めて援助するのはどうかしら?」

そして、この思いやりのある人たちが、ホワイト夫妻を助けてくれたのです。馬を売る仕事をしている男たちは、ホワイト夫妻が欲しい馬を選べるように、何頭かつれてくると言いました。ジェームスとエレンがどんなに感謝したか、想像できる

でしょう。

馬を見る前の晩、イエス様はエレンに、ひとつの幻をお見せになりました。幻の中で、馬を見ているジェームスとエレンのそばに、ひとりの天使がいました。最初の馬は、よく飛び跳ねて、神経質でした。すると天使は、「この馬ではありません」と言いました。



Little Folk Visuals

次は、大きくて灰色の馬でした。不器用で、扱いにくく見えませんでした。「これもちがいます」と、天使は言いました。

3番目の男がつれてきた美しい茶色の馬は、とてもおとなしくて、すてきでした。ジェームスとエレンがながめていると、「この馬を選びなさい」と天使が言いました。

次の朝、ジェームスとエレンが馬をつれて来た男の人たちに会うと、どの馬も、まさにエレンが前の晩の幻で見たとおりでした。決めるときになって、エレンは3番目の馬を指さしました。『オールド・チャーリー』という名の馬です。彼女はこう言いました。「この馬に決めます。わたしは昨夜の幻で、この3頭の馬を見せられて、天使が、この馬を選びなさいと

言ったのです。」

友人たちは、「ええ、けっこうですとも、ホワイト姉妹。あなたに『オールド・チャーリー』をさしあげましょう」と言いました。それからふたりの男の人が、オールド・チャーリーをりっぱな屋根つきの馬車につないで、それをホワイト夫妻に贈ったのでした。

ジェームスとエレンは、どんなに喜び、感謝したことでしょう!彼らにとって、これからの旅は、ずっとずっと快適なものになることでしょう。疲れたり、おなかがすいたりした時には、いつでもどこでも好きなところで休むことができるのですから。

ところで、オールド・チャーリーは、リンゴが大好きでした。リンゴ園のそばを通るたびに、ジェームスはリンゴが落ちているところで馬車を止めました。オールド・チャーリーは、おいしそうにリンゴを選んで口にぐわえ、それからうれしそうにムシャムシャと食べながら歩き出すのでした。

オールド・チャーリーは、時には、ジェームスとエレンをかなり遠くの場所までつれていくことができました。長旅となると、何週間もかかることもありました。ふたりは、オールド・チャーリーを下さったイエス様に、感謝の気持ちでいっぱいでした。この馬は彼らにとって、本当にすばらしい祝福となってくれたからです。また、ふたりが馬と馬車をととても必要としていたことに気づいてくれた、親切な友人たちにも感謝しました。

ジェームスとエレンが、オールド・チャーリーを大事にして、よく世話をしたので、

チャーリーは何年も何年も、忠実に彼らのために働きました。

だい しょう 第9章

あな ライオンの穴にて



子供のための日々の
聖書研究ガイド

あんしょうせいく 暗唱聖句

「^{しゅ}主の^{つか}使いは、^{しゅ}主を^{おそ}恐れる^{もの}者のまわり^{じん}に陣を^しいて
^{かれ}彼らを^{たす}助けられる。」^{しへん}詩編 34:7

にちようび 日曜日

新しい王国がバビロンの国にかわり、すべては、神様がずっと昔、ネブカデネザル王の夢に出てきた巨大な像でお示しになったとおりにになりました。金でできた頭の部分は、バビロン王国の象徴です。そして、先週の教課では、だれもバビロン王国を打ち負かすことはできない、とベルシャザルがたく信じていたことを学びました。しかし、それはまちがいでした。隣の国である敵の軍隊は、巨大で強固な都に入りこみ、征服しました。バビロン王国の終わりがやってきたのです。

ネブカデネザルの夢では、「銀」は次に起こる国をあらわしていました。メデアとペルシアの国です。その国の王となったのはだれでしたか？**ダニエル 5:31**。

新しい王国を強くするために、ダリヨス



はすぐに国の整理にとりかかりました。彼はよくよく考えて、120人の指導者を選びました。国内の120の地域を、それぞれの指導者におさめさせたのです。ダ

ニエルはもう年老いていましたが、それでもまだ、この国で一番賢い人物でした。ダリヨスは、ダニエルを3人の行政長官のひとりに任命しました。ダリヨス王は、ダニエルを選んだことに満足しましたか？**ダニエル 6:1-3**。

ところが、偶像礼拝をしている他の指導者たちは、ダニエルをきらっていません。彼らは、自分たちよりもダニエルを重んじた王のやりかたを、どう思っていましたか？**4節**。

考えてみよう：サタンはまたも、神様に**忠実な人を除き去りたい**と**思っていました**。サタンがなぜ、神様を愛し、信頼し、十戒にしたがう人々を憎むのか、知っていますか？



げつようび 月曜日

サタンは、偶像礼拝がどんなに愚かで、まちがっているかを、この新しい国の指導者たちに知ってほしいと思っていましたか？またサタンは、神様がどんなに彼らを愛しておられるかを知ってほしいと願っていましたか？そんなはずがありません。サタンは、人々が彼にしたがうことを願っていたのです。ダニエルが神様を愛し、神様にしたがっていたので、サタンはダニエルを憎んでいました。ダニエルを除き去りたかったのは、そういう理由からでした。

ところが、ダニエルがあまりにも優秀で賢かったので、ダリヨス王は、彼を国全体の指導者の長に任命するつもりでした。ダニエル 6:3。

王のこの決断は、他の



指導者たちのねたみを招きました。天の神様を礼拝する人が自分たちよりも偉くなるなんて、がまんできません。彼らは、どうすることにしましたか？ 4 節。

やきもちをやいた指導者たちは、ダニエルの行動をすべては見はっていました。どんなささいなことでも、何か落ち度〔あやまち〕はないか、きびしくチェックしました。それなのに、ひとつも欠点を見つけることができません。

そこでどうとう彼らは、ダニエルを殺すために残された、たったひとつの方法を実行することにしました。神様に信頼し、したがうことを、ダニエルが他の何よりも大事にしているのを彼らは知っていました。ダニエルは、どんなことがあっても、神様を礼拝することを決してやめないだろうということも、彼らは知っていました。5 節。

サタンは以前にも、似たような計画をこころみたことがありましたか？シャデラク、メシャク、アベデネゴと燃えさかる炉の話をおぼえていますか？あの時は、サタンと神様のどちらが勝利しましたか？けっきょく最後には、ネブカデネザル王がすべての人に、真の神様を礼拝するように命じましたね。

しかし、ねたみに目がくらんだ人たちは、こんどこそ、あるたくらみによってダニエルを罫にかけることができると、かたく信じていました。それがどんな計画だったのかは、明日お勉強しましょう。

かんが **考えてみよう:** **いま** **今でも** **かみさま** **サタンは、神様**
しんらい **に信頼して** **ひと** **がう** **人たちが** **にく** **を憎んでいます**
か?

かようび 火曜日

ダニエルにやきもちをやき、彼を憎む指導者たちは、注意深く計画をねっていました。王様がダニエルのことを気に入っていましたから、しんちょうにすすめなくてははいけませんでした。

ついに、ひとつの計画ができあがりました。まず、ダリヨスをほめることから始めることにしました。そして、王様が世界で最も偉大な人物であり、偶像の神々よりも偉大であるとほめちぎることにしました。それから、「すべての者は、30日間、王だけを拝むべし」との法律をつくらせるのです。もしも他の神を拝む人がいたら、それは王に対する反逆とみなされるでしょう。法律を破った人は、おなかをすかせたライオンの穴に投げ入れられ、殺されるのです。

ねたみに目がくらんだ人たちは、念入りに自分たちの計画を書き上げ、ダリヨスのところへもっていきました。**ダニエル 6:6,7.**

その計画を王様に話すと、彼がとても嬉しそうにしているのがわかりました。ここまでは期待どおりです。それから彼らは、王様に何を願いましたか？ **8節。**

法律について彼らが言ったことは、本当でした。ひとた



び、王が法律に署名〔サイン〕したならば、だれもそれをかえることはできません。たとえ王自身であっても、もう変えることはできないのです。おだてられて得意になったダリヨスは、ダニエルのことをすっかりわす忘れていました。ダニエルが真の神様だけを礼拝していることを、ダリヨスはよく知っていました。それなのに、彼はその法律に署名〔サイン〕してしまったのです。**9節。**

もしもダリヨスが、ダニエルのことを思い出していたら、絶対に署名などしなかったはずです。この法律を自分にすすめた男たちが、ずる賢いやり方で、彼が最も気に入っている人物を追いやろうとたくらんでいたことを、王は知らなかったのです。

かんが **考えてみよう:** **あなた** **は** **これまで** **に、だ**
れかに **何か** **してもら** **うために** **その人** **のこ**
を **ほめ** **たり、その人** **を** **好き** **だ** **と** **言** **っ** **たり** **し**
たこ **は** **あ** **り** **ま** **す** **か?** **それ** **は** **正** **直** **な** **こ** **と** **で**
す **か?**

すいようび 水曜日

幼いころから、ダニエルは毎日お祈りをささげていました。朝も昼

も、そして夜も。そして、つねに神様に頼って生きてきた彼は、自分が賢くすぐれた指導者でいられるのは、神様のおかげであることを知っていました。ダニエルが祈るときはいつも、エルサレムのほうを向いている窓をあけ、そ

ここにひざまずきました。エルサレムは自分
ほんとうの本当のふるさとであり、神様の特別な
みやこであることを、彼は決して忘れませんでした。
いつの日か、ご自分の民をそこに
帰らせると、神様は約束しておられました。

王が署名〔サイン〕したその法律を
読んですぐに、ダニエルは、もし法律にした
がわなければ、おなかをすかせたライオ
ンのいる穴に投げこまれることがわかりま
した。どうすべきか、自分で選ばなくては
いけません。窓をあけずに、ひざまずか
ないで、心の中だけで祈れば、罰せられ
ることはないでしょう。

すべてを計画した、ねたみと憎しみに
満たされた人たちは、待ちきれない気持
ちでした。ダニエルはどうするだろう？彼
らは、一日中見はっていました。そして
思ったとおり、ダニエルは、自分がいつも
してきたことをひとつも変えませんでした。

ダニエル 6:10,11。

ねたみと憎しみに満たされた男たちがど
んなに喜んだか、想像できますか？計画
がうまくいったのです。もうじきダニエル
を死に追いやることができると思いまし
た。

王様が署名した法律をダニエルが破っ
たのを見て、次の朝、彼らはダリヨスの
ところへ行きました。とてもうやうやしい
態度で、王様に法律の話を持ち出しまし
た。30日の間は、王様だけを拝まなくて
はならない、というあの法律です。また、
王様が署名した法律は、変えることがで
きないことも念をおしました。その後で、
彼らはダニエルのことを報告したのです。

12,13 節。

かんがえてみよう：レストランなどで、時々、
食事の感謝の祈りを神様にささげることが
は、恥ずかしがる人がいます。ダニエルだっ
たら、どうしたと思いますか？

もくようび 木曜日

すぐにダリヨスは、自分がわなにか
けられたことに気づきました。そ
して、あの法律に署名〔サイン〕してしま
った自分自身に、とても腹が立ちました。す
ぐさま、どうにかしてそれを変えようと
しました。今になって、あの連中の計画が、
王である自分をたたえるためではなかつ
たことに気づきました。彼らは、あるひとつ
の目的のためにあの計画を立てたのでし
た。ダニエルをねたみ、彼を死に追いや
りたかったのです。ダニエル 6:14。

ダリヨス王は一日中、ダニエルを救い
出す方法をさがしました。しかし、ダニエ
ルを殺したいあの連中は、王がいったん
署名した法律を変えることはできないとい
い張りました。ダニエルは、おなかをす
かせたライオンの穴に入れられてしまうの
でしょうか？ 15 節。

とうとう、ダニエルをとらえて、つれてく
ることになりました。ここで王様は、ダニ
エルの神様に何かを期待しているような
言葉を語ります。まるで、天の神様の力
を知っていて、神様への信仰をあらわし
ているような言葉です。16 節。

ダニエルもそれにこたえて、王様をな
ぐさめる言葉を語ったかもしれませんが、

おうさま しつぼう かな かる
王様の失望と悲しみが軽くなることはありませんでした。大好きなダニエルが、自分のせいで死ぬことになるのですから。大きな石をころがして、ライオンの穴の入口をふさぎました。そしてそこに、だれも開けることがないように、大きな封印がおかれました。17節。

その晩、王様は眠れませんでした。ライオンの穴にいる友人のダニエルのことばかり考えていました。ダニエルの神様は、ライオンから彼を守ることができるでしょうか？神様はそれほど、強いおかたなのでしょうか？18節。

考えてみよう：ライオンは、おなかがいっぱいで、どう猛です。しかし今でも、ダニエルのように勇かな人はいないか、歩き回ってさがしている一頭のライオンがいるのを知っていましたか？そのライオンとはだれのことですか？また、どのようにしてわたしたちを「食いつくそう」とするのですか？1ペテロ 5:8。

きんようび 金曜日

あの晩、暗くていやなおいのするライオンの穴の中で何が起きたのか、知りたいですか？はたしてライオンたちは、ネコのように人なつっこく近寄ってきたのでしょうか？それとも、こわがって、すみっこに隠れようとしたのでしょうか？天使が、穴の中を明るく照らしたのでしょうか？ダニエルは、天使と話をしたのでしょうか？あるいは、すぐに眠ってしまったのでしょうか？いつの日か、その夜

のことについてダニエルにたずねることのできる時がやってきます。

ひとつ確かなのは、ダリヨスがその晩、眠れなかったということです。そしてとうとう、もう待てなくなりました。ダニエルがどうなったのか、たしかめずにはいられませんでした。

次の朝、夜が明ける前に部屋を出て、ダリヨスはライオンの穴へと急ぎました。友だちのダニエルはライオンに殺されてしまったのか、気になって仕方がありませんでした。でも、ライオンの穴で生きていられるだろうか？王様は、大きな石をとりおけるように命じました。そして、穴の中に向かって大声で呼びかけたのでした。ダニエル 6:19,20。

ダニエルの声を聞いたときの、王様の気持ちを想像できますか？きっと、とびあ



がって喜んだことでしょう! 21,22 節。

ほかのみんながどんなに驚いたか、
想像できますか? ダニエルには、かすり
傷ひとつありませんでした。夜の間ずっと、
安全に守られていたのです。ライオンたち
が、ダニエルを害することはありませんで
した。23 節。

反対に、ダニエルを殺そうとした悪人
たちは、安全ではいられませんでした。
王様が、彼らをライオンの穴に投げ入れ
るよう命じたのです。その時にはもう、お
なかをすかせたライオンたちの口は閉ざ
されませんでした。サタンにしたがうこと
を選んだ彼らを救う天使は、そこにはい
ませんでした。

ダニエルの力ある神様こそが本物の神
であることを知ったダリヨスは、国の人々
が神様をあがめるように、ひとつの法律
を作りました。25-28 節。

考えてみよう: これを読んでいるみんな
と同じくらい若いころ、ダニエルは、永遠
に価値のある選びをしました。あなたは、
今どんな選びをしていますか? たとえ何が
起ころうとも、生きているかぎり、神様を
愛し、信頼し、神様にしたがう決心をして
いますか?

まな
もっと学ぼう!

★ダニエル書 6 章

★国と指導者 44 章



ジェームスとエレンと息子たち

エイミー・シェラード編

ジェームスとエレンには家族がいましたか?もちろん、いましたとも。結婚して一年と少したったころ、ヘンリーという赤ちゃんが生まれました。彼らはホーランド家の人たちと暮らしていて、ヘンリーが生まれたときは、みんなでよろこびました。

エレンは心の中で、「赤ちゃんが生まれた今、まさかイエス様は、わたしに長い旅をさせられることはないでしょう」と言いました。「わたしたちはしばしば、馬車やうすぎたない汽車や揺れのはげしい船に乗り、どんな天候の中でも旅をしてきたことを、イエス様はご存じのはずだわ。母親は家において、子どもの世話をする必要もあることも、きっとわかってくださるわ。」

たしかに、母親は子どもの世話をすべきですよ。けれどもイエス様は、ある特別な働きのためにエレンを選んでおられ、そのためには、ジェームスとエレンがいっしょに働きつづけなくてははいけませんでした。子供のことは、イエス様にお任せしなくてははいけないのです。

ヘンリーは、生まれてまもなく、病氣

になってしまいました。彼らは、ヘンリーがよくなるために、お祈りの他にもできることはすべて手をつくしました。が、ヘンリーは悪くなるばかりで、もしイエス様がいやして下さらなければ、死んでしまうのは明らかでした。

祈りつづけるうちに、この赤ちゃん

のほうが、イエス様からたのまれた働きよりも大事になっていたことがわかってきました。彼らはヘンリーをイエス様におささげして、赤ちゃんのことはイエス様にお任せしなくてははいけませんでした。そのように決心するとすぐに、ヘンリーはよくなり始めました。

以来、ジェームスとエレンが旅をするときには、親切なホーランド家の人たちが、ヘンリーのお世話をしてくれました。ホーランド家の人たちは、2年後に生まれた次男のエドソンの世話もしてくれました。

ジェームスとエレンは、ホーランド家の人たちに、とても感謝していました。しかしそれでも、ジェームスとエレンは、この息子たちにどれほど会いたかったことでしょう!エレンは、イエス様の働きの中で、



Little Folk Visuals

子どもたちをおいていくことが一番つらかったと言いました。次の旅へと出かけなくてはならない時に、彼女は涙をおさえることができませんでしたが、それでも、イエス様に信頼して、したがいたいと思うのでした。

ヘンリーとエドソンは大の仲良しでした。エドソンが生まれて5年後にウィリーが生まれてからは、3人の子どもたちがどれだけ楽しい時間を過ごしたか、想像できますね。ヘンリーはとてもきれいな声の持ち主で、エドソンといっしょに歌うのが大好きでした。

さらに5年後、もうひとりの男の子が生まれました。この子は、ハーバートと名づけられました。しかし、家族がハーバートと楽しく過ごせたのは、たったの数週間でした。ある日、ハーバートは重い病気にかかってしまったのです。みんな、どれだけ一生けん命お祈りしたことでしょう!しかし、赤ちゃんのハーバートがよくなることはなく、死んでしまいました。

ハーバートをなくしたのは、とてもつらいことでした。その上、こんどは歌の上手なヘンリーが肺炎にかかって、死んでしまいました。まだ16歳でした。家族は、さぞかしつらかったことでしょう!

ヘンリーはイエス様を心から愛していたので、ご再臨のときには、家族がふたたびいっしょになれると信じることができました。このようになぐさめを得てはいましたが、それでも、ヘンリーがいないことをとても寂しく感じていました。

エドソンとウィリーは、どちらも長生きし

ました。おとなになったエドソンは、アメリカ南部の州で、奴隷として働かされていた黒人のための教会と学校を始めました。ウィリーも、生涯イエス様のために働き、ジェームスが亡くなった後はエレンといっしょに旅をして、彼女をささえつづけました。

だい しょう 第10章



おうひ しょうじよ みなしごから王妃になった少女

子供のための日々の
聖書研究ガイド

あんしょうせいく 暗唱聖句

「あなたがたは・・・外面の飾りではなく、かくれた内なる人、柔和で、しとやかな霊という朽ちることのない飾りを、身につけるべきである。」 | ペテロ 3:3, 4

にちようび 日曜日

神様は、ご自分の民が『金』の国バビロンと『銀』の国メド・ペルシャに、どれくらいの期間とらわれているのか、あらかじめ告げておられました。その期間が終わって、神様が約束なさったとおり、神の民はエルサレムのある故郷へ帰れるようになりました。そして、多くの人たちが故郷にもどりました。ところが、それよりも多くの人たちは、これまで過ごしてきた場所にとどまることを選んだのです。このことは神様を悲しませました。なぜなら、ご自分の民がユダの地に住むことを望んでおられたからです。

ほとんどの神の民は、『金』の国バビロンの次に

勢力をふるった、『銀』の国メド・ペルシャにまだ残っていました。そして彼らの多くは、ペルシャの首都スサに住んでいました。

ペルシャの王様は、美しい宮殿で大宴会をひらきました。指導者たちが国中から集まってきて、大宴会は180日もつづけられました。エステル 1:2-4。

宴会が6か月もつづくなんて、想像できますか?しかも、その宴会が終わると、こんどはスサの人々を招いて別の宴会をしました。この宴会は7日間だけでしたが。5節。

宮殿の美しさは、想像をこえるものだったはずですよ。おそらくいろんな種類の食べ物や、たくさんのお酒が出されたことでしょう。6,7節。

宮殿の別の場所で、王妃のワシテも特別な宴会を



ひらいていました。女性のための宴会です。宴会もいよいよ最後の日となり、酔っぱらっていい気になった王様は、あるとりかえしのつかないことをしてしまいました。それは何でしたか？それについては、明日お勉強しましょう。

考えてみよう：酒に酔った人たちは、もし酔っていないければ決してしないようなことをしてしまうことがありますか？

げつようび 月曜日

それは、大宴会の最後の夜に起こりました。王妃ワシテが、自らひらいた女性のための宴会をしめくくろうとしていたところへ、使者が何人かやってきました。王様からのことづけ〔伝言〕を伝えるためです。それを聞いたとたん、楽しそうだったワシテの表情がけわしくなりました。彼女はちょっと考えてから、首を横にふり、「いいえ、たとえ王様のいいつけでも、お断りします」ときっぱり答えたのでした。

使者たちは、驚きあきれてしまいました。王様に逆らうとは、どういうつもりなのだろう？王様にしたがない人など、いるはずがないのに。王様を怒らせたなら大変なことになるぞ。

王様が王妃にしてほし

かったことは、何でしたか？王妃はなぜ、「お断りします」と答えたのですか？**エステル 1:11。**

ワシテは、王様とその客たちが酔っぱらっているのを知っていました。みんな、まともに考えることもできないだろうと思いました。彼女は美しく、つつしみ深い王妃でした。ですから、酔っぱらいたちの見せ物にされるのはいやだと思ったのでしょう。王様が怒ることはわかっていたのですが、それでもワシテは、正しいことを選んだのでした。**12 節。**

王様は、はげしく怒りました。自分もまだ酔っているとはいえ、王妃に恥をかかされたのですから。こうなったら、彼女をこらしめてやるしかありません。そこで高官たちに、意見をたずねました。

この偉い高官たちは、この出来事が自分たちの妻の耳に入るときのことばかり考えていました。妻がこのことを知ったら、ワシテのまねをして、自分に逆らうように

なるかもしれない。そこで彼らは、王様にどんな助言をしましたか？**19 節。**

それを聞いて、王様はどう思いましたか？**21 節。**

考えてみよう：あなたは、ワシテが正しい選びをしたと思いますか？なぜそう思いますか？



かようび 火曜日

みなさんは、自分が言ったことや、やったことについて反省したことがありますか？酔いがさめて、まともに考えられるようになった王様も、反省していました。**エステル 2:1**。

もしかすると、自分はとてもおろかなことをしてしまったのかもしれない。ワシテは美しくて優しい妻でした。王様は今になって、彼女のことを恋しく思っていました。けれども、呼びもどすにはもう遅すぎました。なぜなら、メド・ペルシャの国の法律を変えることはできないからです。では、いったいどうすればよいのでしょうか？

ひとりの召使いに、よい考えがうかびました。国中からとびきり美しいむすめたちを集めて、その中から一番いいと思う者を王様を選んで、ワシテの代わりに王妃とすればよいということです。その考えを聞いた王様は、どう思いましたか？ **4 節**。

すぐに、たくさんの美しいむすめたちが集められました。彼女たちの中から、新しい王妃が選ばれるのです。その中にひとり、とても愛らしいユダヤ人のむすめがいました。本当の名前はハダッサといいましたが、ペルシャではエステルと名のついていました。エステルは、「星」という意味です。

エステルの両親は死んでしまい、彼女はみなしごでした。しかし、年のはなれた優しいところがエステルを引きとり、実の娘のように育ててくれました。いとこの名は、モルデカイといいます。故郷のユ

ダに帰って行くユダヤ人もいましたが、モルデカイはペルシャに残りました。エステルは、モルデカイを本当の父親のように愛して、彼の言うことをよく聞きました。 **7 節**。

新しい王妃の候補のひとりに選ばれたとき、エステルは、きっとわくわくしたことでしょう。彼女は、自分がユダヤ人であることを、だれかに言いましたか？ **10 節**。

エステルの運命は、これから目まぐるしく変わっていきます。新しい王妃に選ばれるかもしれないむすめたちのひとりとして、宮殿で暮らすことになりました。

かんがえてみよう：あなたがエステルだったら、どんな気持ちだったと思いますか？

すいようび 水曜日

みんな、エステルのことが好きでした。外見がきれいなだけでなく、彼女には特別な何かがありました。彼女は、美しい顔かたちと同じように、美しい心の持ち主でもあったのです。思いやりがあり、わがままをせず、とても親切でした。

ヘガイは、集められたむすめたちを教育する係の役人でした。エステルがほかのむすめたちとちがうことは、ヘガイにもすぐにわかりました。 **エステル 2:9**。

身の回りの世話をする侍女〔そばに仕える女性〕が、7人もいます！国中から集められたむすめたち全員に、宮殿の中でも一番すてきなお部屋が与えられ、ぜいたくな暮らしがゆるされました。みんなか

らちやほやされると、だれでもいい気になって、いばりたくなりますよね。では、エステルはどうでしたか？

王様に会う前に、むすめたちが学んでおくべき、礼儀作法やいろいろな習い事がありました。そして全部を学ぶのには、まる一年もかかりました。その間ずっと、エステルのいとは、彼女が宮殿で幸せに暮らしているか、つらい思いはしていないか気になっていました。そこで、モルデカイはどうしましたか？ **11 節**。

いよいよ自分の番がやってきて、王様の前に出ていくむすめたちの様子を、想像することができますか？みんな、自分が新しい王妃に選ばれることを、心から願っていたはずです。もし選ばれたら、王妃の宮殿に住めるのです。選ばれなければ、近くの別の家に引っ越すことになり



ます。

エステルの番も、もうじきやってきます。
かんが
考えてみよう：エステルとモルデカイは、ふたりとも祈っていたと思いますか？あなたなら、エステルを好きになったと思いますか？それはなぜですか？

もくようび 木曜日

うつく
美しいむすめたちの全員が、王妃として選ばれることを望んでいたと思いますか？王様に会うときは、一番きれいなドレスを着て行きます。特別な香水をつけて、自分に似合う髪型にととのえます。むすめたちは、ふるまい〔態度〕や話しかた、また外見も完璧でなければなりませんでした。

いよいよエステルの番がやってきました。彼女は、先生であるヘガイに、一番似合うものを選んでもらうことにしました。彼女は王様のことを何も知りませんが、ヘガイはよく知っています。**エステル 2:15**。

エステルが自分の前につれてこられると、王様はすぐ、その美しさに目をうばわれました。ほかのむすめたちも美しかったのですが、エステルは、ただ美しいだけではありませんでした。じきに彼は、エステルの特別な何かについて、つまりほかのむすめたちとは何がちがうのかを知ることになります。**16,17 節**。

ついに、新しい王妃が選ばれました。エステルをこよなく愛した王様は、ワシテのいないさびしさから解放されたので

した。またも宴会がひらかれました。8
せつ
節。

かんが
考^{かんが}えてみよう: わたしたちの外見^{がいけん}は、
こころ なか おな
心の中と同じくらい大切^{たいせつ}ですか? エステ
ル^{ばあい}の場合は、 どうでしたか? 彼女は自分^{じぶん}
の思いどおりにならないと、 ふくれっつら
をしたり、 文句^{もんく}を言ったりしたでしょうか?
自分のきれいな服^{ふく}や、 顔^{かお}かたちが美しい
こと^{ほこ}を誇りに思^{おも}っていましたか? 彼女は、
どんな人物^{じんぶつ}でしたか?

きんようび 金曜日

モ ルデカイは、不安^{ふあん}な気持ち^{きも}でエ
ステル^{みまも}を見守^{いちねん}り、一年^{おうひ}がすぎるのを
待ちました。エステルが王妃^{えら}に選ばれたと
の知らせ^しを聞^きいたときには、 おどりがあがっ
て喜^{よろこ}んだこと^{かのじよ}でしょう。これからは、彼女^{かのじよ}
は宮殿^{きゆうでん}の敷地内^{しきちない}にある王妃^{おうひ}の家^{いえ}に住^すむこ
とになります。それでもモルデカイは、
かのじよ ちか
彼女の近^{ちか}くにいたことができた。なぜ
なら、宮殿^{きゆうでん}の門^{もん}のところで王様^{おうさま}に仕^{つか}えて
はたら
働^{はたら}いていたからです。

エステルとモルデカイが、どのように
れんらく
連絡^{れんらく}をとりあっていたのかはわかりませ
ん。おそらくエステルの侍女^{じじよ}〔そばに仕
える女性^{じよせい}〕たちが、ふたりのやりとりを
てつだ
手伝^{てつだ}ってくれたのでしょう。しかし、だれ
と親^{した}しくなっても、エステルは自分^{じぶん}がユダ
ヤ人^{じん}であることを話^{はな}しませんでした。

ある日^ひモルデカイは、王様^{おうさま}の部屋^{へや}の
いりぐち
入口^{いりぐち}を守るふたりの人^{ひと}が、王様^{おうさま}に対して
ひどく怒^{おこ}っているのを知^しりました。そして、
あまりにも腹^{はら}を立てたこのふたりは、ひそ



かに王様^{おうさま}を殺^{ころ}す計画^{けいかく}を立てたのでした。
エステル 2:21。

モルデカイは、このたくらみ^とを止^とめるた
めに、すぐ^なに何か手^てをうたなければと考
え^{かんが}えました。彼は急^かいで、エステルのもと
に手紙^{てがみ}を届^{とど}けさせました。手紙^{てがみ}を読^よんだ
エステルは、すぐ^おうさま
にそのことを王様^しに知ら
せ^きました。そして、このたくらみに気づい
て自分^{じぶん}に知らせ^してくれたのは、モルデカイ
であることを王様^{おうさま}に告^つげたのでした。22
せつ
節。

知らせ^しをうけた王様^{おうさま}は、この情報^{じょうほう}が
しんじつ
真実^{しんじつ}かどうかを調^{しら}べさせました。それから
どうなりましたか? 22,23 せつ
節。

自分の身^みが危険^{きけん}であることをエステル
が知らせ^してくれて、王様^{おうさま}はどれほど喜^{よろこ}
んだこと^おうさま
でしょう。エステルに対する王様^おうさま
の信頼^{しんらい}は、これでいっそう強^{つよ}くなったこと^おうさま
でしょう。

ところがサタンは、神^{かみ}の民^{たみ}のひとりが
おうひ
王妃^{おうひ}となり、また別^{べつ}のひとりが王^{おう}の家^{けらい}来^きに
なっていることが気^きに入^いりませんでした。
サタンはいつでも、神^{かみ}の民^{たみ}を滅^{ほろ}ぼしたい

かんが
と考えているわけですから。そしてもうじ
き、スサにいるある人物が、同じように神
の民を滅ぼしたいと考えるようになるのを
知っていました。それは、ハマンという名
の人物です。

かんが
考えてみよう：ユダの地に帰ってよいと
のゆるしが出たときに、神の民は全員、
ふるさと故郷にもどるべきでしたか？その時、帰る
ことを選ばなかった人たちも、神様は助け
て下さるのでしょうか？

まな
もっと学ぼう！

★エステル記 1、2章

★国と指導者 49章



はな
エレンがおなかに話しかけたのは…

エイミー・シェラード編

食^{しょく}事^じの時間^{じかん}になりました。エレンは食卓^{しょくたく}につき、目^めの前^{まえ}にならな^だ食べ物^たを見て^も、おなか^{のみ}はすきません。彼女^{かのじよ}はこれまで、肉^{にく}や揚げ物^あ、白パン^{もの}や甘いデザート^{あま}、またほかにも健康^{けんこう}的^{てき}ではない物^{もの}をほしだけた食べて^たいました。けれども、これからもう、このよう^な食べ物^たがこの家^{いえ}の食卓^{しょくたく}に出^だされること



Little Folk Visuals

はありません。どうしてでしょう？

エレンは、ほとんどの人^{ひと}が体^{からだ}によいと考^{かんが}えている物^{もの}を食^たべてきました。ところが、こ^うい^った食^たべ物^{もの}は、病^{びょう}気^きをまねくほど健康^{けんこう}に悪^{わる}いものでした。実^じ際^{さい}、イエス様^{さま}のため^{ため}に働^{はたら}いている人^{ひと}たちでも、重^{おも}い病^{びょう}気^きにかか^かることがよくありま^した。ジェームスとエレンもそうでした。時^{とき}には、死^しにか^かけたこと^{こと}もありま^した。彼^{かれ}ら^らは、健康^{けんこう}につい^て聖^{せい}書^{しょ}が教^{おし}えていること^{こと}を知^しりません^でした。

ど^んな種^{しゅるい}類^たの食^たべ物^{もの}が体^{からだ}によくないか、また、ど^んな種^{しゅるい}類^たの食^たべ物^{もの}が人^{ひと}を丈^{じょう}夫^ぶにし、健康^{けんこう}に保^{たも}つか^かの幻^{まぼろし}を見^みせられたとき、エレンはさぞ驚^{おどろ}いたこと^{こと}でしょう。

「肉^{にく}を食^たべないで、一^い体^{たい}どうや^やって、

体^{たい}力^{りよく}をつけられると^いうのかしら？」エレンはふしぎに思^{おも}いました。それでも、彼女^{かのじよ}とジェームスはイエス様^{さま}にしたがうと決^{けつ}心^{しん}し、ただちに自分^{じぶん}たち^たちの食^{しょく}生活^{せいかつ}を変^かえたのでした。

その日^ひ、食卓^{しょくたく}についたエレンは、か^しこい決^{けつ}心^{しん}をしま^した。「ねえ、おなかさん」と、自分^{じぶん}のおなか^{なか}に言^いい聞^きかせま^しす。「も^しこの食^{しょく}事^じが気^きに入^い

らないなら、好^すきになるまで待^まってていいのよ。」それから、い^すをし^ずか^に後^{うし}ろにひいて、その場^ばを離^{はな}れました。もちろん、エレンのおなか^{なか}が考^{かんが}えをめぐらすことはできないのですが、ただ、これまで彼女^{かのじよ}が食^たべてきた物^{もの}にならされてしま^まっているわけ^{わけ}です。結^{けつ}局^{ぎよく}、水^{みず}だけがおなか^{なか}に入^いれられました。

ふたたび食^{しょく}事^じの時間^{じかん}がや^やってき^きました。エレンは食卓^{しょくたく}につ^つきま^ました。すると、目^めの前^{まえ}にある健康^{けんこう}的^{てき}な食^{しょく}事^じを見^みて、おなかはまたも「おえっ！」と言^いいます。エレンはもういちど、さ^さきと同^{おな}じこと^{こと}をおなか^{なか}に言^いって、し^ずか^に食^{しょく}卓^{たく}を離^{はな}れました。そしてこ^こんども、次^{つぎ}の食^{しょく}事^じま^までの間^{あいだ}、おなか^{なか}は水^{みず}以外^{いがい}の何^{なに}も与^{あた}えられま^ませ^せんでした。もうそのころま^までは、エレンのおなか^{なか}はだ

んだんとすいてきました。ところが、うそ
だおもと思うかもかもしれませんが、3回かいめ目の食しょくじ事
のときも、彼女かのじよはまたしても、さおなっきとま
るで同じことをしなくてはなりませんでし
た。おなかおなではなく、エレンの心こころがまだ
定さだまっていますでした。わたしたちのお
なかは、痛いたくなったり、病びょうき気になつたりし
ますが、おなかおな自身じしんは、何なにが体からだによくて、
何なにがよよくないかしを知らないのです。

もう今いまでは、エレンのおなかはペコペコ
です。こんどは「おえっ!」という気き持もち
にはなりませんでした。ならしよくじんだ食しょくじ事はと
てもおいみしそうに見ほんとうえます。そして、本ほん当とう
においさしかったのです。イエス様さまの助たすけ
によって、エレンはこの戦たたかいに勝しょうり利りしまし
た。この時ときから彼女かのじよは、イエス様さまがわた
したちを健康けんこうに保たもつたみために創そうぞう造ぞうなさった、
おいくしい果くだもの物ぜりゆうや全ぜん粒りゅうの穀こくもつ物やさい、野や菜さい、ナツ
ツよろこを喜よろこんで食たべるようになりなりました。

彼女かのじよはすぐさまに、イエス様さまが与あたえてくだ
さけんこうった健康けんこうについておしの教ほかえを、他ひとの人びと々
に伝つたえました。イエス様さまが示しめしてくだささっ
たようたな食えらべかたひとを選えらんだ人ひとたちは、じ
きからだに体ちようしの調か子がよかのじよくなりました。彼女かのじよがイ
エス様さまから受うけた健康けんこうについておしの教おしえは、
何なん冊さつかの本ほんに書かかれていて、今こんにち日のわよた
したちも読よむことがさできます。

健康けんこうになるために必要ひつようなのは、体からだによ
い食たべ物ものや運うんどう動からだ、〔体ないの内がい外もちに用もちいる〕
たみずくさんの水みず、日にっこう光しんせんや新くうき鮮せんな空くう気き、そし
て睡すい眠みんです。タバコさけや酒やくぶつや薬やくぶつ物ほか、また他
にも、体からだと心こころを害がいするようものな物ものは何なにであっ
ても、絶ぜつ対たいにとつてはいけません。そして、
イエス様さまがわたしたちをこよなく愛あいして、

わたしたちに一番いちばんよいものなにが何おしかを教おしえ
て下くださおったことを思おもい出だすと、いつでも幸しあわ
せでいられるのです。

だいしょう 第11章

どうほう すく おうひ 同胞を救った王妃



子供のための日々の
聖書研究ガイド

あんしょうせいく 暗唱聖句

「もし、神がわたしたちの味方であるなら、
だれがわたしたちに敵し得ようか。」ローマ 8:31

にちようび 日曜日

ハマンは、王に仕える大臣たちの
中でも、高い地位にありました。
彼をアガグの血すじ〔血のつながり〕であ
ると考える人たちもいます。アガグはサム
エルやサウル王の時代の人で、邪悪で
残酷なアマレク人の王でした。神様とそ
の民を憎み、時には戦いをしかけたこと
もありました。

アハシュエロス王は、ハマンを国の
一番偉い大臣に選びました。エステル 3:1。

ハマンが宮殿を出入りするとき、門の
ところにいる王の家来たちは、彼を拜む
ように深くおじぎをすることになってい
ました。そして、モルデカイをのぞい
ては、全員が彼におじぎをしたのでし
た。2節。

ほかの家来たちは、モルデカイが
ユダヤ人だということも、天の神様だ
けを礼拝しているのも知っていたので
すが、なぜ彼がハマンに頭を下げな

いのか、理解できませんでした。そうする
のが、王様の命令でしたから。3節。

そこでほかの人たちは、モルデカイを
ためすことにしました。4節。

ハマンは門を出入りするたびに、モル
デカイのほうを注意して見るようになりま
した。たしかに、モルデカイはおじぎをし
ていません。しかも、一度や二度ではなく、
毎回そうでした。ハマンは、これに腹を
たてました。モルデカイがユダヤ人だから
自分を拜もうとしないのだということをし
知って、ユダヤ人はみな同じだと考えた
のでしょうか。そこでハマンは、ひとりのユ
ダヤ人だけでなく、全員を殺す計画を立



てようと考えたのでした。今や彼は、すべてのユダヤ人を憎んでいましたから。5,6節。

考えてみよう: 神様は、ハマンが考えていることや計画していることをご存知でしたか? あなたは、神様がいつでも、すべてを知っておられることをうれしく思いますか?

げつようび 月曜日

ハマンはしんちょうに、ユダヤ人を皆殺しにする計画をたて、あとはアハシュエロス王に話すばかりとなりました。彼は、王様に何と言いましたか? エステル 3:8,9。

ハマンが言ったことには、ウソがいくつかまじっていました。神様は、ご自分の民に、捕虜としてどこの国につれていかれても、よき住民であるようにと教えておられました。ところが、王様はハマンの言うこ



とを信じたのです。おそらく、ハマンが滅ぼしたいと考えている相手は、自分たちの本当の敵にちがいないと思っただけでしょう。王様は何をしましたか? 10,11節。

まもなく、王様の布告〔命令〕をたずさえて、早馬に乗った使者たちが全国に散って行きました。この布告には、ある決められた日にユダヤ人を見つけたら、彼らを殺してもよいと書かれていました。13節。

宮殿のあるスサの都には、大勢のユダヤ人が住んでいました。この知らせを聞いたユダヤ人たちは、現実には起こることが信じられません。数か月のうちに、自分たちは皆殺しにされ、持ち物もすべてうばわれるということです。15節。

もちろんハマンは、いよいよ憎らしい民族を全滅させることができると思い、喜びをおさえきれない気持ちでした。スサにいたユダヤ人が布告について知らされたころ、ハマンと王様は、すわって酒を飲んでいました。

神の民は、ふるえおののきました。モルデカイは、だれよりも心を痛めたはずです。神様に忠実であろうとした結果、ハマンがこの恐ろしい計画を立てたのを知っていたからです。モルデカイは何をしましたか? エステル 4:1,2。

考えてみよう: この他にも、聖書のお話には、神様に忠実であったために苦しめられた人たちが出てきますか? 世界には今でも、神様に忠実であろうとしたために、苦しみを受けている人たちがいるでしょうか?

かようび 火曜日

あ^ひる日、エステル^{めしつか}の召使^しいが、知^しらせをもって^か駆けこんできました。「モルデカイ^{もん}が門^{そと}の外^なにいます。しかも、荒布^{あらぬの}をまとって、泣き^な叫^{さけ}んでいます。」

「どうして？」エステルは、気^きになってしかたがありません。「何^{なに}があったのです？すぐに^{しら}調べなさい。モルデカイには、着^きる物^{もの}をもって^きいきなさい。」 **エステル 4:4-7。**

じきに、モルデカイ^{かな}がなげき悲^{かな}しんでいた理由^{りゆう}がわかりました。また、エステル^{なに}が何か^{なに}をしなくてはならないこともわかりました。モルデカイは、王^{おうさま}様に会^あいに行く^いようと、彼女^{かのじよ}に伝言^{でんごん}を送^{おく}りました。

エステルは、とてもこわかったはずです。王^{おうさま}様に会^あうためには、きびしい規則^{きそく}がありました。その規則^{きそく}とは、だれでも、たとえ王^{おうひ}妃^ひであっても、呼^よばれもしないのに勝手^かに会^あいにきてはいけない、というものです。その規則^{きそく}を破^{やぶ}った者は、殺^{ころ}されることになっていました。ただし、王^{おうさま}様が金^{きん}のしゃく^さを差^さし出して、それをさわらせてもらえたら、死^しをまぬがれることができました。

エステルは、この規則^{きそく}のことをモルデカイ^しに知らせようと思^{おも}って、ふたたび伝言^{でんごん}を送^{おく}りました。すると、またすぐに返事^{へんじ}が返^{かえ}ってきました。 **12-14 節。**

たしかに、モルデカイ^いの言^いうとおりで、エステル^{じん}がユダヤ人^{じん}であることは、いづれ知^しられてしまうかもしれませ



そうなれば彼女^{かのじよ}も殺^{ころ}されるかもしれませ^ん。エステルは、自分^{じぶん}の命^{いのち}と同じように、同胞^{どうぼう}〔同じ国民^{おなこくみん}・民族^{みんぞく}〕の命^{いのち}を救^{すく}うためにも力^{ちから}をつくさなくてはならないと悟^{さと}りました。いづれにせよ、彼ら^{かれ}を救^{すく}うことができるのは、神^{かみさま}様^{さま}だけであることも知^していました。メド・ペルシャ^{ぼりつ}の法律^かを変^かえることはできないからです。

それからの3日間^{かかん}は、静^{しず}かにすぎ^いきました。エステルとその侍女^{じじよ}〔そばで仕^{つか}える女性^{じよせい}〕たち、そしてスサにいるユダヤ人^{じんぜんいん}全員^いが祈^{いの}りつづけました。この危機^{きき}をのがれるには神^{かみさま}様の奇跡^{きせき}が必要^{ひつよう}だという^{こと}を、みんながわかっていました。

祈^{いの}っていたエステルに、神^{かみさま}様^{さま}はある計^{けいかく}画^{しめ}を示^かして^かくださいました。3日目^{かめ}までに、エステル^{めしつか}と召使^しいたちは、王^{おうさま}様が喜^{よろこ}びそうな、みごとな食^{しょくじ}事^じを用^{ようい}意^いしました。そしていよいよ、王^{おうさま}様^{さま}を招^{しょうたい}待^{たい}する時^{とき}がやっ

できました。エステルは何をしましたか？
エステル 5:1。

かんが **考えてみよう**：美しいドレスを着て待っている間、エステルはおびえていたと思いますか？

すいようび 水曜日

わか 若くて美しい王妃が外庭に立って、こちらを見つめているのに気がついたとき、王様はびっくりしたことでしょう。エステルは、こわがっていましたか？はたして王様は、金のしゃくを差し出して、彼女にふれさせてくれるのでしょうか？**エステル 5:2-4**。

王様は喜んでくれました。そしてすぐに、ハマンを呼び出しました。まもなく彼らは、エステルが用意したおいしい食事を食べ始めました。ところが王様は、この愛する王妃が、自分の知らない何か特別なことを話したがっていることに気づきました。そこで彼はもういちど、彼女が望むものは何でも与えると約束したのです。**6-8 節**。

神様がエステルに示された計画は、じつに絶妙な〔この上なくたくみですぐれている〕ものでした。王様は知りたくてたまりません。いったい、彼女がほしいものとは何なのでしょう？

ハマンは、自分がほこらしくてたまりませんでした。この食事会に招かれた客は、王様をのぞけば自分だけです。けれども宮殿を出るときには、気分はがらりと変わりました。**9,10 節**。

家にもどったハマンは、家族と友人たちを集めました。みんなが集まると、自分がとても偉くて裕福なので、王妃の食事会には王様と自分だけが招待され、さらにもういちど食事会に招かれたことを自慢はじめました。それから彼は、なんと言いましたか？ **13 節**。

その時、ハマンの妻に名案〔よい考え〕がうかびました。

かんが **考えてみよう**：いばっていて、いじわるなハマンが、自分をかawaiiそうだと感じるのは、正しかったですか？召使いたちが絞首台〔首吊り刑を行う台〕をつくるのを見て、彼の気分はよくなりましたか？

もくようび 木曜日

その晩、ハマンはおそらく、高いびきをかいてねむったことでしょう。明日の計画の準備は、すべてととのいました。しかし同じころ、王様はよくねむれませんでした。**エステル 6:1**。

ハマンがぐっすりねむっていたころ、王様は、これまでに起きたいろいろな出来事を記録した書き物を召使いに読ませ、寝ながらそれを聞いていました。しばらくすると、自分が殺されそうになった事件の記録が読まれました。そこには、王の命を救ったのはモルデカイ、と書かれていたのです。王様は、「モルデカイには何かほうびをとらせたのか？」とたずねました。**3 節**。

夜が明けたころ、早起きをしたハマンが、王様と会うために外庭にやってきました



た。「お急ぎく
ださい。王妃
の食事会のお
時間ござい
ます。」ハマン
の心はふさい
でいましたが、
喜んでるふり

た。こんなにも早くあらわれるとは、一体
どういうつもりでしょう？ 4-6 節。

うぬぼれの強い、身勝手なハマンは、
王様の質問にすらすらと答えました。自分
よりも王から大切に思われている人が、
他にいるはずはないだろう。「王様が栄誉
を与えようとしているその者には、最も
身分の高い貴族のひとりが彼に王の服を
着せ、特別な馬にのせ、その馬をひいて
都の大通りを歩き、『王様が栄誉を与えた
い者には、このようにするのだ!』とふれ
まわるのはいかがでしょう？」 7-9 節。

王様は、ハマンの案 [アイディア] を
たいそう気に入りました。ところが、次の
王様の言葉は、ハマンにこれまでに受け
たことがないほどのショックを与えました。
10 節。

ハマンは、あえて逆らうこと
はしませんでした。もちろん、
逆らうことなどできません。す
べてが終わった後、彼はどん
な気持ちでしたか？ 12 節。

ハマンの妻は、計画がうまく
いっていないことに気がつきま
した。ふたりで話していると、
宮殿からの使者がやってきまし



をしなくてははいけません。でも、いやな
予感が頭の中を駆けめぐっていたことで
しょう。 エステル 6:14-7:1。

かんが **考えてみよう:** **しんげん** **箴言 26:27** を **よ** **読んで** **くだ**
さい。 ハマンは、モルデカイと罪のない
ユダヤ人を殺そうとしてしかけた罠に、
自分自身がかかっているではありません
か？

きんようび 金曜日

エ ステルが望むものは何でも与える
と、王様が言うのをハマンは聞き
ました。エステルの答えを聞いたとき、彼
はどんな気持ちになったと思いますか？ **エ**
ステル 7:3,4。

王様は、はげしく怒って
います。まさか、そんなこと
をしようと考える者がいると
は! 5 節。するとエステルは、
まっすぐにハマンを見ました。
彼女の何と言いましたか? 6
節。

とたんに、ハマンは王妃
エステルがユダヤ人であるこ
とを知りました。なんと大変

なまちがいをしてしまったことでしょう!怒りにふるえる王様が部屋から出て行くのを見たハマンは、エステルのところへかけより、助けを求めました。ところが、このことがよけいに王様を怒らせたのです。召使いたちがやってきて、ハマンの顔をおおいました。ハマンは死刑になることが、彼らにはわかったのです。7,8節。

それから召使いのひとりが、モルデカイを絞首台〔首吊り刑を行う台〕で殺そうとしていたハマンの計画を、王様に告げました。王様は、ただちにどんな命令を下しましたか? 9,10節。

しかし、あの恐ろしい布告はどうなるのでしょうか? エステルは王様に、使者たちをもういちどすべてのユダヤ人のもとへ送って、彼らを傷つけようとする敵から身を守るようにと助けさせるようにと願いました。王様はそのようにしました。神様は、ご自分の民をお守り下さったのです。

王様はモルデカイに、かつてのハマンの地位を与えました。ユダヤ人たちと、エステルの命は守られたのです。エステル 8:16,17; 10:3。

考えてみよう: こんども、人が神様に信頼し、したがうならば、神様にとってむずかしすぎることは何ひとつないことを証明して下さいました。そしてサタンは、こんども争いにやぶれました。最後には、神様が力あるおからだということをみんなが知り、多くの人が神様を愛し、信頼する選びをしたのです。

まな もっと学ぼう!

★エステル記 3-10 章

★国と指導者 49 章



せんきょうきょうかい 宣教教会として

エイミー・シェラード編

「もうそろそろ、ちゃんとした『教会』になる必要がありましたね。」アドベンチストの指導者たちは、そう話し合っています。「わたしたちは、聖書が何を教えているかをずいぶん長いこと説教してきましたが、今では、たくさんの信者さんが、その教えに従うようになっていました。わたしたちは、組織をつくるべきです。この教会にふさわしい名前も選ばなくては。また総理がひとり、他の役員が何人か必要です。」

そこで指導者たちは集まって、教会の名前を決めました。選ばれたのが、『セブンスデー・アドベンチスト』という名前でした。エレンとジェームスは、この名前がとても気に入りました。「この教会名は、わたしたちが聖書にもとづく安息日に礼拝していることを、人々に伝えています」とエレンは言いました。「しかもそれは、イエス様もどってこられると私たちが信じていることも、世に宣言しているのです。」

次に彼らは、最初の総理を選びました。全員が、第一代目の総理はジェームスに

なってほしいとお願ひしましたが、ジェームスは、「いいえ、わたしではなく、別のだれかが総理になるべきです」といって、ゆずりません。そういうわけで、2年の間は、ジョン・バイングトンというりっぱな

おじいさん牧師が、セブンスデー・アドベンチスト教会の初代総理になりました。ジェームス・ホワイトは、二代目の総理になりました。

1874年のある日、海の向こうのヨーロッパから、

「宣教師を必要としていますから、どうか一刻も早く、宣教師を送ってください」との知らせを受けました。

ジェームスとエレンは、わくわくしたことでしょう。ふたりは、ジェームスが『現代の真理』を印刷しはじめたころに、輝きを増し始めた小さな光の幻を思い出しました。『現代の真理』の冊子がアメリカやカナダのいたる所に広まっていくにつれて、ますます輝きをましていったあの光です。ヨーロッパの多くの人たちが、これらの冊子から聖書の真理を学ぶにつれて、今や光は、海をわたって他の国々で



かがや 輝いていたのです。かれらは、さらにせいしょ 聖書 についておし 教えてくれるせんきょうし 宣教師を必要として いました。そうすれば、かれらはバプテスマ をう けて、セブンスデー・アドベンチスト 教会のきょうかい 教会員となることのできるのです。

「では、だれをさいしょ 最初のせんきょうし 宣教師としておく べきだろうか？」これは、むづかしい問題 でした。「とにかく、もっともふさわしいひと をさがさなくては」と、エレンはい いました。

だれがさいしょ 最初のせんきょうし 宣教師にえら ばれたと思 いますか？ジョン・ネヴィンス・アンドリュース というひと 人でした。かれはまだわか かったころ、 生涯いす様のためにしやうがい 働くことをちか 誓い、今 までかみさま 神様とのやくそく 約束をはたしてきました。つま 妻は、かれがヨーロッパへい 行く任務をう ける 2年前にねんまえ 亡くなっていました。でも、彼と 10代のだ い ども、チャールズとメアリーは、 ヨーロッパへい 行くことをよろこ び 喜んで受け入れま した。1874年のこと でした。そしてかれらは スイスにす 住み、ジョンはいつしやう 一生けんめい働 いて、いす様はかれをさ ま 祝福なさいました。

そんなある日、ひとりのこじきが、ス イスのあるしんじや 信者のいえ 家をたずねてきました。おなかをすかせたそのひと 人は、そのばんと 晩泊ま るところをさがして、しんせつ 親切な女性の しんじや 信者はかれをいえ に入れてあげました。あく あさ 朝、彼女はかのじよ そのこじきに、いす様の さいりん 再臨と、あんそくにち 安息日をせい ひ なる日としてまも 守ること についてはな 話しました。

こじきが、「ではこのくに、そのだい 第7日目にか め れいはい 礼拝するひと 人たちがいるんですか？」 とたずねたので、彼女はかのじよ 「いますとも」と こた 答えました。

するとこじきが、「そういえば、ドイツに も、だい 第7日目をか め せいじつ 聖日としてまも 守っている人 たちがいました」とい ったのでした。「かれ らのなまえ 名前と、ぼくし 牧師さんのじゆうしょ 住所も知ってます よ。」

ジョン・アンドリュースは、そのぼくし 牧師 をたずねてドイツへい 行きました。そこで、 ぼくし と46人のにん 素晴らしい仲間にあいま した。かれらは、自分たちのじぶん ほかに、せかい 世界のあんそくにち 安息日を守るまも 人たちがい ることをし 知りませんでした。そしてさらに しんり 真理をまな 学ぼうと、むね 胸をおどらせて、セブンスデー・アドベンチスト 教会にきやうかい 加わったの でした。

ジョンは、ほん 本をか 書き、おし 教え、せつきやう 説教し、 いっしやう 一生けんめい働 きました。そのうち、さら に多くのおお 宣教師がせんきょうし 送られてきました。光は、 さらにかがや 輝きをましていきました。つぎ 次はどこ で、かがや 輝くのでしょうか？

だいしょう 第12章

しんこう けんせつしゃ 信仰による建設者



子供のための日々の
聖書研究ガイド

あんしょうせいく 暗唱聖句

「^{てん}の^{かみ}神がわれわれを^{めぐ}恵まれるので、そのしもべであるわれわれは^{ふる}奮い
立^たって^{きず}築くのである。」ネヘミヤ 2:20

にちようび 日曜日

ネヘミヤは、^{かみ}神様を心から愛するユダヤ人でした。彼は、^かスサの^{きゆうでん}宮殿で働いていました。ユダヤ人を皆殺しにしようという^{おそ}ハマンの^{けいかく}恐ろしい計画をとめるために、^{おうひ}王妃^{いのち}エステルが命がけの働きをした、あの^{きゆうでん}宮殿です。年月は流れて、^{べつ}別の^{おう}王が^{おさ}ペルシャを治めていました。

ネヘミヤは、^{おう}王の^{きゆうじがかり}給仕係〔^{しょくじ}食事の^{せき}席で^せ世話をする人〕でした。時には、^{おうさま}王様の^た食べ物や^の飲み物に、^{どく}だれかが毒を入れることがあったため、ネヘミヤの^{やくめ}役目は、^{おうさま}王様の^{くち}口に入るものが^{あんぜん}安全かどうかを^{かくにん}確認することでした。

^{ひとがら}りっぱな人柄のネヘミヤを気に入った^{おうさま}王様は、^{かれ}彼をとて^{しんらい}も信頼していました。時には、ネヘミヤに^{じよげん}助言〔アドバイス〕

を^{もと}求めることもありました。

エステルが^{おうひ}王妃になるずっと昔、^{むかし}ペルシャの^{しよだい}初代〔^{さいしよ}最初〕の^{おうさま}王様と^に二代目の^{おうさま}王様は、^{じん}ユダヤ人の^{ほりよ}捕虜たちに、^{ふるさと}故郷の^ちユダの^{かえ}地に^{きよか}帰る許可を^{あた}与えていました。エステルもいなくなり、^{のち}後にネヘミヤが^{つか}仕えている^{おうさま}王様が、^{どめ}3度目の^{きよか}許可を^{あた}与えたのでした。それで、^{しんこう}信仰ぶかい^{さいし}祭司であった^{えづら}エズラは、^{おほ}さらに^{おほ}多くの^{じん}ユダヤ人を^{かえ}帰らせようと^{みちび}導いたのですが、^{かれ}彼らは^{ちか}近くにある^{いきよう}異教の^{くにぐに}国々との^{もんだい}問題をかかえていました。しかも、^{じようへき}エルサレムの^{じようへき}城壁はくずれた

ままです。このようすを聞いて、ネヘミヤはたいそう^{かな}悲しみました。でも、^{おうさま}王様の^{まえ}前で^{かな}悲しい^みそぶりを見せることは^{ゆる}ゆるされません。ネヘミヤ 1:1-4。

^{かみ}神の^{たみ}民がかかえてい^{さまざま}る^{もんだい}様々な問題について^{かんが}考えたとき、ネヘミヤ



は、自分がエルサレムにもどって、みんなの手伝いをすべきだと感じました。しかし、どうすれば王様からゆるしが得られるでしょうか？彼は、来る日もくる日も眠らずに、どうしたらよいかを考えつづけました。

考えてみよう：神様に信頼することを選ぶとき、神様が奇跡を起こして下さることを学んできましたね？ネヘミヤには、奇跡が必要でしたか？

げつようび 月曜日

4 か月もの間、ネヘミヤは祈りつづけました。エルサレムにもどることについて、いつ、どうやって王様に話すべきか悩み、そのことについて祈っていました。しかし、あのような形で祈りがこたえられるとは、思ってもいませんでした。

ネヘミヤの心は重くしずんでいましたが、王様の前では明るくふるまおうと努力しました。ところがある日、なぜ悲しんで



いるのかとたずねられて、びっくりしました。そこで、悲しんでいる理由を王様に打ち明けることとなります。ネヘミヤ 2:1-3。

王様からどうしたいのかとたずねられたとき、ネヘミヤはすぐさま、正しい返事ができますようにと、心の中で祈りました。それから、自分をエルサレムに送り、都の再建を手伝わせてくださいと、うやうやしくお願いしたのでした。王様は怒らずに、なんと答えましたか？ 4-6 節。

ネヘミヤは、日々の祈りに神様が答えて下さったことを知りました。王様は、彼をユダの知事に任命し、そのことを証明する手紙も持たせました。また、王の森を管理している人に、エルサレムの再建に必要な材木をネヘミヤに与えるよう、手紙を送りました。そして、ネヘミヤが行くときには、おともの兵士までつけさせました。ネヘミヤは、エルサレムの城壁を修理するための王の承認〔聞き入れてみとめること〕を得たのです。7-9 節。

考えてみよう：とつぜん何か起きて、イエス様の助けが今すぐにでも必要なときに、わたしたちも、ネヘミヤのように心の中で祈ることができますか？

かようび 火曜日

ネヘミヤがエルサレムに向かう旅の間は、だれもじゃましようとはしませんでした。王様からの手紙を見せるだけでよかったです。ところが、エルサレムに近づいていくネヘミヤとどもの兵士たちを、近くの異教徒たちが見ていまし

た。ネヘミヤが何をす
るのか、ようすをうか
がっています。ネヘミヤ
2:10。

何をなすべきかが分
かるまで、ネヘミヤは、
だれにもこの計画を話
さないことに決めまし
た。また、敵がやめさ
せようとするかもしれ
ないので、その前に
城壁の仕事にとりかかろ

うと、エルサレムにいる人々を励ますつも
りでした。

はじめに、信頼できる数名の人たちに
そのことを話すと、彼らは喜んで協力して
くれました。その3日後、彼は何をしまし
たか？ 12 節。

ネヘミヤはラバに乗って、信頼できる
数名の人たちといっしょに、ひそかに都の
外がわを見てまわりました。暗い中でも、
城壁がくずれて荒れているようすがわかり
ました。 15,16 節。

次の日、指導者たちと話し合ったネヘミ
ヤは、前の晩のことはだまっていました。
けれども、何をなすべきかを彼がよくわ
かっているのは、だれの目にも明らかでし
た。 17,18 節。

その計画を知った敵は、ネヘミヤたち
をからかいました。また、ユダヤ人はペ
ルシャ王に反逆するつもりか、とたずねる
始末でした。もちろん、反逆するつもりは
まったくありません。

ネヘミヤはすぐにみんなを準備させ、



仕事にかからせまし
た。みんなが一丸と
なって「心をひとつに
して」働くと、城壁は
どんどん修理されてい
きました。ふだんして
いる仕事は何であれ、
または身分の高い低
いに関係なく、みんな
で協力して働いたので
した。

かんが
考えてみよう：どうして

もやらなければいけない仕事だと分かって
いたら、あなたは手伝いをしようと思いま
すか？どのように手助けしますか？また喜
んでやりますか？

すいようび 水曜日

サンバラテとトビヤは、神の民がエ
ルサレムの城壁を修理するのを、
もっとも必死でやめさせようとした敵でし
た。サンバラテは、ユダヤ人ががれきの
山をもとどおりにしようとしていると、でた
らめを言います。トビヤは何と言いま
したか？ネヘミヤ 4:3。

ネヘミヤは、あきらめさせようとする
誘惑に負けませんでした。途中であき
らめたユダヤ人たちもいました。 9,10 節。

都にしのびこもうという敵の計画を、
忠実で正直なユダヤ人たちがネヘミヤに
知らせました。そこでただちに、城壁の
穴があいているところを見張るように命じ
たのでした。 11-13 節。

かみさま ちから
神様は力あるおかたなのだから、何も
おそ へつよう
恐れる必要はないといってネヘミヤが励
ますと、ゆうき
勇気づけられた人たちは、朝か
ゆうがた しごと
ら夕方まで仕事をつづけました。14節。

じょうへき そと す ひと よる
城壁の外に住んでいた人たちは、夜
になってもいえへかえ
家へ帰らず、エルサレムの中
にとどまって見張りをし、明るくなったら
しゅうり しごと ひとり
修理の仕事にもどりました。一人ひとり
けん
剣をたずさえ、彼らの半分は槍をたずさ
えていました。そして、ラッパの音が聞
こえたら、すぐに武器をとって戦うことにな
っていました。ネヘミヤとその召使い
たちは、みんなのよき模範となりました。
23節。

ところが、あの悪いサンバラテと仲間
たちは、あきらめていませんでした。
じょうへき ほんとう かんせい み かれ
城壁が本当に完成するのを見た彼らは、
べつ
別のことをくわだてました。ネヘミヤ 6:1,2。

ネヘミヤには、まだすることがたくさん
のこ
残っています。門にはまだ、とびら
扉がつけら
れていません。しかも、敵が何をたくらん
でいるか知っていました。そこで、悪者た
ち
ちにどんな伝言を送りましたか？ 3節。

つぎ
次にサンバラテとトビヤは、ひとりのユ
ダヤ人を買収〔利益を与えて味方にひき
いれること〕して、ネヘミヤをおびえさせ
ようとしてました。そのユダヤ人は、「早く
しん でん なか くだ わるもの
神殿の中にかくれて下さい。悪者たちが、
あなたを殺しにやってきます」と言いまし
た。10-12節。

かんが
考えてみよう：サタンは今でも、神様の
けいかく
ご計画をじゃましようとしていますか？どの
ようにして？サタンが神の民と指導者たち
をくじけさせるのは、どのような方法によ

てですか？



もくようび 木曜日

ネヘミヤがエルサレム城壁の修理
をする人たちを指揮している
と、貧しいユダヤ人たちが彼のところへ
やってきて、金持ちのユダヤ人の中には、
貧乏人に冷たい人たちがいると訴えまし
た。それを聞いてネヘミヤは、どう感じま
したか？ネヘミヤ 5:6。

ネヘミヤは、その裕福なユダヤ人たち
と話をしました。彼らは、貧しい人たちか
ら、食べ物の料金を多めにとり立ててい
ました。そして、お金のない貧しい人た
ちにお金を貸しては、高い利息を要求し
ていたのです。このようなことはやめな
くてはならないと、ネヘミヤは言いました。
また、不正にとり立てた分は返さなくて

はならないともい
ました。裕福な人たちは、そ
れにしたがいましたか?
11,12 節。

こういった問題も、
異教の敵によってもたら
される問題も、城壁の
工事を止めることはでき
ませんでした。工事が終
わるまでに、何日かかり
ましたか?ネヘミヤ 6:15。

城壁が完成してまもなく、人々はエル
サレムの広場にやってきました。これから
大切な集会があるのです。彼らは、忠実
な祭司であるエズラに願い出て、律法の
書を読んでもらいました。エズラはこの
時、すでに年老いていましたが、人々に
律法の書を「朝から昼まで」読んできか
せました。ネヘミヤ 8:1-13。

人々はこれを聞いて、自分たちが神様
の律法にしたがってこなかったことを知
り、罪を告白し、心から反省しました。
神様は彼らをおゆるしになり、エズラとネ
ヘミヤは、神様が彼らを愛しておられるこ
とを人々に伝えました。このことは、人々
を喜びと感謝の気持ちにさせたと思いま
すか? 9,12 節。

考えてみよう:ネヘミヤと人々が喜んだ
理由を、少なくとも2つあげられますか?



からペルシャにもどって、
しばらくはもとの仕事を
していましたが、王様は
ふたたび、ユダのようす
を見に行く許可を与えま
した。

自分がない間の変
わりように、ネヘミヤは
大きなショックをうけまし
た。神の民がこんなにも
すぐに、神様を忘れてサ

タンにしたがうようになるなんて!大祭司
までもが、敵であるトビヤと親しくなっ
ていたのです。大祭司は、トビヤが泊まる
ための部屋をつくっていました。それも、
献金やその他のささげものが保管されて
いるところに。トビヤの部屋は、神殿の
庭の中に作られていたのです。ネヘミヤ
13:7-9。

それだけではありません。人々は
安息日も破っていました。15-21 節。

そこでエズラとネヘミヤは、もういちど
人々と話し合い、彼らの罪がいかに恐ろ
しいものであるかを教えました。そして
人々はもういちど、自分たちのしてきたこ
とがまちが이었다と認め、その罪を悲
しみました。そして神様は、もういちど彼
らをゆるし、祝福してくださったのです。
悪い道から離れたくない人たちは、どこか
別の場所へとうつっていきました。

このような物語が聖書に書かれている
のがなぜだか、わかりますか?それは、
わたしたちのためです!リーダーとなる人
たちに、覚えていてほしいことがあります。

きんようび 金曜日

ネヘミヤはユダの地で、12年もの
あいだ人々を助けました。それ

よい行いでも悪い行いでも、リーダーはみんなの模範です。彼らが軽はずみなことをすると、ほかの人がまねをしてしまうのです。だれにしたがうかを、わたしたち一人ひとりが自分で選ばなくてははいけません。そのことを覚えていてほしいと、神様は望んでおられます。

どの時代にも、ほかの人がどちらを選ぼうと、神様を愛し、信頼し、神様にしたがうことを選ぶ人たちがいます。あなたも、そのような人になりたいと思いませんか？ええ、きっとなれますとも。

かんが **考えてみよう**：イエス様もどってこられるとき、地上にはたった2種類の人々しかいません。一方は、サタンのウソを信じて、永久に失われてしまう人たちです。もう一方は、神様を愛し、信頼し、十戒にしたがう人たちで、神様と共に永遠に生きることができるのです。あなたはどちらを選びますか？

まな
もっと学ぼう！

★ネヘミヤ記

★国と指導者 52-55 章



さま ちゅうじつ イエス様に忠実であること

エイミー・シェラード

ジェームスとエレンは、年老いてきていました。やるべきことは、いつでも山のようにあるように思われて、十分な休みをとっていませんでした。つかれきってしまうこと

がよくありましたし、彼らの健康状態は、決してよくありませんでした。

1881年8月1日の月曜日、60歳になる3日前、ジェームス

はとつぜん、重い病気にかかってしまいました。そして次の日には、エレンまでもが病気になりました。友人たちがやってきて、ふたりをバトルクリーク療養所〔病気やけがの手当てをし、体を休めるところ〕につれて行ってくれました。そこでは、お医者さんたちができることはすべて、手をつくしてくれました。

みんなが心配していました。教会の指導者たちはジェームスとエレンのことを慕っていましたが、ふたりとも、教会にはどうしても必要でした。多くの人たちが、どうかふたりをいやしてくださいと、イエス様にお祈りしました。しかし、良くなるどころか、ジェームスはますます悪くなり、エレンの病気もよくなりませんでした。

金曜日になって、お医者さんたちはエレンに、もうジェームスが助からないことを告げました。エレンはひどく気分が悪いにもかかわらず、起きあがってジェームス

のところへ行きました。彼女は、ジェームスのベッドの横にひざまずいて祈りました。彼がいなくなるなんて、想像もできません。

「イエス様はあなたにとって、大切なおかたなの?」と、エレンはたずねました。

「ああ・・・もちろんだ」と、ジェームスはささやくような声で答えました。

エレンは、「イエス様は、あなたを愛しておられますよ」と言って夫を励ました。「あなたは、その永遠のみ腕に抱きかかえられているのですよ。」

ジェームスは、「ああ・・・そうだとも」と弱々しく答えました。それからエレンは、ベッドにもどりました。

その安息日の晩に、勇敢で忠実な指導者であり、イエス様の兵士であったジェームス・ホワイトは、しずかに目を閉じ、息をひきとったのでした。



Little Folk Visuals

みんなは、どんなに悲しんだことでしょう!夫の死を知らされたエレンは、悲しみで胸がはりさけそうでした。エレンもかなり弱っていたので、お医者さんたちは、彼女も死んでしまうのではないかと心配しました。彼女にとっては、もう死んだほうがましだと思うほど、つらい試練でした。それでも彼女は、何がいちばんよいかを知っておられるイエス様に信頼しました。イエス様がエレンを励まされたので、彼女はゆっくりと元気をとりもどしていきましました。

いとしい〔恋しく慕わしい〕ジェームスが亡くなったあと、34年もの間、エレンは教会の成長を助け、忠実にイエス様のために働きつづけました。息子のウィリーも、彼女の忠実な助け手となりました。

ジェームスが亡くなってから何年かすぎたある日、ヨーロッパの教会の指導者たちが、ヨーロッパに来てくれるよう、エレンに頼みました。ヨーロッパの信者たちは、エレンの話を聞きたいと願っていましたし、神様がヨーロッパの教会を豊かに祝福しておられるのを彼女に見てもらいたいとも思っていました。

「ヨーロッパですって?」エレンは考えました。「あまりにも遠すぎます。そんな長旅、わたしにはとてもできそうにありません。」

「ウィリーがいっしょに行ってくれます」と、指導者たちは言いました。そういうわけで、エレンとウィリーは、船でヨーロッパに向かったのです。そして彼らは、思った以上にヨーロッパ訪問を楽しみました。

た。エレンは7カ国をおとずれ、信者たちは話に聞いていた預言者の「ホワイトシマイア姉妹」と会ってお話を聞き、楽しい時をすごしたのです。

いくつかの幻において、イエス様はすでにヨーロッパの7つの国のことをエレンに示しておられました。そしてエレンは、教会を早く成長させるためにすべきことを手紙に書いて、指導者たちに何度も送っていました。

ある町で、指導者たちがエレンとウィリーをある建物につれて行きました。そこでは、教会の文書や本などが印刷されていました。印刷機が動いている部屋に入ったエレンは、あたりを見回し、ほほえんで「イエス様は、まさにこのお部屋を幻で私に見せて下さったのですよ」と彼らに言いました。もちろん彼らは、それを聞いて喜びました。

けっきょく、エレンとウィリーは1年以上もヨーロッパに滞在し、エレンはとても楽しい時をすごしました。彼女は、多くの執筆〔文章を書くこと〕と講演〔人前で話すこと〕をおこないました。また、真理の光をヨーロッパでもっとも輝かせるための計画を指導者たちがたてることのできるように、彼らを助けました。

だいしょう 第13章

にんたいひと 忍耐の人、ヨブ



子供のための日々の
聖書研究ガイド

あんしょうせいく 暗唱聖句

「わたしは彼の悩みのときに、共にいて、彼を救い、
彼に光栄を与えよう。」詩編 91:15

にちようび 日曜日

わたしたちが生きているかぎり、忘れてはならないことがあります。罪がわたしたちの世界に入った後に起きている悪いことのすべては、サタンによってもたらされているのです。正しい人々の身の上で起る悪いことでさえ、いつでもサタンがしていることで、神様のせいではありません。ですから、なぜ神様はこんなにひどいことをなさるのかと人々が首をかしげるのは、神様とサタンについて理解していないからなのです。

今週、お勉強する物語は、遠い昔に起こった出来事です。おそらく、モーセがまだ生きていたころか、もっと前かもしれません。というのは、これ

を書いたのはモーセだからです。これは、神様とサタン、そして神様を心から愛したある人物の物語です。ヨブという名前の人で、たいそうなお金持ちでした。聖書は、彼について何と語っていますか？ヨブ 1:1。

ヨブがどれほどのお金持ちだったかは、想像が付きませんね。彼には10人の子どもがいて、彼らも裕福でした。ヨブは、千頭もの羊やラクダ、牛やロバも持っていました。



多くの人がヨブのところへやってきて、相談したり、助言〔アドバイス〕を求めたりしました。ヨブは、貧しい人たちや問題をかかえている人たちを喜んで助けました。だれでもヨブのことが大好きで、尊敬していました。

ある日のことです。神様は、特別な会議を開きました。その会議には、だれがいましたか？ 6節。

神様は、サタンになんとたずねましたか？またサタンはどう答えましたか？ 7節。

それから神様はサタンに、ヨブを知っているかとたずね、彼がどんなに正しい人かを話しました。 8節。

サタンは、ヨブが神様に忠実だという話をばかにして笑いました。もしも神様が、ヨブを祝福しなくなったら、彼は今のようにならなくなるだろう、とサタンは言いました。 9-11節。

会議に参加していた者は全員、それを聞いていました。サタンの言うことは、正しいのでしょうか？もちろん神様は、すでに答えを知っておられました。しかし、他



の者たちにわからせる方法は、ひとつしかありません。もしもヨブがすべてを失ったらどうするのかを、実際に見せなくてはならないのです。 12節。

考えてみよう:ヨブは、この会議が開かれたこと、そこで話されていたことについて知っていましたか？いいえ、彼は何も知りませんでした。何か悪いことが、わたしたちや他の人たちの身に起こるのを神様がゆるされる理由を、わたしたちはいつでも知ることができますか？

げつようび 月曜日

神様が開いた会議から出て行くとき、うれしそうなサタンのようすを想像できますか？これで、ヨブにどんな恐ろしい災いを下そうかと計画できるのです。あつという間に災いを次から次へと起こせば、ヨブは心変わりして、神様への忠誠をなくすだろう。ヨブは神様を呪うにちがいないと、サタンは自信満々でした。

災いが下るまでに、そう時間はかかりませんでした。サタンのしたことを読んでください。ヨブ 1:14-17。

とくに、しもべが最後にもってきた知らせが最悪でした。 18,19節。

すべてをなくしてしまいました。最愛の子どもたちまでもが死にました。これらのことが、すべて、一瞬のうちに起こったのです！他の生まれてきた赤ん坊と同じように、ヨブも裸で生まれてきました。何ひとつもたずに。今や彼は、それと同

じようにして人生を終えるかのように見えます。もう何ひとつもっていません。彼は何をし、何と言いましたか？ **20,21 節**。

想像してみてください！ヨブは神様を呪わずに、賛美したのです。サタンは、ひどくがっかりしたにちがいありません。ヨブはかならず神様に反抗するだろうと確信していたからです。 **22 節**。

神様がひらいた2度目の特別な会議に、またもサタンが現れました。会議は、1回目のときと同じように始められました。神様は、サタンにヨブの話を切り出しました。神様は、以前のようにヨブを保護してはおられませんでした。しかし、サタンが彼に下したすべての災いにかかわらず、ヨブはなお、神様に忠実なままでした。 **ヨブ 2:3**。

サタンは、神様の言ったことが本当だったことを認めざるをえません。でも、まだあきらめるつもりはありませんでした。ヨブ自身は、まだ健康だったからです。そこで、次にサタンは何と言いましたか？ **4,5 節**。

かんが **考えてみよう：** 神様はすでに、ことのすべてをご存知なのではないでしょうか？あなたは、神様がヨブを傷つけたかっと思いませんか？もちろん、そんなはずはありません。神様は、だれにも痛い思いをしてほしくないのです。

かようび 火曜日

そ れでもサタンは、まだヨブの心を
か 変えられると信じてうたがませ

んでした。もしも神様が、ヨブの体を痛めつけるのをサタンにゆるしたなら、ヨブはきっと神様に反抗するにちがいないと思っただけです。そこで神様は、みんなが聞いている中で、サタンに何とおっしゃいましたか？ **ヨブ 2:6**。

神様の子どもたちは、とても驚いたことでしょう。サタンは確かに、その邪悪さと残酷さを見せはじめていました。彼は、自分の知っている中でも一番ひどいやり方で、ヨブが死なない程度に痛めつけたのです。 **7,8 節**。

かわいそうなヨブは、みじめな姿になってしまいました。また、どうしようもなくひどい気分でした。寝ていても、座っても、立っても、ひどい痛みが走ります。妻でさえ、これなら夫が神様に忠誠をつくさないほうがよいと思うほどでした。ヨブの妻は何と言いましたか？また、ヨブはそれに何と答えましたか？ **9,10 節**。

ヨブのうわさは、またたく間にあちらこちらに広まったことでしょう。多くの人が彼のことを知り、また起こった出来事について聞きましたが、なぜそうなったのかはだれにもわかりませんでした。神様はなぜ、こんなひどいことをゆるしておられたのでしょうか？

ヨブのことを聞きつけた3人の友だちが、彼をなぐさめようとやってきました。しかしヨブに会っても、彼だとは気づかないほどでした。すっかり変わりはてた姿になっていたのです。あまりにも驚いた3人は、かける言葉もありませんでした。 **12,13 節**。

かんが **考えてみよう**: ヨブがどんな姿で、またどんな気持ちだったか、想像すらできないのではありませんか? 神様の会議にいた他の者たちも、そのようすを見ていたと思いますか? 神様も見ておられたでしょうか? すべてを見ておられた神様は、どのように感じておられたと思いますか?

すいようび 水曜日

ヨブの友人たちは、彼を助ける手だてを何も思いつきません。ついに、ヨブ自身が話し始めました。ヨブは、なぜ自分の身にこれほど恐ろしいことばかりが起きるのを神様がゆるしておられるのか、理解ができないと言いました。そして彼は、死にたいと願いました。生まれてこなければよかった、自分がまだ赤ん坊だったときに死んでいればよかった、と思いました。ヨブ自身は、これらの災いを引き起こすようなことは何もしていないと考えていました。

すると、3人の友だちも話し始めました。ところが彼らの言葉には、神様について、完全にまちがった考えのあることがあらわれていました。災いにあう人たちは神様の罰を受けている、というのが彼らの考えでした。それで彼らは、ヨブが神様を怒らせるような、何かまちがったことをしたにちがいない、と信じていたのです。

友人たちの言っていることが正しくないのを、ヨブは知っていました。彼は、神様の律法を愛していましたし、それ

にしたがおうといつでも最善をつくしてきたのです。今でも、神様に信頼することを選んでいきます。ヨブ 13:15。

自分の犯した罪への罰として、神様が自分を苦しめているのではないと、ヨブは確信していました。そして、なぜ自分がこれほど多くの悩みをかかえているのかわからなくても、最後にはすべてが明らかにされると信じていました。ヨブ 23:10。

たとえ自分が死んだとしても、イエス様が来られる日に、よみがえらせてくださることを、ヨブは知っていました。終わりには、すべてが益となるのです。

けっきょく、3人の友だちはヨブの力になれませんでした。ヨブは彼らのことを『あわれな慰め人』と呼び、痛みや苦しみの理由について彼らが言うことを受け入れませんでした。ヨブ 16:2。

かんが **考えてみよう**: こんなに恐ろしいことが自分にふりかかるのがなぜかはわかりませんでした。それでもヨブはまだ、神様に信頼することを選んでいました。それは簡単なことだったと、あなたは思いますか? 物事がうまくいかないとき、神様は本当に



わたしたちを愛し守ってくださるのかを疑
わせようと、サタンは働きかけますか？

もくようび 木曜日

3 人の友だちがヨブと話すのを聞いていた別の人物がいました。彼はみんなよりも若かったので、しばらくだまって聞いていました。しかし、これは神様の罰だということをヨブに納得させるのを3人があきらめたとき、エリフという名の青年が声をあげました。

エリフは、ヨブと友人たちのどちらにも賛成ではありませんでした。彼の言ったことは、3人の友人たちに比べれば、少しは良かったのかもしれませんが、エリフも、自分が思っているほど賢くはありませんでした。

すると、大きな黒い雲が空に姿をあらわしました。雷がとどろき、稲妻がひらめき、つむじ風がビュービューと音をたてながら近づいてきます。そして、つむじ風の中から声が聞こえました。神様ご自身が語られるのを聞いて、皆、恐れおののいたことでしょう。ヨブ 38:1-3。

それから神様は、ヨブにたくさんのむずかしい質問をしました。ヨブは、答えることができません。答えは、神様だけがご存知なのです。ヨブは聞いているうちに、自分がますます小さく、無知な〔何も知らない〕者に思えてきました。神様が偉大で力があり、知恵のあるおかたであることはすでに知っていましたが、今や、自分がどんなにちっぽけな者であるかを思い

知らされたのです。そしてヨブは、とても謙虚な〔へりくだってすなおな〕気持ちになりました。

かんが 考えてみよう： 神様がわたしたちよりも賢いおかたでよかったですと思いませんか？この世界で何が起ころうとも、間もなく私たちを安全に神様といられるようにするため、神様はすべてを解決することがおできになりますか？

きんようび 金曜日

ちから 強い愛の神様に疑問をぶつけたことを、ヨブは恥ずかしく思いました。でも今は、これまでよりもずっと正しく神様のことを知り、理解できます。神様が彼をずっと忠実でいられるように助けて下さったことを、ヨブはうれしく思いました。ヨブ 42:5,6。

次に神様は、ヨブの3人の友だちに、彼らの神様についての考えはすべてまちがっていると言われました。彼らは犠牲をささげ、罪を告白する必要がありました。彼らは、そのようにしました。7-9節。

ヨブの身に起こったこれらのことの後、神様はどんなすばらしいことをしてくださいましたか？ 10節。

ここで、この物語について考えてみましょう。たとえ何が起ころうとも、神様を愛し、神様にしたがうのを無理やりやめさせることのできるものは何もないことを、自らが天使たちと他世界の人々に証明したことを、ヨブは知っていましたか？

ヨブは、天で行われた会議について

知っていましたか？これらの恐ろしいことが起こるのをなぜ神様がゆるされたのか、知っていましたか？おそらく知らなかったでしょう。では、いつかそのことを知る時がくるでしょうか？もちろんです。ヨブがそのことを知ったなら、神様に信頼したことをこれまで以上に喜ぶと思いますか？

ヨブのおかげで、全宇宙が神様のことをよく知ることができました。そして同じく、サタンのことも知るようになりました。わたしたちも、これらのことがよくわかりました。ヨブの物語をとおして、神様がどんなに忍耐強く、公平なおかたであるか、また、サタンがどんなに邪悪で残酷な者かを見ることが出来ます。

今でも多くの方は、ヨブの友人たちのように、人々が病気や災害で苦しむのは神様の罰を受けているからだと思っています。しかし聖書は、苦しみが罪の罰だとは教えていません。ヨブの友人たちはまちがっていたと、神様は言われました。7節。



ヨブの物語は、たとえ悪いことが起こる理由がわからなくても、わたしたちが神様に信頼する選りをする助けとなりますか？

考えてみよう：天使や他世界の人は、今でもわたしたちを見えていますか？どんなことがあっても神様を愛し、神様の律法に信頼してしたがうかどうかを、彼らは見えていますか？あなたは、いつでも「どんなことがあっても」この選りを選びしようと決心していますか？今からでも、またサタンが誘惑するときも、そのような選りをしてはいかがでしょうか？

まな
もっと学ぼう！

★ヨブ記

★教育 174-177



さいご ちゅうじつ 最後まで忠実に

エイミー・シェラード

ヨーロッパを訪問した後、こんどは
宣教師として、はるか南のほうに
あるオーストラリアへ行
きました。

オーストラリアには、
すでに他の宣教師た
ちがいましたが、彼ら
は、セブンスデー・ア
ドベンチストの子ども
や青年たちのための
学校を建てる計画のために、エレンの助
けを必要としていました。また、病気の人
たちが、健康をたもつ方法を学ぶための
療養所〔病気やけがの手当てをし、体を
休めるところ〕も必要でした。

イエス様によって初めて特別な働きに
召されたときから、エレンはイエス様が
彼女にお示しになったことや教えて下さ
ったことを書いて、書いて、書きつづけまし
た。

「わたしは書きつづけなくてはなりません。」オーストラリアへ行く
ようにとお願されたとき
に、彼女は教会の指導者た
ちに言いました。「わたしが
書いているのは、イエス様
とサタンとの間にある、すさ
まじい戦いの物語です。私

の使命は書きつづけることです。サタンが
わたしに、それをやめさせようとしている
のは知っています。
でも、なんとして
も書きつづけなく
てはならないので
す。」

しかしついに、
教会の指導者たち
がエレンのオース
トラリア行きをどうしても望むのなら、イ
エス様の祝福と助けを得られるだろうと思
い、行く決心をしました。そしてイエス様
は、祝福と助けを与えてくださいました。
サタンは手をつくして、エレンに書くこと
をやめさせようとしたのですが、彼女は決し
てやめませんでしたし、そこにいる間には、
たくさんのすばらしいことが起こりました。

ある時、教会の青年たちのための大学
をどこに建てようかと、オーストラリアの
指導者たちは考えていました。そのころ、
エレンが汽車に乗って学校の
候補地〔選ばれる対象に
なっている土地〕を見にいく
途中、イエス様は夢を見せ
てくださいました。夢の中で、
彼女は林の中を歩いていま
した。林をぬけて原っぱへ



Little Folk Visuals



Little Folk Visuals

で、すうじゆつはばで2メートルほどの深さの小さなみぞがありました。その中に、ひとりの天使が立っていました。

天使は、「もしだれかがあなたに、この土地は良くないと言っても、信じてはいけません」と言いました。「ここは良い土地ですから、作物がよく育つでしょう。」

ウィリー・ホワイトと数人の教会の指導者たちは、駅でエレンと落ち合い、その土地を見に行きました。彼らが林をぬけると、原っぱへ出ました。そして原っぱには、ひとつの小さなみぞがあったのです。エレンが夢で見た、まさにあのみぞです。「この土地を、ぜひとも買うべきです」と、彼女は言いました。「イエス様が夢でわたしに見せて下さったのは、この土地でした。」

天使が警告したとおり、ある人たちは、ここは良くない土地だと言いました。しかし、彼らはイエス様に信頼することを選んだので、そこに学校を建てて、見事な作物を育てることができたのです。

エレンは、長いあいだオーストラリアで暮らしました。そして、イエス様は彼女を用いて、教会を大いに成長させてくださいました。

アメリカにもどったエレンは、カリフォルニアにある住み心地のよい家で暮らしました。もう80歳をこえていましたが、まだ書きつづけていました。健康状態はよく、



にわしごとからだうごばしやのきんじよ庭仕事で体を動かし、馬車に乗って近所をたずねてまわるのが好きでした。近所の人たちも、エレンのことが大好きでした。

ある晩のこと、エレンは、寝室に向かう途中でころんでお尻の骨を折り、その後は寝たきりの生活になってしまいました。手あつく〔親切でていねいに〕看病されたので、苦しくはありませんでした。いつも明るく元気にしていましたが、徐々に弱っていき、もう長くは生きられないだろうと思われました。エレンがしずかに亡くなったとき、みんなはどんなに悲しんだことでしょう!

子どもの時に死んでしまうと思われたあの少女は、長く生かされました。彼女は、イエス様の忠実な働き人でした。今、エレンは、お墓の中で眠っています。夫のジェームスのお墓のそばです。いつか、もうすぐ、イエス様が彼らを目覚めさせるでしょう。そうすれば、ふたりはいつまでもいっしょにいたことができ、またイエス様とも永遠にいっしょにいられるのです。ジェームスとエレン・ホワイトの人生のしめくりは、こんなにも美しいものだったのです!